2017年度夏版 L2-Tech水準表(素案)



2017年度夏版 L2-Tech水準表 (2017年8月)

- 本水準表の作成にあたっては、カタログ等、企業が広く公表している資料及びWebページを中心に情報を収集し、当該技術に専門的知見を有する有識者からもご意見をいただきながら、科学技術的・客観的観点から情報を整理しています。
- 本水準表は、2017年5月までに収集した情報をもとに作成したものであり、今後も情報収集を継続するとともに、ご意見をいただき更新・充実させていく予定です。

	項目	主な記載内容
L2-Te	chリストNo.	設備・機器等ごとにIDを付番。
	区分	以下のように、エネルギー源を示した「部門」軸と、エネルギー技術を原理・しくみの違いで整理した「技術」軸に区分。 部門1 :当該設備・機器等の導入可能性の高い部門 部門2 :当該設備・機器等の利用可能性の高い用途、業種、プロセス、輸送手段、エネルギー種別 技術分類 :設備・機器等のカテゴリ(基本的な原理・しくみの種別) ※参照:環境省「日本の約束草案要綱(案)」、国立環境研究所「日本国温室効果ガスインベントリ報告書」、エネルギー戦略協議会「エネルギー技術体系」、日本エネルギー経済研究所「エネルギー・経済統計要覧」
設備	帯・機器等	設備・機器等(システム、設備・機器、部材等)の名称を記載。2050年までに80%の温室効果ガス削減という目標に向けて、環境省がCO2削減に重要と考える設備・機器等(カテゴリ)を、「CO2削減効果」及び「導入可能性」の観点で選定。
原理	里・しくみ	設備・機器等の原理・しくみ、またはCO2削減に資する原理・しくみの説明を記載。
	クラス	認証の単位となるクラスを記載。購買の選択条件に応じて、条件(仕様、付加機能等)、及び能力(加熱能力、発電出力等)で分類。
L2-Ted	ch水準表情報 No.	クラスごとにIDを付番。
L2-	-Tech水準	L2-Tech水準を記載。本水準は、指定された試験条件に基づき測定された結果を、指定の計算方法によって算出した値である。本水準は、2017年5月時点における 値であり、かつ収集できた情報のうち最高性能の値を採用している。
	測定単位	L2-Tech水準の単位、及びその名称を記載。
指標	評価方法のタイプ	以下のいずれかから、効率性能の評価方法のタイプを記載。 標準規格による評価: JIS等の国際・日本標準の規格、または省エネ法等の法律に準拠した試験条件及び計算方法によって評価する方法 標準条件による評価: 規格化されていないが一部で標準条件として用いられている、または標準として業界と合意した試験条件及び計算方法によって評価する方法 シミュレーションによる評価: 標準条件に基づき、実試験ではなくコンピュータ上で模擬試験を行うによって評価する方法 具備機能による評価: 一定レベル以上の機能を具備しているものを評価する方法
	計算方法	性能の計算方法について、準拠すべき規格または具体的な方法を記載。
	試験条件	性能を評価するための試験条件について、準拠すべき規格または具体的な条件を記載。
	備考	特記事項を記載。

記号の 使用方法 本水準表の中の「-」、「・」及び「/」は、下記を示す。

「-」:対象項目に該当する情報が存在しない、非対象、調査中、または調整中。

「・」:AND条件。 例) 空調機(ヒートポンプ・個別方式) → (ヒートポンプかつ個別方式の)空調機

「/」:OR条件。 例) 空調/産業用プロセス → 空調または産業用プロセス

		L2-Tech	設備・機器等	(掲載数
	空調機(ヒートポンプ・個別方式)	リスト№ L-000000	ガスヒートポンプ	(5)
	,		パッケージエアコン(店舗・オフィス用)	
			パッケージエアコン(設備用)	
			パッケージエアコン(ビル用マルチ)	
	the state of the s		氷蓄熱式パッケージエアコン (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	
	熱源・空調機(ヒートポンプ・中央方式)		フロン類等冷媒ターボ冷凍機 自然冷媒ターボ冷凍機	(4)
			日然 元殊 ダー 不 元 未 機 水冷 ヒート ポンプチラー	
			空冷ヒートポンプチラー	
	熱源・空調機(ヒートポンプ・中央方式)・熱源補機		氷蓄熱ユニット	(1)
	熱源・空調機(気化式・中央方式)		間接気化式冷却器	(1)
	熱源・空調機(吸収式・中央方式)	L-000013	吸収冷温水機 (二重効用)	(4)
		L-000014	吸収冷温水機(三重効用)/廃熱投入型吸収冷温水機(三重効用)	
			一重二重併用形吸収冷温水機	
			木質ペレット直焚き吸収冷温水機(二重効用)	
	熱源・空調機(地中熱利用・中央方式)		パッシブ地中熱利用システム	(1)
	熱源・空調機(吸着式・中央方式)		吸着式冷凍機	(1)
	熱源(ヒートポンプ)		高温水ヒートポンプ(空気熱源・循環式) 高温水ヒートポンプ(空気熱源・一過式)	(9)
			高温水ヒートポンプ(水熱源・循環式)	
			高温水ヒートポンプ(水熱源・一過式)	
			高温水ヒートポンプ(水空気熱源・循環式)	
			高温水ヒートポンプ(水空気熱源・一過式)	
		L-000028	熱風ヒートポンプ(水熱源・一過/循環式)	
			蒸気発生ヒートポンプ(水熱源・一過式)	
		L-000030	蒸気再圧縮装置	
	給湯器(ヒートポンプ)		ヒートポンプ給湯機(空気熱源)	(1)
	給湯器(ガス式)		潜熱回収型給湯器	(1)
	ボイラ	L-000035		(5)
			蒸気ポイラ(貫流ポイラ)	
産業・業務			蒸気ポイラ(炉筒煙管ポイラ) 蒸気ポイラ(水管ポイラ)	
業種共通)				
	コージェネレーション		ガスエンジンコージェネレーション	(3)
			ガスタービンコージェネレーション	(0)
			燃料電池コージェネレーション	
	冷凍冷蔵機器	L-000045	業務用冷凍冷蔵庫	(3)
			空気冷媒方式冷凍機	
		L-000047	冷凍冷蔵倉庫用自然冷媒冷凍機(アンモニア/CO2二次冷媒システム)	
	照明器具		LED照明器具	(1)
	プリンタ/複写機	L-000049		(2)
	モータ	L-000050	一個に では では では では では では では では では では では では では	(2)
	t-y		永久磁石同期モータ	(2)
	変圧器		油入変圧器	(2)
	SM, Ada MH		モールド変圧器	(2)
	モータ利用機器(圧縮機)		蒸気駆動圧縮機	(2)
	1775 BORN (MINOR DO)		熱回収式ねじ容積形圧縮機	
	窓		Low-E複層ガラス(LE3+A12+FL3)	(7)
		L-000078	三層Low-E複層ガラス(LE3+Ar11+FL3+Ar11+LE3)	
			真空Low-E複層ガラス(LE3+Ar9+FL3+V0.2+LE3)	
			アタッチメント付きLow-E複層ガラス(LE3+Ar6+FL3(アタッチメント付き))	
			真空ガラス (LE3 + V0.2+FL3)	
			現場施工型後付けLow-E複層ガラス(FL6+A12+LE5)	
	MC #6 ++		薄型Low-E複層ガラス(LE3+Kr4+FL3)	(2)
	断熱材		断熱材(押出法ポリスチレンフォーム) 断熱材(グラスウール)	(2)
	洗濯機		■ 無務(ソンペンール) 業務用ヒートポンプ式衣類洗濯乾燥機	(1)
	エネルギーマネジメントシステム		BEMS(制御サービス・空調・熱源・中央方式)	(1)
	その他		サーバ用電子計算機	(1)
	オフロード特殊自動車(建設機械・内燃機関型)		油圧ショベル(内燃機関型)	(3)
			ブルドーザ(内燃機関型)	
			ホイールローダ(内燃機関型)	
	オフロード特殊自動車(建設機械・ハイブリッド型)		油圧ショベル (ハイブリッド型)	(1)
	オフロード特殊自動車(建設機械・電気型)		油圧ショベル (電動型)	(2)
業(業種固	Ne Na 46- JE 200		ブルドーザ(電動型)	
有)	洗浄乾燥機 蒸留塔		遠心脱水型コンテナ(容器)洗浄乾燥機 内部熱交換最適化蒸留システム	(1)
79)				(1)
79)	乾燥機		熱回収式工業用織編物乾燥機	(1)

		L2-Tech リスト№ リスト№	(掲載数)
	自動車(内燃機関型)	L-000149 ガソリン・ディーゼル車 (乗用車)	(2)
		L-000150 ディーゼル・天然ガス車(商用車・重量車)	
C 運輸	自動車(ハイブリッド型)	L-000152 ハイブリット自動車 (乗用車)	(2)
	自動車(電気型)	L-000153 ハイブリット自動車(商用車・重量車) L-000155 電気自動車(乗用車)	(1)
	日馴早(毛気尘) 空調機(ヒートポンプ)	L-000193 地元日期単(米州早)	(1)
	工制機(こ ドホンノ)	L-000194 ヒートポンプ冷温水システム	(5)
		L-000195 ヒートポンプ式温水床暖房	
		L-000196 ルームエアコン付温水床暖房	
		L-000197 マルチタイプ温水床暖房	
	空調機(ヒートポンプ・地中熱利用)	L-000198 地中熱ルームエアコン	(2)
	空調機(ヒートポンプ・地中熱利用)	L-000199 地中熱ヒートポンプ冷温水システム(ハイブリッド式)	
	空調機(ペレットストーブ)	L-000200 密閉式ペレットストーブ	(1)
	給湯器(ヒートポンプ)	L-000163 家庭用工コキュート	(2)
	給湯器(ヒートポンプ・太陽熱利用)	L-000164 多機能ヒートポンプ給湯機	(4)
	船湯器(ガス式)	L-000201 太陽熱集熱器対応型エコキュート L-000165 ガス温水機器(エコジョーズ)	(1)
	船湯器(ヒートポンプ・ガス式)	L-000202 ハイブリッド給湯機(家庭用)	(1)
	給湯器(石油式)	L-000203 石油温水機器(エコフィール)	(1)
	給湯器(太陽熱利用)	L-000205 真空管形集熱器(強制循環型太陽熱給湯器用)(家庭用)	(3)
	,	L-000206 平板形集熱器(強制循環型太陽熱給湯器用)(家庭用)	
		L-000207 蓄熱槽(強制循環型太陽熱給湯器用)(家庭用)	
	コージェネレーション	L-000166 家庭用燃料電池 (エネファーム・PEFC)	(2)
		L-000167 家庭用燃料電池 (エネファーム・SOFC)	
	冷凍冷蔵機器	L-000168 電気冷蔵庫	(1)
D 家庭	照明器具	L-000169 LED照明器具(家庭用)	(1)
	テレビ	L-000208 液晶テレビ	(1)
	洗濯機	L-000187 洗濯乾燥機	(1)
	窓	L-000209 電気便座	(1)
	76A	L-000170 Low-E複層ガラス(LE3+A12+FL3)(家庭用) L-000171 三層Low-E複層ガラス(LE3+Ar11+FL3+Ar11+LE3)(家庭用)	(14)
		L-000171 <u> 二層にOW-E複層ガラス(LE3+Ar9+FL3+V0.2+LE3)</u> (家庭用)	
		L-000173 アタッチメント付きLow-E複層ガラス(LE3+Ar6+FL3 (アタッチメント	付き \) (家庭田)
		L-000174 真空ガラス (LE3+V0.2+FL3) (家庭用)) () (stam/ii)
		L-000175 現場施工型後付けLow-E複層ガラス(FL6+A12+LE5)(家庭用)	
		L-000176 薄型Low-E複層ガラス(LE3+Kr4+FL3) (家庭用)	
		L-000177 Low-E複層ガラス・樹脂サッシ	
		L-000178 Low-E複層ガラス・アルミ樹脂複合サッシ	
		L-000179 三層Low-E複層ガラス・樹脂サッシ	
		L-000180 三層Low-E複層ガラス・アルミ樹脂複合サッシ	
		L-000181 五層Low-E複層ガラス・樹脂サッシ	
		L-000182 真空ガラス・樹脂サッシ L-000183 真空ガラス・アルミ樹脂複合サッシ	
	断熱材	L-000183 異型ガノス・アルミ衛服装音サッシ L-000184 断熱材(家庭用・押出法ポリスチレンフォーム)	(3)
	四 未279	L-000185 断熱材(家庭用・グラスウール)	(3)
		L-000186 真空断熱材	
	エネルギーマネジメントシステム	L-000191 HEMS (情報提供サービス・家電全般)	(1)
	燃料電池	L-000210 固体酸化物形燃料電池 (SOFC) 設備	(1)
	太陽光発電	L-000216 太陽電池(シリコン系・単結晶)	(6)
		L-000217 太陽電池(シリコン系・多結晶)	
		L-000218 太陽電池(化合物系)	
		L-000219 太陽電池 (薄膜シリコン)	
エネルギー転	;	L-000220 トランスレス方式パワーコンディショナ(太陽光発電用)	
換		L-000221 高周波変圧器絶縁方式パワーコンディショナ(太陽光発電用)	
	水力発電	L-000228 プロペラ水車(小水力発電用)	(2)
	地熱発電	L-000229 フランシス水車(小水力発電用) L-000233 温水熱源小型バイナリー発電設備	(2)
	とれてで場	L-000233 温水系源小型バイナリー発電設備 L-000234 蒸気熱源小型バイナリー発電設備	(2)
	バイオマス発電	L-000234 蒸気熱が小型パイナリー光電設備 L-000237 ガスエンジン発電設備(メタン発酵発電用)	(1)
	熱輸送	L-000237 ガスエンノン光電政府 (スメン光野光電所) L-000238 潜熱蓄熱輸送設備	(1)
	リン回収設備	L-000260 リン回収設備HAP法(し尿・浄化槽汚泥用)	(3)
廃棄物・リサ		L-000261 リン回収設備MAP法(し尿・浄化槽汚泥用)	(5)
イクル		L-000262 リン回収設備MAP法(下水汚泥用)	
	選別機	L-000264 近赤外線樹脂選別機	(1)
			掲載合計: (134)

ŀN₽	部門1 部門2	技術分類	設備・機器等の 名称		原理・しくみ	条件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)	水準表 情報Na		測定単位 名 称	評価方法	ブ 準拠する規格	規格の名称	指標 計算方法 計算式	準拠する規格	規格の名称	試験条件 説 明
	務(業種 共通)	(ヒート ボンプ・	ガスヒートボン ブ	室外機内のコンプレッ 方式の空気調和機。	ッサの駆動をガスエンジンで行うヒート	トボンプー	相当馬力数	7.5HP以下	S-001778	1.19	- COPp	標準規格 による評 価	15または JISB8627:20	スヒートボ ンプ冷暖房	JRA4067:2015またはJISB8627:2006に準拠。た だし、電源の周波数は、50Hzとする。	15または JISB8627:20	スヒートボ ンプ冷暖房	JRA4067:2015またはJISB8627:2006に準拠。 だし、電源の周波数は、50Hzとする。
		個別方						7.5HP超10HP以下	S-001779	1.22			06	機		06	機	
								10HP超16HP以下	S-001780	1.33								
								16HP超25HP以下	S-001781	1.34								
								25HP超	S-001782	1.3								
								7.5HP以下	S-001773	-	- 期間成績係	標準規格	JISB8627:20	ガスヒート	JISB8627:2015に準拠	JISB8627:20	ガスヒート	JISB8627:2015に準拠
											数 (APFp)	価	15	ボンプ冷暖 房機		15	ボンブ冷暖 房機	
								7.5HP超10HP以下	S-001774	1.39								
								10HP超16HP以下	S-001775	1.86								
								16HP超25HP以下	S-001776	1.98								
								25HP超	S-001777	1.91								
						寒冷地仕様	相当馬力数	7.5HP以下	S-001788	1.19	- COPp	標準規格	JRA4067:20	いずれもガ	JRA4067:2015またはJISB8627:2006に準拠。た	JRA4067:20	いずれもガ	JRA4067:2015またはJISB8627:2006に準拠
												価	15または JISB8627:20 06	スヒートホ ンプ冷暖房 機	だし、電源の周波数は、50Hzとする。	JISB8627:20	スヒートホ ンプ冷暖房 機	だし、電源の周波数は、50Hzとする。
								7.5HP超10HP以下	S-001789	1.22								
								10HP超16HP以下	S-001790	1.34								
								AND PROPERTY OF THE PROPERTY O	0.05:	45:								
								16HP超25HP以下	S-001791	1.34								
								25HP超	S-001792	0.99								
								7.5HP以下	S-001783	-	- 期間成績係 数 (APFp)	標準規格	JISB8627:20	ガスヒート ボンプ冷暖	JISB8627:2015に準拠		ガスヒート ポンプ冷暖	JISB8627:2015に準拠
											sx (AFFP)	価	13	ボンファッ 房機		15	ボンノル吸 房機	
								7.5HP超10HP以下	S-001784	1.39								
								10HP超16HP以下	S-001785	1.81								
								16UD#705UDWT	S 004700	1.00								
								16HP超25HP以下	S-001786	1.93								

L2-Tech リスト№	区:	分	設備・機器等の 名称	原理・しくみ		クラス		L2-Tech 水準表	L2-Tech	測定単位	評価方法			指標 計算方法			試験条件
リストNR	部門1 部門	門2 技術分類	名称	<u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>	条件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称) 25HP超	水準表 情報№ S-001787	水準	測定単位 名 称	のタイプ	準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	格規格の名称	説 明
					発電機付	相当馬力数	7.5HP以下	S-001798		- COPp	標準規格 による評 価	JRA4067:20 15または JISB8627:20 06	いずれもガ スヒートボ ンプ冷暖房 機	JRA4067:2015またはJISB8627:2006に準拠。た だし、電源の周波数は、50Hzとする。	JRA4067:20 15または JISB8627:20 06	いずれもガ スヒートボ ンプ冷暖房 機	JRA4067:2015またはJISB8627:2006に準拠。た だし、電源の周波数は、50Hzとする。
							7.5HP超10HP以下	S-001799									
							10HP超16HP以下	S-001800	1.34								
							16HP超25HP以下	S-001801	1.34								
							25HP超	S-001802	1.27								
							7.5HP以下	S-001793		- 期間成績係 数(APFp)	標準規格による評価	15	ガスヒート ボンブ冷暖 房機	JISB8627:2015仁準拠	JISB8627:20 15) ガスヒート ボンプ冷暖 房機	JISB8627:2015に準拠
							7.5HP超10HP以下	S-001794									
							10HP超16HP以下	S-001795	1.86	3							
							16HP超25HP以下	S-001796	1.97	,							
							25HP超	S-001797	1.91								
	産業・業 空調 務(業種 共通)	空調機(ヒートボンプ・個別方式)	パッケージエア コン(店舗・オ フィス用)	電動圧縮機を用いるヒートポンプ式の空気調和機で、冷房能力が4 〜28kW程度。主に店舗・オフィス向け。	-	冷房能力	4.0kW以下	S-001803	7.6	- 通年エネル ギー消費効 率 (APF)	による評	15	パッケージ エアコン ディショナ	JISB8616:2015仁华拠) パッケージ エアコン ディショナ	JISB8616:2015仁準拠
							4.0kW超 5.0kW以下	S-001804	7.5	5							
							5.0kW超 6.3kW以下	S-001805	7.3								
							6.3kW超 11.2kW以下	S-001806	7.2								

L2-Tech	区分	恐備・機器等の			クラス		L2-Tech	L2-Tech				指標		
リストNΩ		設備・機器等の 名称	原理・しくみ				上2-TeCh 水準表 情報№	L2-Tecn 水準	測定単位	評価方法 のタイプ 準拠する規格		計算方法		試験条件
	部門1 部門2 技術分類			条 件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)			単位 名称	のタイプ 準拠する規格	規格の名称	計算式	拠する規格 規格の名	称 説 明
						11.2kW超 16.0kW以下	S-001807	6.7						
						16.0kW超	S-001808	6.2						
1	1 1	1				II.	1 1		l l	1 1	1	Į.		

部門1 部門2	技術分類	設備・機器等の 名称	原理・しくみ	条件	クラス (単位)	クラス 能力(名称)	水準表 情報Ng	2-Tech 水準 単	測定単位 名 称	評価方法のタイプ	準拠する規格	規格の名称	指標 計算方法 計算式	準拠する規	格 規格の名称	試験条件 説 明
産業・業 務(業種 共通)	空調機	パッケージエア コン(設備用)	電動圧縮機を用いるヒートポンプ式の空気調和機で、冷房能力が9~140kW程度。主に工場向け。	-	冷房能力	28kW以下	S-001809	4.8	- 通年エネル ギー消費効 率 (APF)	標準規格	JISB8616:20 15	パッケージ エアコン ディショナ	JISB8616:2015に準拠	JISB8616:	20 パッケージ エアコン ディショナ	JISB8616:2015に準拠
						28kW超 45kW以下	S-001810	4.2								
						45kW超 56kW以下	S-001811	4								
						56kW超 80kW以下	S-001812	3.9								
						80kW超 112kW以下	S-001813	3.5								
						112kW超 140kW以下	S-001814	3.5								
						140kW超	S-001815	3.5								
				排熱利用型	冷房能力	9.8kW	S-001816	6.1	- 成積係数 (COP)	標準規格による評価		エデーダ形デ及空ボ格フュショ部接つョ気ーー及のエールのでは、一大変をは、一大変をは、一大変をは、一大変をは、一大変をは、一大変をは、一大変をは、一大変をは、一大変をは、一大変をは、一大変をは、一大変をは、	JISB8615-2に準拠。ただし、ユニット吸込: ついては55℃とする。	I度に JISB8615-	2 エディ第クエイび気ンコシュニを持つエイび気ンコが後の空ボイで気でしてが、大力には、大力によるでは、大力には、大力には、大力には、大力には、大力には、大力には、大力には、大力に	JISB8615-2に準拠。ただし、ユニッ ついては55℃とする。
産業・業 空調 務(業種 共通)	(ヒート	コン(ビル用マル	電動圧縮機を用いるヒートボンプ式の空気調和機で、冷房能力が 14~120KW程度。主にビル向け。室内機ごとの個別制御機能を持 つ。	-	冷房能力	14.0kW以下	S-001817	6.1	ギー消費効	標準規格による評価	JISB8616:20 15	運転性能試	JISB8616:2015仁準拠	JISB8616:	運転性能試	JISB8616:2015に準拠
						14.0kW超 16.0kW以下	S-001818	6								
						16.0kW超 22.4kW以下	S-001819	6.5								
						22.4kW超 28.0kW以下	S-001820	6.3								
						28.0kW超 33.5kW以下	S-001821	6.4								
	1									1		1				

L2-T	Γech .⊦Nα		区分	設備・機器等の	原理・しくみ	クラス		L2-Tech	L2-Tech			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		指標			7+80 At 14
リス	ŀ№	部門1	区分 部門2 技術分類	名称	原理・しくみ	条件クラス能力(単位)	クラス 能力(名称) 33.5kW超 40.0kW以下	水準表 情報№ S-001822	水準	単位	名称	評価方法 のタイプ 準拠する規格 規格の	計算方法 D名称 計算式		準拠する規格	規格の名称	試験条件 説 明
							SOUNDE TUUNNY I.	5-001022	0.								
							40.0kW超 56.0kW以下	S-001823	6.4	L L							
							56.0kW超 69.0kW以下	S-001824	6.4	Į.							
							69.0kW超 80.0kW以下	S-001825	6.4	L.							
							80.0kW超 90.0kW以下	S-001826	6.4	L Company							
							90.0kW超	S-001827	6.4	L							
L-0000	看	産業・業 务(業種 共通)	空調機(ヒートボンブ・個別方式)	ケージエアコン	パッケージエアコンの室外ユニットと室内ユニットの間に氷蓄熱格 を持っており、夜間の冷房を使っていい時間帯に、米蓄熱格の熱 交換器で水を作り、昼間の冷房運転がには、室外ユニットを通った 冷漠を米蓄熱橋の熱交換器できらに冷やしてから室内橋に送ること によって利用する。2050年に向けた再生可能エネルギー発電の最 大活用に資することが解待される。		14.0kW以下	S-001828	3.64		- 日量蓄熱利 用冷房効率	標準規格 による評 価 JRA4053:20 外蓄熱 パッケ エアコ ディシ	ージ ン		07	氷蓄熱式 パッケージ エアコン ディショナ	JRA4053:2007に準拠
							14.0kW超16.0kW以下	S-001829		-							
							16.0kW超22.4kW以下	S-001830									
							22.4kW超28.0kW以下	S-001831		•							
							28.0kW超45.0kW以下	S-001832									
							45.0kW超56.0kW以下	S-001833									
							56.0kW超80.0kW以下	S-001834		-							

L2-Tech リスト№		設備·機	機器等の S称	原理・しくみ		クラス		L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	測定単位	評価方法		指標 計算方法			試験条件
3×MA	部門1 部門2	技術分類	2 40		条 件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称) 80.0kW超112.0kW以下	情報No S-001835	· -	単位 名称	評価方法 のタイプ 準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格 規格	格の名称	説 明
							112.0kW超	S-001836	2.6							

nch No #	部門1 部門2		設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)	水準表 情報№	L2-Tech 水準 単位	測定単位 名 称	評価方法 のタイプ 準拠する規格 標準規格 JISB8621:20	規格の名称	指標 計算方法 計算式	準拠する規格	規格の名称	試験条件 説 明
15 <u>库</u> 源 務 共道	(業種 用プロセ 画) ス	調機 (ヒート ボンプ・	ターボ冷凍機	蒸発器、圧縮機、凝集器、弁からなる。蒸発器内の冷煤を蒸発させ 蒸発器内のパイプの中の循環水を冷やし、冷水として取り出して使 用する機器。蒸発した冷煤は圧縮機で昇圧され、凝縮器内の冷却水 で凝縮され液体に戻る。HFC冷燥またはHFC冷燥を使用してい	冷却能力	200RT未滿	S-001846	6.85	数 (IPLV)	標準規格 JISB8621:20 による評 11 価	遠心冷凍機	JISB8621:2011に举表	JISB8621:20 11	速心冷凍機	JISB8621:2011に準拠
		中央方 式)		<u> ర</u> .		200RT以上300RT未滿	S-001847	8.8							
						300RT以上400RT未满	S-001848	8.4							
						400RT以上500RT未满	S-001849	8							
						500RT以上600RT未満	S-001850	9.2							
						600RT以上700RT未満	S-001851	8.4							
						700RT以上1000RT未满	S-001852	9.1							
						1000RT以上1500RT未滿	S-001853	9.29							
						1500RT以上	S-001854	9.29							
						200RT未滿	S-001837	6.04	- 成績係数 (COP)	標準規格 による評 11	遠心冷凍機	JISB8621:2011に準拠	JISB8621:20 11	遠心冷凍機	JISB8621:2011に準拠
										価					
						200RT以上300RT未満	S-001838	6.32							
						300RT以上400RT未满	S-001839	6.31							
						400RT以上500RT未満	S-001840	6.6							
						500RT以上600RT未満	S-001841	6.17							
						600RT以上700RT未满	S-001842	6.29							
						700RT以上1000RT未満	S-001843	6.4							

L2-Tech	n	区分		設備・機器等の	原理・しくみ		クラス		L2-Tech	L2-Tech	測定単位	和 年七注		指標 計算方法			試験条件
リストNa	部門1	1 部門2	技術分類	名称	亦生 UVV	条件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)	水準表 情報№	水準	単位名称	評価方法 のタイプ 準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	規格の名称	説 明
								1000RT以上1500RT未満	S-001844	6.5							
								1500RT以上	S-001845	6.5							

L2-Tech		区分		設備・機器等の	原理・しくみ	クラス		L2-Tech 水準表	L2-Tech	3	定単位	評価方法	: I	指標 計算方法		試験条件
リストNR L-000006	部門1 産業・業		技術分類 熱源·空	名称 自然冷媒ターボ	蒸発器、圧縮機、凝集器、弁からなる。蒸発器内の冷媒を蒸発させ	条件 クラス能力(単位) ・ 冷却能力	クラス 能力(名称) 200RT未満	情報№ S-001855	水準 7.36	単位	名 称	のタイプ	準拠する規格 規格の名称 JISB8621:20 遠心冷凍機	計算式	準拠する規格 規格の名称 JISB8621:20 遠心冷凍機	説 明
	務(業種	用プロセ ス	- 調機 (ヒート ポンプ・ 中央方 式)	冷凍機	茶祭器内のパイブの中の循環水を冷やし、冷水として取り出して使用する機器。蒸発した冷媒は圧縮機で昇圧され、凝縮器内の冷却水で凝縮され液体に戻る。従来はHFC冷煤が使用されるケースが多いが、 本設備・機器等は自然冷煤である水が使用されている。公共スペース、地下街、及び医療機関での使用が期待されている。						数 (IPLV)	による評価	11		11	
							300RT以上400RT未满	S-001856	-							
L-000007	務(業種	用プロセ ス	調機 (ヒート	水冷ヒートポン ブチラー	水を熱源としたヒートポンプ方式の水冷式チリングユニット。	- 冷却能力	40.0kW以下	S-001857	4.48		- 成績係数 (COP)	標準規格による評価	94または ウォータチ JRA4066:20 リングユ	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 いずれも 94または ウォータチ JRA4066:20 リングユ 14	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠
			ポンプ・ 中央方 式)				40.0kW超80.0kW以下	S-001858	4.21				14 = ット		14 ニット	
							80.0kW超118.0kW以下	S-001859	5.41							
							118.0kW超180.0kW以下	S-001860	5.28							
							180.0kW超500.0kW以下	S-001861	5.57							
							500.0kW超1000.0kW以下	S-001862	6							
							1000.0kW超1500.0kW以下	S-001863	5.22							
						ブライン仕様、ブライン入 口温度3°C、ブライン出口 温度0°C	40.0kW以下	S-001864	3.28		- 成績係数 (COP)	標準規格による評価	JISB8613:19 94または ウォータチ JRA4066:20 14 リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただし、ブライン入口温度については3°C、ブライン出口温度については0°Cとする。	JISB8613:19 94または ウォータチ JRA4066:20 14 リングユ ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただし、ブライン入口温度については3℃、ブライン出口温度については0℃とする。
							40.0kW超80.0kW以下	S-001865	2.61							
							80.0kW超118.0kW以下	S-001866								
							118.0kW超180.0kW以下	S-001867								
							180.0kW超500.0kW以下	S-001868	-							
							500.0kW超1000.0kW以下	S-001869	-							
							1000.0kW超1500.0kW以下	S-001870	-							
						ブライン仕様、ブライン入 口温度-3°C、ブライン出口 温度-7°C	40.0kW以下	S-001871	2.24		- 成績係数 (COP)	標準規格による評価	94または ウォータチ	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。た だし、ブライン入口温度については・3℃、ブライ ン出口温度については・7℃とする。	94または ウォータチ	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。た だし、ブライン入口温度については-3°C、ブライ ン出口温度については-7°Cとする。

L2-Tech		区分		設備・機器等の			クラス		L2-Tech	L2-Tech				指 標			
リストNg		- "		名称	原理・しくみ				水準表 情報№	水準	測定単位 名 称	評価方法 海畑オス担格		計算方法			試験条件
77.4114	部門1	部門2	技術分類	14.44		条 件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)	情報№		単位 名称	のタイプ 準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	規格の名称	説 明
								40.0kW超80.0kW以下	S-001872	2.74							
								80.0kW超118.0kW以下	S-001873	2.67							
								OU.UKW超116.UKW以下	3-001073	2.07							
	1	1	1 1					1	1				1 1				

L2	t-Tech スト№		区分	設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス		L2-Tech 水準表 情報Na	L2-Tech	300	定単位	評価方法	指標 計算方法		試験条件
- 9	×1-148	部門1	部門2 技術分類	白柳		条件 クラス能力(単位)	クラス 能力(名称) 118.0kW超180.0kW以下	情報№ S-001874	2.66	単位	名称	評価方法 のタイプ 準拠する規格 規格の名称	計算式	準拠する規格 規格の名	熟 説 明
							180.0kW超500.0kW以下	S-001875	2.61	1					
							500.0kW超1000.0kW以下	S-001876		-					
							1000.0kW超1500.0kW以下	S-001877							
L-00	i 8000i	産業・業 体 (学話	空調/産業 熱源・空	空冷ヒートポン	空気を熱源としたヒートボンプ方式の空冷式チリングユニット。	- 冷却能力	60.0kW以下	S-001883			- 期間成績係 * (IDI V)	標準規格 JRA4066:20 ウォータチ による評 14 リングユ	JRA4066:2014に準拠	JRA4066:20 ウォータチ 14 リングユ	JRA4066:2014仁举拠
		共通)	ス(ヒートボンブ・中央方				60.0kW超90.0kW以下	S-001884	6.2			価 ニット		= 17	
							90.0kW超120.0kW以下	S-001885	6	6					
							120.0kW超160.0kW以下	S-001886	5.6	5					
							160.0kW超	S-001887	5.2	2					
							60.0kW以下	S-001878	3.85	5	- 成績係数 (COP)	価 JRA4066:20 リンクユ	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 いずれも 94または ウォータチ JRA4066:20 リングユ	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠
							60.0kW超90.0kW以下	S-001879	3.99	9		14 = ット		14 = y F	
							90.0kW超120.0kW以下	S-001880	4.0						
							120.0kW超160.0kW以下	S-001881	4.07	7					
							160.0kW超	S-001882	4.3	3					
						ブライン仕様、ブライン入 口温度ので、ブライン出口 温度・5°C	60.0kW以下	S-001722			(COP)	による評 94または ウォータチ	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。た だし、ブライン入口温度については0°C、ブライ ン出口温度については-5°Cとする。	94または ウォータチ	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただし、プライン入口温度については0°C、プライン出口温度については0°C、プライン出口温度については-5°Cとする。
							60.0kW超90.0kW以下	S-001723	2.45	5					
							90.0kW超120.0kW以下	S-001724	2.3	3					
							120.0kW超160.0kW以下	S-001725	2.64	1					
							160.0kW超	S-001726	2.79	9					

L2-Tech		区分	設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス		L2-Tech 水準表	L2-Tech		(完単位	神体七冲		指標 計算方法		计验多 性
リストN₽	部門1	部門2 技術分類	名称	が、生*しくみ	条件 クラス能力(単位) プライン仕様、ブライン入 冷却能力	クラス 能力(名称) 60.0kW以下	水準数 情報№ S-001737	水準	3	定単位 名 称 - 成績係数	評価方法 のタイプ 煙準担格	<u>準拠する規格 規格の名称</u> JISB8613:19 いずれも	計算方法 計算式 JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。た	準拠する規格 規格の名称	試験条件 説 明 JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。た
					フラインは様、フライン人 口温度の°C、ブライン出口 温度・5°C、散水式	OG. OKVIVAC IT	3-001737			(COP)	保学規格による評価	94または ウォータチ	JISDB013:1994またはJRA4U05.2014に年齢。た だし、ブライン入口温度については0°C、ブライ ン出口温度についてはよ0°Cとする。	94または ウォータチ	
						60.0kW超90.0kW以下	S-001738	2.9	9						
						90.0kW超120.0kW以下	S-001739	2.75	5						
						120.0kW超160.0kW以下	S-001740								
						160.0kW超	S-001741								
					プライン仕様、プライン入 口温度-2°C、プライン出口 温度-6°C	60.0kW以下	S-001727	2.5	5	- 成績係数 (COP)	標準規格による評価	JISB8613:19 いずれも 94または ウォータチ JRA4066:20 リングユ 14 ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただし、ブライン入口温度については-2°C、ブライン出口温度については-5°Cとする。	JISB8613:19 94または ウォータチ JRA4066:20 リングユ 14 ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。た だし、ブライン入口温度については2℃、ブライ ン出口温度については-5℃とする。
						60.0kW超90.0kW以下	S-001728	2.71	1						
						90.0kW超120.0kW以下	S-001729	2.72	2						
						120.0kW超160.0kW以下	S-001730	2.63	3						
						160.0kW超	S-001731	2.72	2						
					ブライン仕様、ブライン入 ロ温度3℃、ブライン出口 温度0℃	60.0kW以下	S-001717	2.45	5	- 成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 いずれも 94または ウォータチ JRA4066:20 リングユ 14	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただし、ブライン入口温度については3℃、ブライン出口温度については3℃、ブライン出口温度については0℃とする。	JISB8613:19 いずれも 94または ウォータチ JRA4066:20 リングユ 14 ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。た だし、ブライン入口温度については3℃、ブライ ン出口温度については0℃とする。
						60.0kW超90.0kW以下	S-001718		-						
						90.0kW超120.0kW以下	S-001719		-						
						120.0kW超160.0kW以下	S-001720		-						
						160.0kW超	S-001721		-						
					ブライン仕様、ブライン入 冷却能力 口温度・3°C、ブライン出口 温度・7°C	60.0kW以下	S-001732	2.39	9	- 成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	94または ウォータチ	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。た だし、ブライン入口温度については-3°C、ブライ ン出口温度については-7°Cとする。	94または ウォータチ JRA4066:20 リングユ	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。た だし、ブライン入口温度については-3°C、ブライ ン出口温度については-7°Cとする。
						60.0kW超90.0kW以下	S-001733	2.24	1					14 = ット	
						90.0kW超120.0kW以下	S-001734	2.09	9						
						120.0kW超160.0kW以下	S-001735		-						

L2-Tech	区分	設備・機器等の 名称	原理・しくみ		クラス		L2-Tech 水準表	L2-Tech	測定単位	124年方法	1		指標 計算方法		試験条件
リスト№ 部門1	部門2 技術分類	- 名称	W. 2 - 0 - 0	条 件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称) 160.0kW超	水準表 情報№ S-001736	水準	測定単位 名 称	のタイプ	準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格 規格の名	新 説 明
				寒冷地仕様	冷却能力	60.0kW以下	S-001702		- 期間成績係 数 (IPLV)	による評	94または	ウォータチ	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	94または ウォータ	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準
										価	JRA4066:20 14	リングユ ニット		JRA4066:20 リングユ 14 ニット	
						60.0kW超90.0kW以下	S-001703								
						00 0134/\$77400 0134/11	0.004704								
						90.0kW超120.0kW以下	S-001704								
						120.0kW超160.0kW以下	S-001705		-						
						160.0kW超	S-001706								
						60.0kW以下	S-001898		- 成績係数 (COP)	による評	94または	ウォータチ	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 いずれも 94または ウォータ JRA4066:20 リングユ	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準
										価	JRA4066:20 14	リングユ ニット		14 = "> 14	
						60.0kW超90.0kW以下	S-001698								
						90.0kW超120.0kW以下	S-001699								
						55.587 (2.125.587)	0 001000								
						120.0kW超160.0kW以下	S-001700	2.89							
						160.0kW超	S-001701								
				寒冷地仕様、散水式	冷却能力	60.0kW以下	S-001712			による評	JISB8613:19 94または JRA4066:20	ウォータチ	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	94または ウォータ JRA4066:20 リングユ	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準 チ
											14	ニット		14 = ">	
						60.0kW超90.0kW以下	S-001713		-						
						90.0kW超120.0kW以下	S-001714								
						120.0kW超160.0kW以下	S-001715								
						160.0kW超	S-001716								
						60.0kW以下	S-001707		成績係数	標準相終	JISB8613-10	いずわま	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 Lva*+ ±	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準
									(COP)	による評 価	94または JRA4066:20	ウォータチ リングユ		94または ウォータ JRA4066:20 リングユ	F
											14	ニット		14 ニット	
						60.0kW超90.0kW以下	S-001708		-						
						90.0kW超120.0kW以下	S-001709								

		= 0						L2-Tech						指 標		
L2-Tec リストN	n <u>2088</u> 4	区分 部門2 技術分類	設備・機器等の 名称	原理・しくみ	条 件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)	水準表 情報№	L2-Tech 水準	測定単位 単 位 名 称	評価方法	海坳ナス1844	相換のなか	計算方法計算式	準拠する規格 規格の	試験条件
	部門1	部門2 技術分類			宋 忤	グラス 能力(単位)	120.0kW超160.0kW以下	S-001710	3.79	単位 名称	0917	学拠9 の規格	規格の名称	計算式	学拠9の規格 規格の	5杯 説明
							160.0kW超	S-001711								
					散水式	冷却能力	60.0kW以下	S-001568		- 期間示練係	煙海田林	IISB8613:10	いずれま	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	IISB8613:10 1 \#* # ±	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠
					HAVE	70 BOHE 23	00.0KVV 92. [*	0-001300		数 (IPLV)	による評	JISB8613:19 94または	ウォータチ	31000013.13343.7.18317.44000.201412.438	94または ウォータ	チ
											価	JRA4066:20 14	リンクユニット		JRA4066:20 リングユ 14 ニット	
							60.0kW超90.0kW以下	S-001569	6.6							
							60.0KW/配90.0KW以入下	5-001569	0.0							
							90.0kW超120.0kW以下	S-001570	6.4							
							120.0kW超160.0kW以下	S-001571	6.1							
							160.0kW超	S-001572								
							60.0kW以下	S-001524	4.86	- 成績係数	標準規格	JISB8613:19	いずれも	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 いずれも	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠
										(COP)	による評価	94または JRA4066:20	ウォータチ リングユ		94または ウォータ JRA4066:20 リングユ	<i>f</i>
												JRA4066:20 14	ニット		14 ニット	
							60.0kW超90.0kW以下	S-001525	6.2							
							90.0kW超120.0kW以下	S-001579	5.46							
							30.0KVV (2 120.0KVV (2 1	0-001373	5.40							
							120.0kW超160.0kW以下	S-001566	4.86							
							120.0KW超160.0KW以下	5-001566	4.80							
							160.0kW超	S-001567	5.5							
					散水式、冷水出入口温度差 7℃	冷却能力	60.0kW以下	S-001578		- 期間成績係 数 (IDLV)	標準規格	JISB8613:19	いずれも	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。た	JISB8613:19 いずれも	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。た
					76					SX (IFLV)	価	JRA4066:20	リングユ	たじ、	JRA4066:20 リングコ	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。た だし、冷水出入口温度差については7°Cとする。
												14	ニット		14 ニット	
							60.0kW超 90.0kW以下	S-001612	7							
							90.0kW超 120.0kW以下	S-001613	6.7							
							120.0kW超 160.0kW以下	S-001614	6.5							
							160 0kW#Z	S-00464F								
							160.0kW超	S-001615								

L2-Tech		区分	設備	⋕・機器等の 名称	原理・しくみ		クラス		L2-Tech 水准表	L2-Tech 水準	ani o	定単位	評価方法		指標 計算方法		試験条件
リスト№	部門1	部門2 技術	i分類	名称	派性でいか	条件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)	水準表 情報No		単位	名 称	のタイプ	準拠する規格 規格の名称	計算式	準拠する規格 規格の名称	説 明
								60.0kW以下	S-001573	5.04	-	成績係数	標準規格	JISB8613:19 いずれも	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただし、冷水出入口温度差については7℃とする。	JISB8613:19 いずれも	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。た
								60.0kW超 90.0kW以下	S-001574	6.39							
								90.0kW超 120.0kW以下	S-001575	5.65							
								120.0kW超 160.0kW以下	S-001576	5.04							
								160.0kW超	S-001577	5.5							
						冷水出入口温度差7℃	冷却能力	60.0kW以下	S-001893	-	-	期間成績係 数 (IPLV)	による評	14 リングユ	JRA4066:2014に準拠 JRA4066:2014に準拠。ただし、冷水出入口温度差については7℃とする。	14 リングユ	JRA4066:2014に準拠 JRA4066:2014に準拠。た だし、冷水出入口温度差についてはがCとする。
								60.0kW超90.0kW以下	S-001894	6			価	ニット		ニット	
								90.0kW超120.0kW以下	S-001895	5.9							
								_									
								120.0kW超160.0kW以下	S-001896	5.7							
								160.0kW超	S-001897	-							
								60.0kW以下	S-001888	4	-	成績係数 (COP)	標準規格による評価	JISB8613:19 いずれも 94または ウォータチ JRA4066:20 リングユ 14 ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。た だし、冷水出入口温度差については7℃とする。	JISB8613:19 いずれも 94または ウォータチ JRA4066:20 リングユ 14 ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。た だし、冷水出入口温度差についてはがCとする。
								60.0kW超90.0kW以下	S-001889	4.13							
								90.0kW超120.0kW以下	S-001890	3.84							
								120.0kW超160.0kW以下	S-001891	3.47							
								160.0kW超	S-001892	4.3							

L2-Tech	区分		設備・機器等の 名称	原理・しくみ		クラス		L2-Tech 水準表	L2-Tech 水準	測定単位	∀	評価方法			指標計算方法			試験条件
リストNo 部門1	部門2	技術分類	名称	- 1954 <u>- 1</u>	条 件 冷房専用	クラス 能力(単位) 冷却能力	クラス 能力(名称) 60.0kW以下	水学表 情報№ S-001747		単位 : - 期間	名称 (根	のタイプ 準規格 よる評		いずれも ウォータチ	計算方法 計算式 JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	準拠する規格 JISB8613:19 94または JRA4066:20	ウォータチ	試験条件 説 明 JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠
							60.0kW超90.0kW以下	S-001748	-		1500			ニット		14	ニット	
							90.0kW超120.0kW以下	S-001749	-									
							120.0kW超160.0kW以下	S-001750	-									
							160.0kW超	S-001751	-									
							60.0kW以下	S-001742	3.67	- 成績 (Cd	t係数 標 OP) に 価	:よる評 i	JISB8613:19 94または JRA4066:20 14	ウォータチ	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	94または JRA4066:20	ウォータチ	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠
							60.0kW超90.0kW以下	S-001743	3.99				14	-91		14	-9 F	
							90.0kW超120.0kW以下	S-001744	3.76									
							120.0kW超160.0kW以下	S-001745	3.56									
							160.0kW超	S-001746	4.3									
					冷房専用、ブライン仕様、 ブライン入口温度-2℃、ブ ライン出口温度-5℃	冷却能力	60.0kW以下	S-001519	2.63	- 成績 (C)	情係数 標 OP) に 価	:よる評 i	94または JRA4066:20	ウォータチ	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。た だし、ブライン入口温度については・2℃、ブライ ン出口温度については・5℃とする。	94または	ウォータチ	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。た だし、ブライン入口温度については-2℃、ブライ ン出口温度については-5℃とする。
							60.0kW超90.0kW以下	S-001520	2.71									
							90.0kW超120.0kW以下	S-001521	2.72									
							120.0kW超160.0kW以下	S-001522	-									
							160.0kW超	S-001523										

L2-Tech	1	区分	設備・機器等の 名称	原理・しくみ		クラス		L2-Tech 水準表	L2-Tech 水準		11中世代	******		指標		计验久 从
リストNs		部門2 技術分類	名称	原達してのと	条 件 冷房専用、散水式	クラス 能力(単位) 冷却能力	クラス 能力(名称) 60.0kW以下	所学校 情報№ S-001768		単位	関定単位 名 称	評価方法 のタイプ 標準担格	準拠する規格 規格の名称	計算方法 計算式 JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	<u>準拠する規格</u> 規格の名称 JISB8613:19 いずれも	試験条件 説 明 JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠
					冲房等用、似小 丸	冷如能力	BU.UKWV 54 P	5-001766			数(IPLV)	保学規格による評価	JISB8613:19 いずれも 94または ウォータチ JRA4066:20 リングユ 14 ニット	JISB0013:1994家 / 21はJKA4U00:20141_ 牛売	94または ウォータチ JRA4066:20 リングユ 14 ニット	JISB0013:1994ま/こはJRA4000:2014に学施
							60.0kW超90.0kW以下	S-001769		-						
							90.0kW超120.0kW以下	S-001770		-						
							120.0kW超160.0kW以下	S-001771		-						
							160.0kW超	S-001772		-						
							60.0kW以下	S-001762	4.8	6	- 成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 いずれも 94または ウォータチ JRA4066:20 リングユ 14 ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠	JISB8613:19 いずれも 94または ウォータチ JRA4066:20 リングユ 14	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠
							60.0kW超90.0kW以下	S-001764	6.3	2						
							90.0kW超120.0kW以下	S-001765	5.4	6						
							120.0kW超160.0kW以下	S-001766	4.8	6						
							160.0kW超	S-001767	5.4	5						
					冷房専用、冷水出入口 差7℃	温度 冷却能力	60.0kW以下	S-001757		-	- 期間成績係 数(IPLV)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 いずれも 94または ウォータチ JRA4066:20 リングユ 14	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。た だし、冷水出入口温度差についてはプロとする。	JISB8613:19 いずれも 94または ウォータチ JRA4066:20 リングユ 14 ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただし、冷水出入口温度差については7℃とする。
							60.0kW超90.0kW以下	S-001758		-						
							90.0kW超120.0kW以下	S-001759		-						
							120.0kW超160.0kW以下	S-001760		-						
							160.0kW超	S-001761		-						
							60.0kW以下	S-001752		4	- 成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JISB8613:19 94または ウォータチ JRA4066:20 14	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。た だし、冷水出入口温度差についてはプCとする。	JISB8613:19 いずれも 94または ウォータチ JRA4066:20 リングユ 14	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただし、冷水出入口温度差については7℃とする。
							60.0kW超90.0kW以下	S-001753	4.09	9						
							90.0kW超120.0kW以下	S-001754	3.84	4						
							120.0kW超160.0kW以下	S-001755	3.4	7						

L2-Tech リスト№		区分		設備・機器等の	原理・しくみ	クラス		L2-Tech 水準表	L2-Tech	- 19	定単位	評価方法		指標 計算方法			試験条件
リストNo	部門1	部門2	技術分類		- INCE COV	条件クラス能力(単位)	クラス 能力(名称) 160.0kW超	情報№ S-001756	水準		名称	のタイプ	準拠する規格 規格の名称	計算式	準拠する規格	規格の名称	説 明
						冷房専用、冷水出入口温度 差7℃、散水式	60.0kW以下	S-001471			- 期間成績係 数(IPLV)	標準規格による評	JISB8613:19 いずれも 94または ウォータチ	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。た だし、冷水出入口温度差については7℃とする。	JISB8613:19 94または	いずれも ウォータチ	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。ただし、冷水出入口温度差については7°Cとする。
												100	14 = ">F		14 14	リングユニット	
							60.0kW超90.0kW以下	S-001515		-							
							90.0kW超120.0kW以下	S-001516		_							
							120.0kW超160.0kW以下	S-001517		-							
							160.0kW超	S-001518		-							
							60.0kW以下	S-001466	5.0	1	- 成績係数	標準規格	JISB8613:19 いずれも	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。た	JISB8613:19	いずれも	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。た
											(COP)	による評 価	94または ウォータチ JRA4066:20 リングユ 14 ニット	JISB8613:1994またはJRA4066:2014に準拠。た だし、冷水出入口温度差については7°Cとする。	94または JRA4066:20 14	ウォータチ リングユ ニット	だし、冷水出入口温度差については7°Cとする。
							60.0kW超90.0kW以下	S-001467	6.3	,			14 = 21			_ / !	
							0.0.0.0.00	0 001407	0.0								
							90.0kW超120.0kW以下	S-001468	5.6	5							
							120.0kW超160.0kW以下	S-001469	5.0	1							
							160.0kW超	S-001470	5.0	1							
L-000010	産業・業	空調	熱源・空	氷蓄熱ユニット	中央方式の空調機における熱源機とは別に氷蓄熱槽を持っており、	- 定格日量冷却能力	1000kW h 以下	S-001616			- 日量成績係	標準規格	JRA4044:20 氷蓄熱ユ	JRA4044:2005に準拠	JRA4044:20	氷蓄熱ユ	JRA4044:2005に準拠
	務(業種 共通)		調機(ヒート		夜間の冷房を使っていない時間帯に、氷蓄熱槽の熱交換器で氷を作り 尽間の冷屋運転時には 家外コニットを通った冷峻を氷蒸熱機						数	による評 価	05 ニット			ニット	
			ポンプ・中央方		の熱交換器でさらに冷やしてから室内機に送ることによって利用する。2050年に向けた再生可能エネルギー発電の最大活用に資することが期待される。												
			式)・熱 酒補機		C 2 778117 C 10 0 0		1000kW h 超2000kWh以下	S-001617		-							
							2000kWh超3000kWh以下	S-001618									
							2000000111823000000111821	5-001010									
							3000kWh超4000kWh以下	S-001619		-							
							4000kWh超5000kWh以下	S-001620		-							
							5000kWh超	S-001621		-							

L2-Tech		区分		設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス		L2-Tech 水準表	L2-Tech 水準	201.0	定単位	12年七年			指標 指標			試験条件
リストNo L-000012	部門1	部門2			間接気化式冷却器は、隔壁で仕切られたDRY流路とWET流路を多	条件 クラス能力(単位) より クラス能力(単位)	クラス 能力(名称) 14.0kW以下	水準表 情報№ S-001622		単位	名称	評価方法 のタイプ	準拠する規模	格規格の名称	計算式 JRA4066:2014及びJISB8615-2: 2015に準拠	準拠する規格	格 規格の名称	説 明 JRA4066:2014及びJISB8615-2: 2015に準拠
	在来·兼 養 (業種 共通)	ă 1	深線 機成。 機式・ 中 上 大方式)	間接入していか	同様人は九中和場合は、附至、仏りのづけいりは成なくやで「成別でき 数格階」と構造からなる。WCT®の内壁面は水を支した温度型で ある。ここでDRY講像に高温空気をWET減路には板湿空気スは常 温室気を流すことで、WET流路で気に熱弱泉を生しさせ、開壁の 温度が低下するため解りるうDRY流路を設れる空気の熱が開壁に 低速、提料温度の移行がなく物まされる。このかは口用いるエネイ ギーは被送動力と気化蒸粉に使用する水のみのため、名エネ性が高 く、COC9井田屋を削減できる機能である。既に食品工事・生産工 場・ショッピングセンターを中のに導入が進んでおり、今後データ センター向けに更なる普及が期待される。		14.000.00 [3-001022	34.4	•	(COP)	レーによ 評価	14JIS B	, リーエデ第接コシ気ヒプリニエデ第接コシ気ヒプリース・ ルグトコシ・ リース・ リース・ リース・ リース・ リース・ リース・ リース・ リース	JNA44000.20114及びJISB0013-2、2013に中類	14JIS B 8615-2	フリニエデ第接コシ気ヒプ・イン・アイ2 続ショダエイと気が大空、形デナ空トを大り、一次をできる。 びいり カー・ドイン・ボール はいかい サール・ドイン・アーウ という アーウン・アージャー・アージャー・アージャー・アージャー・アージャー・アージャー・アージャー・アージャー・アージャー・アージャー・アール・アール・アール・アール・アール・アール・アール・アール・アール・アー	JN-94000.2014.g. (3410590 13*2. 2010; 449g
							14.0kW超16.0kW以下	S-001623	34.5					> ALIMILIE			ZIMER	
							16.0kW超22.4kW以下 22.4kW超28.0kW以下	S-001624 S-001625	34.8									
							28.0kW超33.5kW以下	S-001626										
							33.5kW超40.0kW以下	S-001112	35									
							40.0kW超60.0kW以下	S-001113	35.2									
							60.0kW超80.0kW以下	S-001114	35									
							80.0kW超100.0kW以下 100.0kW超120.0kW以上	S-001115 S-001116										
L-000013	産業・業務(業務	空調/産業 第 用プロセ 諸	热源・空 □ □機(吸	吸収冷温水機 (一番効用)	吸収力の高い液体に冷媒を吸収させることにより生じる低圧を利用 して水本年化ネセ 年代動かによじる低温を得る冷凍機であり、液	節電型(冷却水量原単位 冷房能力 10 7m3h PT以下 冷水 A	80RT以下	S-001110			成績係数 (COP)	標準規格による評	JISB8622:2) 吸収式冷凍	JISB8622:2009に準拠	JISB8622:20) 吸収式冷凍 機	JISB8622:2009仁举拠
	供通)	ス 4	関級 (級 収式・中 央方式)	(一里知用)	して水を気化させ、気化熱から生じる低温を得る冷凍機であり、流 温、低温青生器を有するもの。	口温度15°C、冷水出口温度 7°C	80RT超1000RT以下	S-001121	1.48		(COF)	価	US	198		09	98	
							1000RT超	S-001122	1.47									
						冷水入口温度12℃、冷水出 口温度7℃	80RT以下	S-001117	1.48	•	成績係数 (COP)	標準規格による評価	JISB8622:20	D 吸収式冷凍機	JISB8622:2009仁举拠	JISB8622:20 09) 吸収式冷凍 機	JISB8622:2009に準拠
							80RT超1000RT以下 1000RT超	S-001118										
L-000014	産業・業	空調/産業 素	热源・空 「	吸収冷温水機	吸収力の高い液体に冷媒を吸収させることにより生じる低圧を利用	引冷水入口温度12°C、冷水出 -	TOUUK I 超	S-001119 S-001123			成績係数	標準規格	JISB8622:2) 吸収式冷凍	JISB8622:2009/二準拠	JISB8622:20) 吸収式冷凍	JISB8622-2009に準拠
	務(業種	用プロセ ま	周機(吸 収式・中 が 央方式) ジ	(三重効用)/廃	して水を気化させ、気化熱から生じる低温を得る冷凍機であり、高 温、中温、低温再生器を有するもの。	口温度7°C		2 231123			(COP)	による評価	09	機		09	機	

L2-Tech		区分		設備・機器等の	原理・しくみ	クラス		L2-Tech	L2-Tech 水準		+ * * *			指標			→ ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **
リストNa L-000015	務(業種	部門2 空調/産業 用プロセ	技術分類 熱源・空	名称 一重二重併用形	吸収力の高い液体に冷媒を吸収させることにより生じる低圧を利用 して水を気化させ、気化熱から生じる低温を得る冷凍機であり、排	条件 クラス能力(単位) 節電型(冷却水量原単位	クラス 能力(名称) 80RT以下	水準表 情報№ S-001226		単位	定単位 名 称 - 成績係数 (COP)	評価方法 のタイプ 標準規格 による評 価	JISB8622:20 吸収式冷凍	計算方法 計算式 JISB8622:200912準拠	準拠する規格 JISB8622:20 09	規格の名称 吸収式冷凍 機	試験条件 提 明 JISB8622:2009に準拠
							80RT超1000RT以下	S-001227	1.4	7							
							1000RT超	S-001228		-							
						冷水入口温度12℃、冷水出 口温度7℃	80RT以下	S-001124	1.4	7	- 成績係数 (COP)	標準規格による評価	JISB8622:20 吸収式冷凍 09 機	JISB8622:2009に準拠	JISB8622:20 09	吸収式冷凍機	JISB8622:2009に準拠
							80RT超1000RT以下	S-001180	1.4	,							
							1000RT超	S-001225		-							
L-000016	産業・業 務(業種 共通)	空調	熱源・空 調機(吸 収式・中 央方式)	焚き吸収冷温水 機 (二重効用)	吸収力の高い液体に冷媒を吸収させることにより生じる低圧を利用 して水を気化させ、気化熱から生じる低温を得る冷凍機であり、高 温、低温再生態を有するものの内、加熱感の発料に土質(イン・ 使用するもの。中央方式を採用する業務施設の冷暖房に使用され	- 冷房能力	80RT以下	S-001229	1.04	1	- 成績係数 (COP)	標準規格 による評 価	JIS B 8622: 吸収冷凍機 2009	JIS B 8622: 2009に準拠	JIS B 8622 : 2009	吸収冷凍機	JIS B 8622 : 2009に準拠
					v .		80RT超1000RT以下	S-001230		-							
							1000RT超	S-001231		-							
L-000020	産業・業 務(業種 共通)	空調	熱源・空 調機 (地 中熱利 用・中央 方式)	パッシブ地中熱 利用システム	熱交換パイプ、制御壁、ボンブ、ファンからなる。地下水又は選水 をスパイプル状に通水できるパイプを始下2m1-2間数と透風をする ことで、空気と地中熱・水の熱と熱交換を行い適風、冷風を透園す る機器。一般的には通風部のみあるクールチェープやアースチェー ブなどと呼ばれる空頭機が存在する。こうい。たシステムと止べ		6.4kW	S-001232		-	- 成績係数 (COP)	シミュ レーショ ンによる 評価		成績係数(COP)の算出にあたっては、入気温度、吹き出し温度、約光温度、戻り水温度については、以下の通り設定することを条件とする。入気温度50°C、約水温度:15°C、戻り水温度:15°C、	-		成績係数(COP)の算出にあたっては、入気温度、 吹き出し温度、輸水温度、戻り水温度について は、以下の通り設定することを条件とする。入気 温度35℃、吹き出し温度27℃、輸水温度:15℃、 戻り水温度:15℃
					て、水が特〜熱との熱交換が加わったことで、熱交換量が飛躍的に 増え、大空間の空間を行えるようになった。		8.2kW	S-001233		-							
							10.9W	S-001248	15.5	7							
							12.8kW	S-001249		-							
							21.9kW	S-001263		-							
							29.2kW	S-001264		-							
							36.5kW	S-001265		-							
L-000021	産業・業 務 (業種 共通)	空調/産業 用プロセ ス	熱源・空 調機(吸 着式・中 央方式)	吸着式冷凍機	吸着器内部に充填された吸着剤に冷媒を吸着させ、冷媒の蒸発を促 し、その気化熱から冷凍効果を得る冷凍機。	熟源入口温度58℃	-	S-001266	15.:	2	- 成績係数 (COP)	標準条件による評価	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、冷水出口温度、冷却水入口温度、熱源入口温度をそれぞれ次のとおり設定することを条件とする。冷水出口温度:15°C、冷却水入口温度:27°C、熱源入口温度:58°C	-		成績係数(COP)の算出にあたっては、冷水出口温度、冷却水入口温度、熱源入口温度をそれぞれ次のとおり設定することを条件とする。冷水出口温度:15℃、冷却水入口温度:27℃、熱源入口温度:58℃
						熟源入口温度68℃ -	-	S-001267	18.0	6	- 成績係数 (COP)	標準条件による評価	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、冷水出口温度、熱源入口温度、熱源入口温度をそれぞれ以下のとおり設定することを条件とする。 赤水出口温度:15°C 沖却水入口温度:27°C 熱源入口温度:68°C			成糖係数(COP)の算出にあたっては、冷水出口温度、冷却水入口温度、熱源入口温度をそれぞれ以下のとおり設定することを条件とする。 冷水出口温度:15°C 熱源入口温度:27°C 熱源入口温度:68°C

L2-Tech		区:	}	設備・機器等の	原理・しくみ		クラス		L2-Tech 水準表	L2-Tech	測定単位	評価方法		指標 計算方法			試験条件
リストNΩ		1 部門				条 件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)	情報№		単位 名称	のタイプ 準拠する規格	各 規格の名称	計算式		規格の名称	説 明
L-000022			セ (ヒート	高温水ヒートボ ンプ(空気熱源・ 循環式)	空気を終題とし、復復式の供給方式が可能なヒートボンブ方式で、 水等の2次媒体を加熱する熱源・空調機。貯湯ユニットを含まない もの。	以下、乾球温度16°C、湿球 温度12°C、温水出入口温度 差5°C		-	S-001268	3.09	- 成績係数 (COP)	標準条件 - による評 価		成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度 度、乾珠温度、湿球温度、温水出入口温度差を次 のとおり設定することを条件とする。温水出口温 度:65℃以上70°C以下、乾球温度:16°C、湿球温 度:12°C、温水出入口温度差:5°C		-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度 度、乾球温度、湿球温度、温水出入口温度差を次 のとおり設定することを条件とする。温水出口温 度:65℃以上70℃以下、乾球温度:16℃、湿球温 度:12℃、温水出入口温度差:5℃
						温水出口温度65℃以上70℃ 以下、乾球温度25℃、湿球 温度21℃、温水出入口温度 差10℃		-	S-001270	3.6	- 成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、乾球温度、湿球温度、温水出入口温度差を以下のとおり設定することを条件とする。温水出口温度:65℃以上70°以下乾球温度:25°℃湿球温度:21°℃温水出入口温度差:10°℃	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、乾球温度、湿球温度、温水出入口温度差を以下のとおり設定することを条件とする。温水出口温度:65℃以上70℃以下、乾球温度:25℃湿球温度:21℃温水出入口温度差:10℃
						温水出口温度65℃以上70℃ 以下、乾球温度25℃、湿球 温度21℃、温水出入口温度 差5℃		-	S-001269	3.29	- 成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、乾珠温度、湿球温度、温水出入口温度差を以 下のとおり設定することを条件とする。温水出口 温度:68℃以上70℃以下、乾球温度:25℃ 湿球温 度:21℃ 温水出入口温度差:5℃		-	成績係数(COP)の第出にあたっては、温水出口温度、乾珠温度、湿球温度、湿水出入口温度差を以下のとおり設定することを条件とする。温水出口温度:65℃以上70℃以下、乾球温度:25℃湿球温度:21℃温水出入口温度差:5℃
L-000023	産業・禁 務 (業利 共通)	業 給湯/菌種 用プロス	業 熱源 セ (ヒート ボンブ)	高温水ヒートポンプ(空気熱源・ 一過式)	空気を熱薬とし、一過式の供給方式が可能なヒートポンプ方式で、 水等の2次媒体を加熱する熱源・空調機。貯湯ユニットを含まない もの。	-	-	-	S-001271	4.2	- 年間標準貯 湯加熱エネ ルギー消費 効率	標準規格 による評 価	業務用ヒートポンプ給 湯機	JRA4060:2014に準拠	JRA4060:20 14	業務用ヒー トポンプ給 湯機	JRA4060:2014仁準拠
L-000024		業 産業用 種 ロセス			水を熱薬とし、連心式、または回転式圧縮機を使用して、循環式 供能方式が可能なヒートポンプ方式で、水等の2次媒体を加熱する 熱源・空調機。貯湯ユニットを含まないもの。			270kW以下 270kW超350kW以下	S-001633 S-001634	3.4	- 成績係数 (COP)	標準条件 - による評価	-	京越係数(COP)の第出にあたっては、温水出口温 味、熱薄水入口温度、熱率水出口温度、温水出口温度、 は、熱薄水入口温度、砂水出口温度、温水出口温度、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、砂水、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	-	-	成績係後(COP)の第出にあたっては、温水出口温 成 熱震水入口温度、熱寒水出口温度、流水出口温度 、熱寒水入口温度、粉寒水 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度 : 65°c 熱源水入口温度 : 17°C 熱源水出口温度 : 7°C 温水出入口温度差 : 10°C
								350kW超540kW以下	S-001635	3.2							
								540kW超	S-001054	-							
						温水出口温度65℃、熱源水 入口温度17℃以上30℃以 下、熱源水出口温度7℃以 上20℃以下、温水出入口温 度差10℃	加熱能力	270kW以下	S-001330	4.3	- 成績係数 (COP)	標準条件 - による評 価	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度・65℃ 熱源水入口温度・17℃ 以上30℃以下 熱源水出口温度・7℃以上20℃以下	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熟源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度を発源火出口温度、温水出入口温度差を以下のとおり設定することを条件とする。温水出口温度:17℃以上30°以下、熱源水出口温度:7°以上20°以下、熱源水出口温度;7°以上20°以下、
						22.00		270kW超350kW以下	S-001331	-				温水出入口温度差:10°C			温水出入口温度差:10℃
								350kW超540kW以下	S-001332	4.4							
								540kW超	S-001333	-							
						温水出口温度65℃、熱源水 入口温度20℃、熱源水出口 温度15℃以上17℃以下、温 水出入口温度差5℃		270kW以下	S-001272	3.6	- 成績係数 (COP)	標準条件 による評 価		成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度差を次のとおり設定することを条件とする。温水出口温度:65°C、熱源水入口温度:20°C、熱源水出口温度:15°C以上17°C以下、温水	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度差を次のとおり設定することを条件とする。温水出口温度 65°C、熱源水入口温度:20°C、熱源水出口温度 15°C以上17°C以下、温7
								270kW超350kW以下	S-001288	-							-0-
								350kW超540kW以下	S-001289	3.7							
								540kW超	S-001290	-							

2-Tech スト№	区分	設備・機器等の 名称	原理・しくみ		クラス	L2-Tech 水準表 情報Ne		測定単位	評価方法	指標計算方法	試験条件
	部門1 部門2	技術分類		条件 クラ 温水出口温度65°C、熱源水 入口温度30°C、熱源水出口 温度25°C以上30°C以下、温 水出入口温度差5°C	5ス 能力(単位) クラス 能力(名称) 270kW以下	S-001291	単 包	2 名称 - 成績係数 (COP)	のタイプ 準拠する規格 標準条件 - による評 価	# 技術の名称 成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度を以下のとおり設定することを供とす ス・3 キャリコョウ・555 (本学 ス・17 年 カロウ	機の名称 成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出 口温度差を以下のとおり設定することを条件と る。温水出温度: 65°C 熱源水入口温度: 30°C
				, and a second	270kW超350kW以下	S-001292	-			6. 温水出口温度:65°C 熟源水入口温度:30°C 熟源水出口温度:25°C以上30°C以下温水出入口	熱霧水出口温度:25℃以上30℃以下 温水出入口
					350kW超540kW以下	S-001293	-				
					540kW超	S-001294	4.8				
				温水出口温度65℃、熱源水 入口温度38℃以上40℃以 下、熱源水出口温度35℃、 温水出入口温度差5℃] 270kW以下	S-001303	5.1	- 成績係数 (COP)	標準条件 - による評価	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度、60°C、熱源水力 四温度 30°C	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出度、熱源水入口温度、熱源水口温度、温水 口温度差を以下のとおり設定することを条件 る。温水出口温度 65°C 熱源水入口温度 76°C
				温水山八口温及左50	270kW超350kW以下	S-001304	-			も、進水山山曲泉、600 防線外八日温泉、350 以上400以下 熱源水出口温泉:350 温水出入口	以上40°以下熱源水出口温度:35°C温水出,
					350kW超540kW以下	S-001305	-				
					540kW超	S-001306	-				
				温水出口温度65℃、熱源水 入口温度40℃、熱源水出口 温度30℃、温水出入口温度 养10℃	270kW以下	S-001334	4.9	- 成績係数 (COP)	標準条件 - による評価	- 成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱潮水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度、60で、熱源水力口温度、40°C	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水 口温度差を以下のとおり設定することを条件 る。温水出口温度:65℃熱源水入口温度:
					270kW超350kW以下	S-001335	-			熱源水出口温度:30°C 温水出入口温度差:10°C	熱源水出口温度:30°C 温水出入口温度差:1
					350kW超540kW以下	S-001336	-				
					540kW超	S-001337	5.8				
				温水出口温度75℃、熱源水 入口温度20℃、熱源水出口 温度15℃以上17℃以下、温 水出入口温度差5℃	270kW以下	S-001338	3.1	- 成績係数 (COP)	標準条件 - による評価	- 成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る、温水出口温度、75℃、熱泉水口温度、20°C	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出度、熱源水入口温度、熱源水上口温度、温水口温度差を以下のとおり設定することを条件る。温水出口温度:75℃熱源水入口温度:
					270kW超350kW以下	S-001375	-			熟惠水出口温度:15°C以上17°C以下温水出入口	熟源水出口温度:15°C以上17°C以下 温水出。
					350kW超540kW以下	S-001376	-				
					540kW超	S-001377	-				

L2-Tech		区分	設備・機器等の	原理・しくみ			L2-Tech 水準表	L2-Tech	-	則定単位	評価方法	指標 計算方法	試験条件
リスト№	部門1	部門2 技術分類	名称	- Installation	条件 クラス能力(単位)	クラス 能力(名称)	情報Na	水準	単位	名称	のタイプ 準拠する規格	規格の名称 計算式 準拠	1する規格 規格の名称 説 明
					温水出口温度75℃、熱源水 入口温度30℃、熱源水出口 温度20℃、温水出入口温度 差10℃	270kW以下	S-001428	3.	7	- 成績係数 (COP)	標準条件	原轄係数(COP)の寮田にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水田口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度:30°C 熱源水入口温度:30°C 熱源水田口温度:20°C 温水出入口温度差:10°C	- 成轄係数(COP)の第出にあたっては、 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度 口温度差を以下のとおり設定すること る。温水出口温度:75℃ 熱源水入口 熱源水出口温度:20℃ 温水出入口温
						270kW超350kW以下	S-001429		-				
						350kW超540kW以下	S-001472		-				
						540kW超	S-001473		-				
					温水出口温度75°C、熱源水 入口温度30°C、熱源水出口 温度25°C以上27°C以下、温 水出入口温度差5°C	270kW以下	S-001378	3.	7	- 成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熟源水入口温度、熱源水上口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とする。温水出口温度:75℃熱源水入口温度:30℃ 熱源水出口温度:75℃以上27℃以下温水出口	- 成績係数(COP)の算出にあたっては、 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度 口温度差を以下のとおり設定すること る。温水出口温度、75°C 熱源水入口、 熱源水出口温度、25°C以上27°C以下、25°C以上27°C以下、25°C以上27°C以下、25°C以上27°C以下、25°C以上27°C以下、25°C以上27°C以下、25°C以上27°C以下、25°C以上27°C以下、25°C以上27°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C、25°C以下、25°C以下、25°C以下、25°C、25°C、25°C、25°C、25°C、25°C、25°C、25°C
						270kW超350kW以下	S-001379		-				3.2
						350kW超540kW以下	S-001380		-				
						540kW超	S-001381		-				
					温水出口温度75°C、熱源水 入口温度35°C以上40°C以 下、熱源水出口温度30°C、 温水出入口温度差10°C	270kW以下	S-001474	3.	8	- 成績係数 (COP)	標準条件 - による評価	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度:75℃ 熱源水入口温度:35℃ 以上40℃以下 熱源水出口温度:30℃ 温水出入口	- 成績係数(COP)の算出にあたっては、 度、熱源水入口温度、熱源水出温度 口温度差を以下のとおり設定すること る。温水出口温度:75℃熱源水入口、 以上40℃以下熱源水出口温度:30℃
						270kW超350kW以下	S-001526	4.	3			and the same of th	
						350kW超540kW以下	S-001527		-				
						540kW超	S-001528		-				
					温水出口温度75°C、熱源水 入口温度40°C、熱源水出口 温度35°C、温水出入口温度 差5°C	270kW以下	S-001382	4.	4	- 成績係数 (COP)	標準条件 による評価	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、熱源水人口温度、熱源水出口温度、温水出入 口温度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度:75°0 熱源水入口温度:40°0 熱源水出口温度:55°0 温水出入温度差:5°0	- 成績係数(COP)の算出にあたっては、 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度 口温度差を以下のとおり設定すること る。温水出口温度・76°2 熱源水入口、 熱源水出口温度・36°2 温水出入口温
						270kW超350kW以下	S-001383		-			京の中の日本の文・30個の日本の文章、30	元のの小山口温度 . 30 0 温小田入口温圧
						350kW超540kW以下	S-001426		-				
						540kW超	S-001427		-				

L2-Tech		区分		設備・機器等の	原理・しくみ	クラス		L2-Tech	L2-Tech 水準		(*	Enter Law		指標			1155 W /s.
リストN∞	部門1	部門2		名称	原埋・しくみ	条件 クラス能力(単位)	クラス 能力(名称)	水準表 情報№		単位	定単位 名 称	評価方法 のタイプ	準拠する規格 規格の名称	計算方法計算式	準拠する規模	8 規格の名称	試験条件 説 明
						温水出口温度90℃、熱源水 入口温度17℃、熱源水出口 温度7℃、温水出入口温度 差10℃	270kW以下	S-001629			- 成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	- -	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口度、熱源水入口温度、熱源水口温度、熱源水田 口温度差を以下のとおり設定することを条件と る。温水出口温度:90°C 熱源水入口温度:17	入 す	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度差を以下のとおり設定することを条件とする。 温水出口温度:90℃ 熱源水入口温度:17℃
							270kW超350kW以下	S-001630	2.75	5				熱源水出口温度:7°C 温水出入口温度差:10°C			熱源水出口温度:7℃ 温水出入口温度差:10℃
							350kW超540kW以下	S-001631									
							540kW超	S-001632									
						温水出口温度90℃、熱源水 入口温度30℃、熱源水出口	270kW以下	S-001529		-	- 成績係数 (COP)	標準条件による評		成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出	入	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熟源水入口温度、熱源水出口温度、熱源水出口温度、熱源水出口温度、熱水出口温度、温水出入
						温度25°C、温水出入口温度 差5°C	270kW超350kW以下	S-001530	3.1			価		口温度差を以下のとおり設定することを条件と る。温水出口温度:90℃熱源水入口温度:30 熱源水出口温度:25℃温水出入口温度差:5℃	C		ロ温度差を以下のとおり設定することを条件とする。 温水出口温度:90°C 熱源水入口温度:30°C 熱源水出口温度:25°C 温水出入口温度差:5°C
							350kW超540kW以下	S-001531									
							540kW超	S-001580									
							S4UKVV ĶB	5-001580									
						温水出口温度90℃、熱源水 入口温度40°C、熱源水出口 温度30°C、温水出入口温度 差10℃	270kW以下	S-001585	\$	3	- 成績係数 (COP)	標準条件 による評 価	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口度、熱源水入口温度、熱源水口温度、温水出口温度差を以下のとおり設定することを条件と る。温水出口温度 90°C 熱源水入口温度 : 4(熱源水出口温度:30°C 温水出入口温度差:10	入 す C	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熟源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度を禁むいつたおり設定することを条件とする。 温水出口温度:90°C 熱源水入口温度:40°C 熱源水出口温度:90°C 温水出入回温度 ±10°C
							270kW超350kW以下	S-001586						於然外山日溫度。30 C 溫水山八日溫度產 . 10			於於小山口溫技,300 溫小山八口溫技艺,100
							350kW超540kW以下	S-001627	3.5	5							
							540kW超	S-001628									
						温水出口温度90°C、熱源水 入口温度40°C、熱源水出口 温度55°C、温水出入口温度 差5°C	270kW以下	S-001581		-	- 成績係数 (COP)	標準条件による評価		成糖係数(COP)の算出にあたっては、温水出口度、熱源水入口温度、熱源水口温度、温水出口温度速を以下のとおり設定することを条件と 。 温水出口温度: 90°C 熱源水入口温度: 40	入 す		成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度 度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出力 温度、温水出力、 高度差を以下のとおり設定することを条件とす る。温水出口温度・90°C 熱源水入口温度・40°C
						返り	270kW超350kW以下	S-001582						%。 無小田口温度:35℃ 温水出入口温度差:5℃ 熱源水出口温度:35℃ 温水出入口温度差:5℃			る。 温水山口温度:35℃ 温水出入口温度差:5℃ 熱源水出口温度:35℃ 温水出入口温度差:5℃
							350kW超540kW以下	S-001583									
							540kW超	S-001584									
L-000025	産業・業 務 (業種 共通)	産業用プロセス	(ヒート	高温水ヒートボ ンプ(水熱源・一 過式)	水を熱源とし、一過式の供給方式が可能なヒートポンプ方式で、ス 等の2次媒体を加熱する熱源・空調機。貯湯ユニットを含まないも の。	K	•	S-001055	4.3	3	- 年間標準貯 湯加熱エネ ルギー消費 効率	標準規格による評価	JRA4060:20 業務用ヒー トポンプ給 湯機	JRA4060:2014に準拠	JRA4060:20	業務用ヒー トポンプ給 湯機	JRA4060:2014に準拠
						水熱源運転、温水出口温度 70°C、熱源水入口温度 50°C、熱源水上口温度 38.6°C、温水出入口温度差	-	S-001056	10.2	2	- 成績係数 (COP)	標準規格による評価		成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、急水出口温度差を以下のとおり設定することを条件と あ、温水出口温度 2000 熱源水出口温度 1000 熱源水上口温度 1000 熱源水入口温度 1000 熱源水	入 す	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出口 コ温度差を以下のとおり設定することを条件とす る、温水出口温度、70%を増大の温度・50%

L2-Tech		区分		設備・機器等の	原理・しくみ		クラス		L2-Tech 水準表	L2-Tech	and the fit	5m/=-	+		指標			5+80 tr III
	部門1	部門2	技術分類	名称	原理・しくの	冬 件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)	水平表 情報№	水準	測定単位 名	証 評価方	ブ 準期する#	格 規格の名称	計算方法計算式	準拠する担格	規格の名称	試験条件 説 明
L-000026	産業・業 務 (業種 共通)	産業用プロセス	(ヒート	ンプ(水空気熱	空気、または水を熱源とでき、循環式の供給方式が可能なヒートボ ンプ方式で、水等の2次媒体を加熱する熱源・空調機。貯湯ユニッ トを含まないもの。		- -		S-001059	2.9	- 成績係 (COR	数 標準条件	F -		成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、乾球温度、湿球温度、温水出入口温度差を以 下のとおり設定することを条件とする。温水出口 温度:65℃ 乾球温度:25℃ 湿球温度:21℃ 温水 出入口温度差:5℃	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温 度、乾球温度、湿球温度、温水出入口温度差を以 下のとおり設定することを条件とする。温水出口 温度:65℃ 乾球温度:25℃ 湿球温度:21℃温水 出入口温度差:5℃
						水熱源運転、温水出口温度 65℃、熱源水入口温度20℃ 以下、熱源水出口温度15℃ 以下、温水出入口温度差 5℃	-	-	S-001057	3.6	- 成績係 (COR			-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熟源水入口温度、熱源水出口温度、温水出口温度、温度を染作とする。温水出口温度:65°C、熱源水入口温度:20°C以下、熱源水出口温度:15°C以下、温水出入口温		-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熟源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度差を次のとおり設定することを条件とする。温水出口温度:65°C、熱源水入口温度:20°C以下、熱源水出口温度:15°C以下、温水出入口温
						水熱源運転、温水出口温度 75℃、熱源水入口温度 17℃、熱源水出口温度 7℃、温水出入口温度差 10℃	-	-	S-001058	3.05	- 成績係 (COR			-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熟源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度を設下のとおり設定することを条件とする。温水出口温度: 17℃ 熱源水出口温度: 17℃ 熱源水出口温度: 10℃	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熟源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度を終度であることを条件とする。温水出口温度: 7°C 熱源水出口温度: 17°C 熱源水出口温度: 10°C
L-000027		産業用プ ロセス	(ヒート	ンプ(水空気熱	空気、または水を熱寒とでき、一通式の供給方式が可能なヒートポンプ方式で、水等の2次媒体を加熱する熱源・空調機。貯湯ユニットを含まないもの。	空気熱源運転		-	S-001061	4.4	- 成積係 (COR			20 業務用ヒー トポンプ給 湯機	JRA4060:2014に準拠	JRA4060:20 14	業務用ヒー トポンプ給 湯機	JRA4060:2014に準拠
						水熱源運転	-	- :	S-001060	3.9	- 成績係 (COR		JRA4060::	20 業務用ヒー トポンプ給 湯機	JRA4060:2014に準拠	JRA4060:20 14	業務用ヒートポンプ給 湯機	JRA4060:2014に準拠
L-000028		産業用プ ロセス	(ヒート		水を熱悪とし、一過循環式の供給方式を用いるヒートポンプ方式 で、高温の熱風を発生させる熱源装置。	-	-	-	S-001062	3.54	- 成績係 (COF			-	成績係数(COP)の算出にあたっては、空気入口温度、熱風供給温度、熱源水入口温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度を次のとおり設定することを条件とする。空気入口温度 こ20°C、熱源外路温度:100°C、熱源水出口温度:25°C	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、空気入口温度、熱風供給温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度を次のとおり設定することを条件とする。空気入口温度、20℃、熱風休温度:100℃、熱源水入口温度:30℃、熱源水出口温度:25℃
						水熱源運転、温水出口温度 70°C、熱源水入口温度 50°C、熱源水出口温度 38.6°C、温水出入口温度差 50°C	-	-	S-001063	-	- 成績係 (COF			-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度を映存したおり設定することを条件とする。温水出口温度 : 70°C 熱源水入口温度 : 50°C 熱源水出口温度 : 38.6°C 温水出入口温度差 : 50°C	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、温水出口温度、熱源水入口温度、熱源水出口温度、温水出入口温度を熱度のとおり設定することを条件とする。温水出口温度・50°C熱源水出口温度・50°C 熱源水出口温度・50°C 温水出入口温度差・50°C
L-000029	産業・業 務 (業種 共通)				水を熱源とし、一過式の供給方式を用いるヒートポンプ方式で、蒸 気を発生させる熱源装置。	蒸気圧力0.1MPaG、熱源水入口温度65°C、熱源水出口温度60°C		-	S-001125	3.53	- 成績係 (COR			-	成績係数(COP)の算出にあたっては、蒸気圧力、 熱源水入口温度、熱源水出口温度を次のとおり設 定することを条件とする。蒸気圧力:0.1MPaG、 熱源水入口温度:65℃、熱源水出口温度:60℃	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、蒸気圧力、 熱源水入口温度、熱源水出口温度を次のとおり設 定することを条件とする。蒸気圧力: 0.1MPaG、 熱源水入口温度: 65℃、熱源水出口温度: 60℃
						蒸気圧力0.1MPaG、熱源水 入口温度80℃、熱源水出口 温度70℃	-	-	S-001126	-	- 成績係 (COR			-	成績係数(COP)の算出にあたっては、蒸気圧力、 熱源水入口温度、熱源水出口温度を以下のとおり 設定することを条件とする。 蒸気圧力: 0.1MPad 熱源水入口温度: 80℃ 熱源水出口温度: 70℃	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、蒸気圧力、 熱源水入口温度、熱源水出口温度を以下のとおり 設定することを条件とする。蒸気圧力:0.1MPaG 熱源水入口温度:80℃ 熱源水出口温度:70℃
						蒸気圧力0.6MPaG、熱源水 入口温度70℃、熱源水出口 温度65℃	-	-	S-001127	2.46	- 成績係 (COF			-	成績係数(COP)の算出にあたっては、蒸気圧力、 熱源水入口温度、熱源水出口温度を以下のとおり 設定することを条件とする。 蒸気圧力: 0.6MPad 熱源水入口温度: 70℃ 熱源水出口温度: 65℃	-		成績係数(COP)の算出にあたっては、蒸気圧力、 熱源水入口温度、熱源水出口温度を以下のとおり 設定することを条件とする。 蒸気圧力 : 0.6MPaG 熱源水入口温度: 70℃ 熱源水出口温度: 65℃
L-000030	産業・業 務 (業種 共通)	産業用プ ロセス	熱源 (ヒート ポンプ)		産業プロセス等で利用された排熱を回収し、循環式の供給方式を用 いるヒートポンプ。低圧の高気を圧縮して再利用することで、ポイ ラ等の高気を利用する設備・機器等の省エネを実現可能。		-	-	S-001128	0.067	kWh/kg 消費電	は力量 標準条件 による記 価		-	消費電力量の算出にあたっては、吐出圧力、吐出 蒸気量、給水温度を次のとおり設定することを条 件とする。吐出圧力: 0.1MPaG以上0.2MPaG以 下、吐出蒸気量: 1.0ton/h以上2.0ton/h以下、給水 温度: 80°C			消費電力量の算出にあたっては、吐出圧力、吐出 蒸気量、給水温度を次のとおり設定することを条 件とする。吐出圧力: 0.1MPaG以上0.2MPaG以 下、吐出蒸気量: 1.0ton/h以上2.0ton/h以下、給水 温度: 80°C
						吐出圧力0.1MPaG以上 0.3MPaG以下、吐出蒸気量 3.0ton/h以上、給水温度 80℃		-	S-001130	0.064	kWh/kg 消費電	は力量 標準条件 による記 価		-	消費電力量の算出にあたっては、吐出圧力、吐出 蒸気量、給水温度を以下のとおり設定することを 条件とする。 吐出圧力: 0.1MPaG以上0.3MPaG 以下 吐出蒸気量: 3.0ton/h以上 給水温度: 80℃		-	消費電力量の算出にあたっては、吐出圧力、吐出 蒸気量、給水温度を以下のとおり設定することを 条件とする。 吐出圧力: 0.1MPaG以上0.3MPaG 以下 吐出蒸気量: 3.0ton/h以上 給水温度: 80°C
						吐出圧力0.4MPaG以上、吐 出蒸気量1.0ton/h以上 1.5ton/h以下、給水温度 80℃	-	-	S-001129	0.085	kWh/kg 消費電	は力量 標準条何 による 価		-	消費電力量の算出にあたっては、吐出圧力、吐出 蒸気量、給水温度を以下のとおり設定することを 条件とする。 吐出圧力: 0.4MPaG以上 吐出蒸気 量: 1.0ton/h以上1.5ton/h以下 給水温度: 80℃	-	-	消費電力量の算出にあたっては、吐出圧力、吐出 蒸気量、給水温度を以下のとおり設定することを 条件とする。吐出圧力: 0.4MPaG以上吐出蒸気 量: 1.0ton/h以上1.5ton/h以下給水温度: 80℃

リスト№ L-000032	00884			設備・機器等の	原理・しくみ				水準表	L2-Tech	:0:	定単位	評価方法	±		指標 計算方法			試験条件
L-000032	产金、产	部門2	技術分類	名称	空気を熱源とするヒートポンプ方式の給湯機。貯湯ユニットを含む	条 件	クラス 能力(単位) 加熱能力	クラス 能力(名称) 10kW以下	情報Na S-001131	水準	単位2	名称	のタイプ	準拠する規格	規格の名称	昇7/次 計算式 JRA4060:2014に準拠	準拠する規:	各規格の名称	説 明 JRA4060:2014に準拠
	性未・未 務(業種 共通)	等G ABS	船場番 (ヒート ポンプ)	湯機(空気熱源)	全気を飲みと9 るとートホンノガ丸の粘液機。 灯湯ユーツトを含む もの。	-	加級能力	TORWELF	5-001131	4	2	- 年间標準灯 湯加熱エネ ルギー消費 効率	による評	14	米物用に一 トポンプ給 湯機	JKA4000:2014に平便	14	トボンプ給湯機	JRA4000:201年に李勲
								10kW超20kW以下	S-001132	4	2								
								20kW超30kW以下	S-001133	3	9								
								30kW超40kW以下	S-001134	3	8								
								40kW超50kW以下	S-001135	4	2								
								50kW超	S-001136	4	2								
						寒冷地仕様	加熱能力	10kW以下	S-001137	3		- 寒冷地年間 標準貯湯加 熱エネル ギー消費効	による評 価	JRA4060:20	業務用ヒー トポンプ給 湯機	JRA4060:2014仁準拠	JRA4060:20) 業務用ヒー トポンプ給 湯機	JRA4060:2014仁準拠
								10kW超20kW以下	S-001138	3		率							
								20kW超30kW以下	S-001139	3	3								
								30kW超40kW以下	S-001181	3	5								
								40kW超50kW以下	S-001182		-								
								50kW超	S-001183	3	5								
L-000034	産業・業 務(業種 共通)	給湯		潜熱回収型給湯器	パーナによって加熱した高温の空気により配管内の水を温める機器。潜熱回収室は、従来捨てられていた燃焼排熱を潜熱回収する。	-	-	-	S-001184	Ş	5 %	6 熱効率	標準規格 による評 価	JISS2109:20 10R	家庭用ガス温水機器	JISS2109:2010RIC準拠	JISS2109:2 10R) 家庭用ガス 温水機器	JISS2109:2010Rに準拠
L-000035	産業・業 務(業種 共通)	給湯	ボイラ		歴境室、伝熱面、熱交換器からなる。燃燒によって温められた熱媒 水と輸水管の水とを熱交換させ、その温水を取り出して利用する。 熱媒水を真空地態に密閉した状態で沸騰させる真空式と、熱媒水を 大気に開放した状態で温め最低正式が存在する。		出力	1000kW未満	S-001185	10	5 %	6 ボイラ効率	標準規格 による評 価	1993、 JISB8417:20 00、または	ラー熱勘定 方式、真空 式温水発生	JISB8222-1993、JISB8417:2000、または JSB8418:2000に準拠	1993、 JISB8417:2 00、または	ラー熱勘定 方式、真空 式温水発生	JISB8222-1993、JISB8417:2000、または JSB8418:2000に準拠
								1000kW以上2000kW未滿	S-001186	S	0			JSB8418:20 00	機、または無圧式温水		JSB8418:20 00	機、または無圧式温水	
								2000kW以上	S-001187	8	9								

ech -Ne		区分		設備・機器等の 名称	原理・しくみ		クラス		L2-Tech 水準表	L2-Tech 水準	測定単位	評価方法			指標 計算方法			試験条件
若	部門1 産業・業 務(業種 失通)	産業用プロセス	技術分類ポイラ	蒸気ボイラ(貫) ボイラ)	、燃料の燃焼を熱源として水を加熱して蒸気を発生させ、その蒸気を 他に供給する経置。小型・軽量で、空調用、業務用~産業用の幅広 い・実種で使用される。	条 件 茶発	クラス 能力(単位) 登	<u> </u>	情報No S-001188 S-001189	97	位 名称 % ポイラ効率	標準規格	JISB8222- 1993お財本 公益日 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	陸用が ラカス 大公 大公 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の	JISB8222-1993および公益財団法人日本小型貫流 ボイラー協会が規定する「ボイラー性能表示基準	JISB8222- 1993および 公益財団法 人日本小型 貫流ポイ ラー協会が	ラー熱 あより 大公 大会 大会 大会 大会 大会 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き	JISB8222-1993および公益財団法人日本小型貫 ボイラー協会が規定する「ボイラー性能表示基
								3000kg/h以上	S-001190	99								
					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	禁熱回収型 蒸発	量	3000kg/h未满	S-001191	102	% ボイラ効率	標準規格による評価	公益財団法 人日本小型 貫流協会 ラー協会 規定する	方式および	JUSB8222-1993および公益財団法人日本小型賞流 ボイラー協会が規定する「ポイラー性能表示基準 値」に準拠	公益財団法 人日本小型	方式および 公益財団法 人日本小型 貫流ボイ ラー協会が	JUSB8222-1993および公益財団法人日本小型 ボイラー協会が規定する「ボイラー性能表示 値」に準拠
								3000kg/h以上	S-001213	102			性能表示基	規定する 「ポイラー 性能表示基		・ホイラー 性能表示基 準値」	規定する 「ポイラー 性能表示基	
若	産業・業 务(業種 共通)	産業用プロセス	ボイラ	蒸気ポイラ(炉筒煙管ポイラ)	有 勝料の態境を熱震として水を加熱して高気を発生させ、その高気を・ 他に供給する装置。 中程度の出力で、主に産業用・地域冷暖房用途 で使用される。	蒸発	量	1500kg/h未満	S-001214	92	% ボイラ効率	標準規格 による評 価	JISB8222- 1993	陸用ボイ ラー熱勘定 方式	JISB8222-1993に準拠	JISB8222- 1993	陸用ボイ ラー熱勘定 方式	JISB8222-1993に準拠
								1500kg/h以上3000kg/h未滿	S-001215	92								
								3000kg/h以上7200kg/h未滿	S-001216	96								
								7200kg/h以上19200kg/h未 满	S-001217	96								
								19200kg/h以上	S-001218	92								
75	産業・業 务(業種 共通)	産業用プ ロセス	ボイラ	蒸気ボイラ(水管ボイラ)	一般料の燃焼を熱源として水を加熱して高気を発生させ、その高気を他に供給する経費。高圧・大容量で、主に化学・製紙業といった産業用や、地域暖房用で使用される。	蒸発	±	1500kg/h未滿	S-001219	92		標準規格 による評 価		陸用ボイ ラー熱勘定 方式	JISB8222-1993に準拠	JISB8222- 1993	陸用ボイ ラー熱勘定 方式	JISB8222-1993に準拠
								1500kg/h以上3000kg/h未满		-								
								3000kg/h以上7200kg/h未满		96								
								7200kg/h以上19200kg/h未 滿 19200kg/h以上	S-001222 S-001223									
								19200kg/IIIXI	3-001223	34								

L2-Tech		区分		設備・機器等の	D		クラス		L2-Tech	L2-Tech	Spran IV II				指標			++ 80 % ILL
リスト№ L-000039	部門1 産業・業 務(業種 共通)	部門2 産業用プ	技術分類ボイラ		原理・しくみ 沸点の高い油を伝熱媒体に使用することによって、常圧で高温が得 られる装置、熱媒の種類によって油温度を200°0以上の任意温度に することが容易にできるため、種皮の高い温度制御が必要な化学工	条 件 ·	クラス 能力(単位)出力	クラス 能力(名称) 1000kW未満	水準表 情報Na S-001224	水準	測定単位 単 位 名 i % ボイラダ	評価方法 のタイプ か率 標準規格 による評	JISB8222-	規格の名称 陸用ボイ ラー熱勘定 方式	計算方法 計算式 JISB8222-1993に準拠	JISB8222-	規格の名称 陸用ボイ ラー熱勘定 方式	試験条件 説 明 JISB8222-1993に準拠
	/K.m./				するとことを呼ぶている。 素等の加熱、反応用プロセスに多く用いられる。			1000kW以上2000kW未滿	S-001234	92		<u> </u>		,,,,,)JA	
								2000kW以上	S-001235	92								
L-000040	産業・業 務(業種 共通)	空調/給湯/産業用ブロセス	ネレー	コージェネレー	ガスを燃料としエンジン方式により発電し、その際に生じる廃熱を - 同時回収することにより、燃料を効率的に利用する熱電供給システム。廃熱で発生する蒸気や温水は、製造業のプロセス利用や、施設 の空頭・輸送などに幅広く使用表れる。		発電出力	5kW以下	S-001245	85.5	% 総合効率	歴 標準規格 による評 価	JISB8122:20 09	レーション ユニットの 性能試験方	JISB8122:2009に準拠	JISB8122:20 09	レーション ユニットの 性能試験方	JISB8122:2009仁準拠
								5kW超10kW以下	S-001246	86.5				法			法	
								10kW超25kW以下	S-001315	85.5								
								25kW超35kW以下	S-001316	88								
								35kW超250kW以下	S-001317	90.2								
								250kW超500kW以下	S-001318	83.8								
								500kW超750kW以下	S-001319	87.8								
								750kW超1000kW以下	S-001320	87.8								
								3000kW超	S-001321	85.5								
								5kW以下	S-001236	29	% 発電効率	型 標準規格 による評 価	JISB8122:20 09	レーション ユニットの	JISB8122:2009に準拠	JISB8122:20 09	レーション ユニットの	JISB8122:2009に準拠
								5kW超10kW以下	S-001237	31.5				性能試験方法			性能試験方法	
								10kW超25kW以下	S-001238	33.5								
								25kW超35kW以下	S-001239	33.5								
								35kW超250kW以下	S-001240	35.5								
								250kW超500kW以下	S-001241	41.6								
								500kW超750kW以下	S-001242	41.9								

L2-Tech リストNs enema	区分		設備・機器等の 名称	理・しくみ		クラス		L2-Tech 水準表	L2-Tech 水準	測定単位	評価方法			指標 計算方法			試験条件
部門1	部門2	技術分類	-12 m		条 件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称) 750kW超1000kW以下	情報№ S-001243	42.4	単 位 名	称のタイプ	準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	規格の名称	説 明
							3000kW超	S-001244	49.5								
				- !	50Hz、高速エンジン (1000rpm以上)	発電出力	1000kW超2000kW以下	S-001328	87	% 総合効	極準規格 による評 価	09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方	JISB8122:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方	JISB8122:2009に準拠
							2000kW超3000kW以下	S-001329	77.5				法			法	
							1000kW超2000kW以下	S-001326	43.7	% 発電効	標準規格 による評価	09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方	JISB8122:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方	JISB8122:2009に準拠
							2000kW超3000kW以下	S-001327	43.4				法			法	
				7	50Hz、中速エンジン (1000rpm未満)	発電出力	1000kW超2000kW以下	S-001324	74.3	% 総合効果	極準規格 による評 価	09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方	JISB8122:2009に準拠	JISB8122:20 09	レーション ユニットの 性能試験方	JISB8122:2009に準拠
							2000kW超3000kW以下	S-001325	77.9				法			法	
							1000kW超2000kW以下	S-001322	45.5	% 発電効	極 標準規格 による評 価	09	レーション ユニットの 性能試験方	JISB8122:2009に準拠	JISB8122:20 09	レーション ユニットの 性能試験方	JISB8122:2009に準拠
							2000kW超3000kW以下	S-001323	47.8				法			法	
				Ī	60Hz	発電出力	5kW以下	S-001368	85.5	% 総合効	極 標準規格 による評 価	09	レーション ユニットの 性能試験方	JISB8122:2009に準拠	JISB8122:20 09	レーション ユニットの 性能試験方	JISB8122:2009に準拠
							5kW超10kW以下	S-001369	86.5				法			法	
							10kW超25kW以下	S-001370	85.5								
							25kW超35kW以下	S-001371	88								
							35kW超250kW以下	S-001372	90.7								
							250kW超500kW以下	S-001373	82.1								
							500kW超750kW以下	S-001374	87.8								
							750kW超1000kW以下	S-001400	87.8								
							3000kW超	S-001401	85.6								

12-Tech		区分	設備・機器等の			クラス		L2-Tech	12-Tech						指 標			
L2-Tech リストNg	部門1	部門2 技術分類		原理・しくみ	条 件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)	水準表 情報№	L2-Tech 水準	単位	定単位 名 称	評価方法のタイプ	準拠する規格	規格の名称	計算方法計算式	準拠する規料	各 規格の名称	試験条件 説 明
							5kW以下	S-001359	29	%	光电划平	標準規格 による評 価	09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009仁準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠
							5kW超10kW以下	S-001360	31.5									
							10kW超25kW以下	S-001361	33.5									
							25kW超35kW以下	S-001362	33.5									
							35kW超250kW以下	S-001363	37									
							250kW超500kW以下	S-001364	42									
							500kW超750kW以下	S-001365	41.3									
							750kW超1000kW以下	S-001366	42.5									
							3000kW超	S-001367	49.5									
					60Hz、高速エンジン (1000rpm以上)	発電出力	1000kW超2000kW以下	S-001408	86.5	%		標準規格 による評 価	09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠
							2000kW超3000kW以下	S-001409	-									
							1000kW超2000kW以下	S-001406	43.3	%		標準規格 による評 価	09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009仁準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠
							2000kW超3000kW以下	S-001407	-									
					60Hz、中速エンジン (1000rpm未満)	発電出力	1000kW超2000kW以下	S-001404	77	%		標準規格 による評 価	09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009仁举拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009仁準拠
							2000kW超3000kW以下	S-001405	77.9									
							1000kW超2000kW以下	S-001402	45.5	%		標準規格 による評 価	09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009仁準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JISB8122:2009に準拠
							2000kW超3000kW以下	S-001403	47.8									

L	2-Tech Jスト№	区分		設備・機器等の 名称 原理・しくみ	クラス		L2-Tech 水準表	L2-Tech 水準	測定単位	ヹヹ゚゚゚ヹ゚゚゚゚ヹ゚゚゚゚゚゚ヹ゚゚゚ヹ゚゚゚゚ヹ゚゚゚ヹ゚゚゚ヹ゚゚゚			指標計算方法			試験条件
	部門1	部門2 空調/給湯/ 産業用プ ロセス	- 22 -	ガステーピン ガスを燃料とし、ターピン方式により発電し、その際に生じる接熱 5/ コージェネレー ション を同時回収する熱電供給システム。 廃熱で発生する蒸気や温水は、 装造者のプロセス利用や、施設の空間・輸湯などに幅広く使用され る。	条 件 クラス 能力(単位) 発電出力	クラス 能力(名称) 1000kW以下	情報Na S-001095	83	単位 名 % 総合3	3. 称 のタイプ 効率 標準規格 による評 価	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方	計算式 JISB8122:2009に準拠	準拠する規格 JISB8122:20 09	レーション ユニットの 性能試験方	說 明 JISB8122:2009に準拠
						1000kW超2000kW以下	S-001096	84				法			法	
						2000kW超3000kW以下	S-001412	81.8								
						3000kW超5000kW以下	S-001413	-								
						5000kW超7000kW以下	S-001099	-								
						7000kW超10000kW以下	S-001100	85.2								
						10000kW超40000kW以下	S-001101	85.9								
						40000kW超	S-001102	84								
						1000kW以下	S-001410	18.6	% 発電3	効率 標準規格 による評 価	09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方	JISB8122:2009仁準拠	JISB8122:20 09	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方	JISB8122:2009に準拠
						1000kW超2000kW以下	S-001411	27.2				法			法	
						2000kW超3000kW以下	S-001097	28.4								
						3000kW超5000kW以下	S-001098	29.9								
						5000kW超7000kW以下	S-001091	39.3								
						7000kW超10000kW以下	S-001092	34.3								
						10000kW超40000kW以下	S-001093	38.8								
						40000kW超	S-001094	40.9								
						40000kW超	S-001094	40.9								

12-Toch		R 43	が帯、地界管の		A=2		L2-Tech	LO Took				指 標			
L2-Tech リスト№	無問1.	区分 部門2 技術分類	設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス 条 件 クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)	水準表 情報№	L2-Tech 水準	測	定単位 タ 科	評価方法 のタイプ 準拠する規格	計算方法 規格の名称 計算式	進加せる坦+	格 規格の名称	試験条件 説 明
	- пр[*] I	API IZ 技術分類			※ 件 グラス 能力(単位) 参電出力	クラス 能力 (名称) 1000kW以下	S-001164		<u>∓ ₩</u>	総合効率	標準規格 JISB8122:20 = L による評 09 L	コージェネ ノーション Lニットの 能試験方	JISB8122:20 09	は 規格の名称 コージェネ レーション ユニットの 性能試験方	説 明 JISB8122:2009に準拠
						1000kW超2000kW以下	S-001165	84			22	<u> </u>		法	
						2000kW超3000kW以下	S-001166	81.8							
						3000kW超5000kW以下	S-001167	-							
						5000kW超7000kW以下	S-001168	-							
						7000kW超10000kW以下	S-001169	85.2							
						10000kW超40000kW以下	S-001170	86.8							
						40000kW超	S-001171	84							
						1000kW以下	S-001103	-	%	発電効率	による評 09 L 価 =	コージェネ ーション ニーットの 能試験方	JISB8122:20 09) コージェネ レーション ユニットの 性能試験方	JISB8122:2009に準拠
						1000kW超2000kW以下	S-001104	27.2			ž	in continue of the continue of		法	
						2000kW超3000kW以下	S-001105	28.4							
						3000kW超5000kW以下	S-001106	29.9							
						5000kW超7000kW以下	S-001160	39.3							
						7000kW超10000kW以下	S-001161	34.3							
						10000kW超40000kW以下	S-001162	38.8							
						40000kW超	S-001163	40.9							

リスト№ L-000042 産	部門1								水準表	L2-Tech	測定単位	評価方法			計算方法			試験条件
1-000042 産		部門2		名称 一	原理・しくみ		クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)	情報№		単位 名称	のタイプ	準拠する規格	規格の名称	計算式		規格の名称	説 明
教共	多(業種)	空調/給湯/ 二 産業用プ オ ロセス シ	・レー	ジェネレーショ ン	ガスを燃料とし、燃料電池方式により発電し、その際に生じる療能 を同時回収する影電供給システム。廃熱で発生する蒸気や温水は、 製造業のプロセス利用や、施設の空調・給湯などに幅広く使用され る。				S-001173	93	% 総合効率	標準規格 、による評 (価	09	りん酸形然 料電池発電 システム通 則	JISC8801:2009に準拠	09	りん酸形然 料電池発電 システム通 則	JISC8801:2009に準拠
								-	S-001172	48	% 発電効率	標準規格 による評 (価	09	りん酸形燃料電池発電システム通 則	JISC8801:2009に準拠	09	りん酸形燃料電池発電システム通 則	JISC8801:2009に準拠
						60Hz	-	-	S-001175	93	% 総合効率	標準規格 による評 価	09	りん酸形燃料電池発電システム通 則	JISC8801:2009に準拠	09	りん酸形燃料電池発電 システム通 則	JISC8801:2009に準拠
								-	S-001174	48		による評 (価	09	料電池発電 システム通 則	JISC8801:2009に準拠	09	りん酸形燃料電池発電 システム通 則	JISC8801:2009 [二準拠
務	産業・業 务(業種 も通)	冷凍冷蔵 対	·凍冷蔵 機器	庫	レストランの厨房やスーパーマーケットのパックヤード等に使用さ れる冷凍冷危廉を指す。家庭用と比較し、急速な冷却機能と高い断 熱性能が求められる。	冷蔵庫:模型	容量	250L以下	S-001206	250	kWh/年 年間消費電力量	標準規格 による評 (価	09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫一特性及 び試験方法	JISB8630:2009仁準拠	09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫一特性及 び試験方法	JISB8630:2009仁準拠
								250L超350L以下	S-001207	320								
								350L超450L以下	S-001176	400								
								450L超	S-001414	470								
						冷蔵庫:縦型	容積	700L以下	S-001203	340	kWh/年 年間消費電力量	標準規格 による評 (価	09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫一特性及 び試験方法	JISB8630:2009仁準拠	09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫-特性及 び試験方法	JISB8630:2009仁準拠
								700L超1200L以下	S-001204	420								
								1200L超	S-001205	600								
						冷凍庫:模型	容量	250L以下	S-001422	760	kWh/年 年間消費電力量	標準規格 、 による評 (価	09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫一特性及 び試験方法	JISB8630:2009仁準拠	09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫一特性及 び試験方法	JISB8630:2009に準拠
								250L超350L以下	S-001423	1010								
								350L超	S-001424	1130								
						冷凍庫:縦型	容量	700L以下	S-001417	1030	kWh/年 年間消費電力量	標準規格 、 による評 (価	09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫一特性及 び試験方法	JISB8630:2009に準拠	09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫一特性及 び試験方法	JISB8630:2009に準拠
								700L超900L以下	S-001418	1550								
								900L超1200L以下	S-001419	2020								
								1200L超1500L以下	S-001420	2440								
								1500L超	S-001421	3130								

L2-Tech		区分		設備・機器等の 名称	原理・しくみ			L2-Tech 水準表	L2-Tech 水準	3	則定単位	評価方法		指標			試験条件
リストNΩ	部門1	部門2	技術分類	名称		条件 クラス能力(単位) 冷凍冷蔵庫:横型(冷凍室1 容量	クラス 能力(名称) 250L以下	情報№ S-001051		単位	名 称	のタイプ	準拠する規格 規格の名	称 計算式 I JISB8630:2009に準拠		格 規格の名称 業務用の需	説 明
						 	250LW P	5-001051	1070	KVVII/-	力量	標準規格 による評価	09 気冷蔵庫 び電気冷 庫 一特性	支 夏	09	気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫一特性及	JISB003U:2UU3I〜年版
							250L超350L以下	S-001052	1190				び試験方法	<u> </u>		び試験方法	
							350L超	S-001053	1270								
						冷凍冷蔵庫: 縦型(冷凍室1 容積	1200L以下	S-001415	1080	kWh/	年 年間消費電	標準規格	JISB8630:20 業務用の	重 JISB8630:2009仁準拠	JISB8630:20	業務用の電	JISB8630:2009に準拠
						室)					力量	による評 価	09 気冷蔵庫 び電気冷 庫 一特性 び試験方	2	09	気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫-特性及 び試験方法	
							1200L超	S-001416	1430								
						冷凍冷蔵庫: 緩型(冷凍室2 室)	900以下	S-001048	1490	kWh/:	年 年間消費電力量	標準規格 による評 価	JISB8630:20 業務用の 09 気冷蔵庫 び電気冷 庫 - 特性 び試験方:	į. 2	JISB8630:20 09	業務用の電 気冷蔵庫及 び電気冷凍 庫一特性及 び試験方法	JISB8630:2009仁準拠
							900L超1200L以下	S-001049	1660)			U SNOK /J	4		び記録が元	
							1200L超	S-001050	1810)							
00046	産業・業 務 (業種 共通)	動力他	冷凍冷蔵機器	空気冷媒方式冷凍機	空気の断熱膨張における温度低下により、マイナス50~100°Cの空気を得る冷凍機。	庫施量(有効容積) 1300m3規模		S-001455		•		標準条件による評価		成績係数(COP)の算出にあたっては、庫内温度を 次のとおり設定することを条件とする。なお、別 属する機器動力も加味した定格消費エネルギーを 用いる。庫内温度:-60℃	4	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、庫内温度 次のとおり設定することを条件とする。なお、 属する機器動力も加味した定格消費エネルギー 用いる。庫内温度:-60°C
						库腹量(有効容積) 2600m3規模	-	S-001425	0.4	ı		標準条件 による評 価	-	成績係数(COP)の算出にあたつては、庫内温度を 次のとおり設定することを条件とする。なお、队 属する機器動力も加味した定格消費エネルギーを 用いる。庫内温度:-60℃	4	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、庫内温度 次のとおり設定することを条件とする。なお、 属する機器動力も加味した定格消費エネルギー 用いる。庫内温度:・60℃
00047	産業・業 務 (業種 共通)	動力他	機器	冷凍冷蔵倉庫用 自然冷媒冷凍機 (アンモニア /CO2二次冷媒シ ステム)	アンモニアを一次冷媒、二酸化炭素を二次冷媒(マイナス5~マイナス40°C程度)とし、それを庫内に循環させる冷凍機。	庫内温度-20℃超10℃以下 冷凍能力	100kW以下	S-001460		-	- 成績係数 (COP)	標準条件による評価	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、凝縮温度、 CO2温度をそれぞれ以下のとおり設定することを 条件とする。 CO2温度: -17°C超-5°C以下冷却オ 入り口温度: 32°C	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、凝縮温度 CO2温度をそれぞれ以下のとおり設定すること 条件とする。 CO2温度: -17°C超-5°C以下 冷却 入り口温度: 32°C
				(ATA)			100kW超 200kW以下	S-001461									
							200kW超	S-001462									
						庫内温度-40°C超-20°C以下 冷凍能力	50kW以下	S-001456		-	- 成績係数 (COP)	標準条件による評価	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、CO2温度、 冷却水入り口温度をそれぞれ次のとおり設定する ことを条件とする。CO2温度: -37°C超-27°C以 下、冷却水入り口温度: 32°C	5	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、CO2温度 冷却水入り口温度をそれぞれ次のとおり設定す ことを条件とする。CO2温度:-37°C超-27°C以 下、冷却水入り口温度:32°C
							50kW超 150kW以下	S-001457	2.1								
							150kW超 250kW以下	S-001458									
							250kW超	S-001459									

L2-Tec		区分		設備・機器等の	原理・しくみ		クラス		L2-Tech 水準表	L2-Tech	測定単位	評価方法			指標計算方法		試験条件
リストハ	部門1	部門2	技術分類	名称		条件	クラス 能力(単位)		情報№		単位 名称			規格の名称	計算式	準拠する規格 規格の名	
L-000048	産業・業 務 (業種 共通)	照明	照明奋具	LED照明器具	発光ダイオード(LED)を光源に使用した照明器具。ただし、電気用品安全法の下でのPSE マークが付与されている製品に限る。	タワンフイト型、温日巴、電球色、配光角30°以下			S-001069	133.9	Im/W 国有エネル ギー消費効 率	による評	3:2011、	第3部:性 能要求事項 通、照明器	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠	JISC8105- 3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98 東京計算 第一次 通、照明 具一第 5 部:配光 定方法及证 照明用語	ige N
						ダウンライト型、温白色、電球色、配光角30°超60°以下	-		S-001068	134.5	Im/W 固有エネル ギー消費効 率	による評価	3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98	具一第5 部:配光測 定方法及び 照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠	JISC8105- 3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98 開明用語	生 JIS28113:1998に準拠 月
						ダウンライト型、温白色、電球色、配光角60°超	-		S-001067	131.3	Im/W 固有エネル ギー消費効 率	による評価	3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98	部:配光測 定方法及び 照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠	JISC8105- 3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98 開明用語	生 JISZB113:1998に準拠 質階 削
						ダウンライト型、昼光色、 昼白色、白色、配光角30° 以下	-		S-001066	140.1	Im/W 固有エネル ギー消費効 率	による評 価	3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98	具一第5 部:配光測 定方法及び 照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠	JISC8105- 3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98 開明用語	生 JISZB113:1998に準拠 質器 削
						ダウンライト型、屋光色、 昼白色、白色、配光角30° 超60°以下	-		S-001065	140.1	Im/W 固有エネル ギー消費効 率	による評価	3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98	具一第5 部:配光測 定方法及び 照明用語	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠	JISC8105- 3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98 開東 に配決 定方法及 照明用語	生 JISZ8113:1998 二準勝
						ダウンライト型、昼光色、 昼白色、白色、配光角60° 超	-		S-001064	140.1	Im/W 固有エネル ギー消費効 率	による評 価	3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98	第3部: 性 第3部: 東 東 東 東 明 第 明 5 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま 形 ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の に の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の る の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の 。 る る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 。 。 る 。 る 。 。 る 。 る 。 る 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠	JISC8105- 3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JIS28113:19 98 開東第 第3部半 通、照明 具一第5 部・配光 定方法及 照明用語	生 JIS28113:1998に準拠 開格 耐
						ベースライト型(スクエア)	-	32W蛍光灯相当スクエアサイズ		152.8	Im/W 固有エネル ギー消費効 率	標準規格による評価	3:2011,	照明3 第3 第3 第3 第3 第3 第3 第3 第3 第3 第3 第3 第3 第3	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠	JISC8105- 3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98 開明用語	生 JISZ8113:1998に準拠 頁 器
								45W蛍光灯相当スクエアサイズ	S-001465	155.1							
						ベースライト型(ストレート)		•	S-001463	190.4	Im/W 固有エネル ギー消費効 率	標準規格による評価	3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98	第3部:性 能要求事項 通、照明器	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠	JISC8105- 3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98 東架明 JISZ8113:19 98 東京方法及 照明用語	頁
L-000048	産業・業 務 (業種 共通)	動力他	ブリンタ/ 複写機	プリンタ	ブリンタの印字方式の主流は、インクジェット方式と電子写真方式であるが、オフィスで主に利用されているものは印刷速度の速い、電子写真方式である。電子写真方式の印刷工程は、帯電、需光、環像、転写、定着、滑揚の6工程であり、複写機と同様である。露光部分にLED(発光ダイオード)を用いたLEDブリンタもある。		-		S-001071	-	kWh 概念的1週間 (稼輸とス リーブオフ が繰り返さ れる5日間 スリーブオ フ状態の2日間) の消費 電力量 (TEC消費	による評価	-	ギースター プログラム	国際エネルギースタープログラムで定める試験条件	ギースタ・ブログラ	Δ.
						カラー印刷機能有			S-001070	-	kWh 概念的1週間 (総動とス リーブ/はス が繰り返さ れる5日間/ス フ状態の2日間)の消費 電力量 (TEC消費	による評		国際エネル ギースター プログラム	国際エネルギースタープログラムで定める試験条件	- 国際エネ ギースタ・ ブログラ	レ 国際エネルギースタープログラムで定める試験条 - 件

10.7				50.00 AW 00.00					L2-Tech	107					指 標			
L2-Tech リスト№	部門1	区分部門2	技術分類	設備・機器等の 名称	原理・しくみ	条 件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)	水準表 情報№	L2-Tech 水準	測定単位 単 位 タ	評価:	■方法 単拠する規格	規格の名称		準拠する規格	規格の名称	試験条件 説 明
L-000050		動力他	ブリンタ/ 夜写機		複写機能、ブリンタ機能、スキャナ機能、ファクシミリ機能のうち 2 つ以上の機能を有する機器である。		-	•	S-001073	-	kWh 概念的1 (稼働と	週間 標準 まる によって を	規格 - る評	国際エネル ギースター ブログラム	国際エネルギースタープログラムで定める試験条		国際エネル ギースター ブログラム	国際エネルギースタープログラムで定める試験条
						カラー複写機能有	-		S-001072	•	kWh (線を約1) (線を約1) が総55日 スリリル に対して に対して に対して に対して に対して に対して に対して に対して	週間 とスフ 医間 トオフ 医間 ガ/オ の の 育費	る評	国際エネル ギースター ブログラム	国際エネルギースタープログラムで定める試験条件	-	国際エネル ギースター プログラム	国際エネルギースタープログラムで定める試験条件
L-000051	産業・業 務 (業種 共通)	動力他	モータ	誘導モータ	回転子、固定子ともに金属を使用し、固定子に交流電流を流して回転子、固定子ともに金属を使用し、は海電流が流れて磁勢が生することにより、回転力等をも一き、産業機体、工作機構等に傾低く用いられる。鉄芯、巻線、冷却ファン等の改楽により損失を低流し高効率化が図られている。		容量	0.75kW以下	S-001074	85	(TEC》 第 エネルョ 消費効車	ギー 標準規	る評 2-1:2011また はJIS C 4213:2014	- 1 ・ 1 ・ 1 ・ 三 ・ 三 ・ 三 ・ 三 ・ 三 ・ 三 ・ 三 ・ 三 ・ 三 ・ 三	JIS C 4034-2-1:2011またはJIS C 4213-2014に準機。ただし、負荷を100%とする。	2-1:2011また はJIS C 4213:2014	: 械 1速ご動及算た相導係・三誘の効方低ご動及算た相等機が定はか電とが機が定はが動ないではで動物を正正形機のでは、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1	JIS C 4034-2-1-2011またはJIS C 4213:2014に準機。ただし、負荷を100%とする。
								0.75kW超1.1kW以下	S-001075	85.5				低圧トップ			低圧トップ	
								1.1kW超1.5kW以下	S-001076	89.4								
								1.5kW超2.2kW以下	S-001077	89.5								
								2.2kW超3.0kW以下	S-001078	-								
								3.0kW超3.7kW以下	S-001079	89.9								
								3.7kW超4.0kW以下 4.0kW超5.5kW以下	S-001080 S-001081	91.2								
								4.0kW 超5.5kW 以下	S-001081									
								7.5kW超11.0kW以下	S-001141									
								11.0kW超15.0kW以下	S-001142	92.2								
								15.0kW超18.5kW以下	S-001143	93.1								
								18.5kW超22.0kW以下	S-001144	93.8								
								22.0kW超30.0kW以下	S-001145	94								

-Tech スト№ ±n		区分 郵明2	技術分類	設備・機器等の 名称	原理・しくみ 条件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)	水準表 情報№	L2-Tech 水準	測別	定単位 夕 称	評価方法	準拠する規格 規格の名称	指標 計算方法 計算式	準拠する規格 規格の名称	試験条件 説 明
यम	(P'91	部門2	技術方規		* "	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称) 30.0kW超37.0kW以下	S-001146	94.3	# 12	名标	のライン	準拠する規格 現俗の石か	訂升以	準拠する規格 現恰の名か	說明
							37.0kW超	S-001147	96.1							
					50Hz、200V、極数4	容量	0.75kW以下	S-001148	84.8	%	エネルギー 消費効率	標準規格による評価	JIS C 4034- 回転電気機 2-1:2011また 械一第2-	JIS C 4034-2-1:2011またはJIS C 4213:2014に準拠。ただし、負荷を100%とする。	JIS C 4034- 回転電気機 2-1:2011また 械一第2-	JIS C 4034-2-1:2011またはJIS C 4213:2014に 拠。ただし、負荷を100%とする。
												1000	4213:2014 速度三相か ご形誘導電		4213:2014 速度三相か ご形誘導電	
													動機の損失 及び効率の		動機の損失 及び効率の	
													算定方法ま たは低圧三 相かご形誘		算定方法ま たは低圧三 相かご形誘	
													導電動機一 低圧トップ		導電動機一 低圧トップ	
							0.75kW超1.1kW以下	S-001149	-							
							1.1kW超1.5kW以下	S-001150	86.9							
							1.5kW超2.2kW以下	S-001192	88.6							
							O CHANGE ON A CHANGE	0.004400								
							2.2kW超3.0kW以下	S-001193	-							
							3.0kW超3.7kW以下	S-001194	89.4							
							3.7kW超4.0kW以下	S-001195	-							
							4.0kW超5.5kW以下	S-001196	91.9							
							5 5W#27 5WWNT	S-004407	04.7							
							5.5kW超7.5kW以下	S-001197	91.7							
							7.5kW超11.0kW以下	S-001198	92.5							
							11.0kW超15.0kW以下	S-001199	93.1							
							15.0kW超18.5kW以下	S-001200	94.1							
							18.5kW超22.0kW以下	S-001201	93.9							
							COURT ALLE DATE OF 1	5 551201	33.3							
							22.0kW超30.0kW以下	S-001202	94.5							
							30.0kW超37.0kW以下	S-001247	95.1							
							37.0kW超	S-001250	96							

L2-Tech		区分	設備・機器等の 名称	图 III 1 4 2		クラス		L2-Tech	L2-Tech 水準	-	HK /±	-m/m-14		指標			5-18-6-4-14
リスト№	部門1	部門2 技術分類	- 名称	原理・しくみ	条 件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)	水準表 情報№	水準	測定 単 位	単位 名 称	評価方法 のタイプ	準拠する規格 規格の名称	計算方法 計算式 JIS C 4034-2-1:2011またはJIS C 4213:2014に準	準拠する規札	格 規格の名称	試験条件 説 明
					50Hz、200V、植数6	容量	0.75kW以下	S-001251	83.8	% 3	エネルギー 肖費効率	による評 価	JJSC 4034- 2-1:2011また はJJSC 4213:2014 ご形味 2 - 地板 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	JIS C 4024-2-12011またはJIS C 4213-2014に準 態。ただし、負荷を100%とする。	JIS C 4034- 2-1:2011また はJIS C 4213:2014	1部・単一	JIS C 4034-2-1-2011またはJIS C 4213-2014に準 拠。ただし、負荷を100%とする。
							0.75kW超1.1kW以下	S-001252	-				毎年前版一 低圧トップ			停电助機- 低圧トップ	
							1.1kW超1.5kW以下	S-001253	87.2								
							1.5kW超2.2kW以下	S-001254	89.3								
							2.2kW超3.0kW以下	S-001255	-								
							3.0kW超3.7kW以下	S-001256	89.3								
							3.7kW超4.0kW以下	S-001257	-								
							4.0kW超5.5kW以下	S-001258	91.1								
							5.5kW超7.5kW以下	S-001259	91.1								
							7.5kW超11.0kW以下	S-001260	91.7								
							11.0kW超15.0kW以下	S-001261	92.5								
							15.0kW超18.5kW以下	S-001262	92.7								
							18.5kW超22.0kW以下	S-001273	93.2								
							22.0kW超30.0kW以下	S-001274	94.2								
							30.0kW超37.0kW以下	S-001275	93.9								
							37.0kW超	S-001276	95.4								

L2-Tech リストNs 部門	区分	技術分類	設備・機器等の 名称	原理・しくみ	条 件 60Hz、220V、極数2	クラス クラス 能力(単位) 容量	クラス 能力(名称) 0.75kW以下	The Action	L2-Tech 水準	単位	E単位 名称	評価万法 のタイプ	準拠する規格 規格の名称	計算万法 計算式	準拠する規格	、押放の名称	試験案件
					60Hz、220V、極数2	容量	O ZEMMELT									かた ロマンココット	説 明
							U. / SKIV & F	S-001277	86.2	%	エネルギー 消費効率	価	JISC 4034- 21:2011また isJIS C 4213:2014 ご	JJS C 4034-2-1:2011またはJJS C 4213:2014に準 拠。ただし、負荷を100%とする。	(±JIS C 4213:2014	(W1速ご動及算たは お底形機び定はか動 が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を が変形を がを がを がを がを がを がを がを がを がを が	試験条件 設 期 JIS C 4034-2-1:2011またはJIS C 4213:2014に準 掲。ただし、負荷を100%とする。
							0.75kW超1.1kW以下	S-001278	86.3				低圧トップ			低圧トップ	
							1.1kW超1.5kW以下	S-001279	90.2								
							1.5kW超2.2kW以下	S-001280	90.8								
							2.2kW超3.0kW以下	S-001281	-								
							3.0kW超3.7kW以下	S-001282	90.9								
							3.7kW超4.0kW以下	S-001283	-								
							4.0kW超5.5kW以下	S-001284	91.5								
							5.5kW超7.5kW以下	S-001285	92.4								
							7.5kW超11.0kW以下	S-001286	92.4								
							11.0kW超15.0kW以下	S-001287	93.1								
							15.0kW超18.5kW以下	S-001295	93.7								
							18.5kW超22.0kW以下	S-001296	94								
							22.0kW超30.0kW以下	S-001297	94.1								
							30.0kW超37.0kW以下	S-001298	94								
							37.0kW超	S-001299	96.3								

L2-Tech		区分	設備・機器等の	FF 70 - 44		クラス		L2-Tech	L2-Tech					指標			
リストNg	部門1	部門2 技術分類	設備・機器等の 名称	原理・しくみ	条件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)	水準表 情報№	L2-Tech 水準	単位	定単位 名 称	評価方法 のタイプ	準拠する規格 規格の名称	計算方法 計算式 JIS C 4034-2-1:2011またはJIS C 4213:2014に準	準拠する規格	ト 規格の名称	試験条件 説 明
					60Hz、220V、極数4	容量	0.75kW以下	S-001300	87.3	%	エネルギー 消費効率	による評 価	2-1:2011また はJIS C 4213:2014 車を三組か ご形機の損失 及び効率の 算定が表達。 たは低圧形誘	JUS C 4034-2-1-2011またはJUS C 4213-2014に準 拠。ただし、負荷を100%とする。	JIS C 4034- 2-1:2011また はJIS C 4213:2014	は ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	JJS C 4034-2-1:2011またはJJS C 4213:2014に準 拠。ただし、負荷を100%とする。
							0.75kW超1.1kW以下	S-001301	-				導電動機一 低圧トップ			導電動機一 低圧トップ	
							1.1kW超1.5kW以下	S-001302	89.1								
							1.5kW超2.2kW以下	S-001307	90.2								
							2.2kW超3.0kW以下	S-001308	-								
							3.0kW超3.7kW以下	S-001309	90.7								
							3.7kW超4.0kW以下	S-001310	-								
							4.0kW超5.5kW以下	S-001311	92.8								
							5.5kW超7.5kW以下	S-001312	92.9								
							7.5kW超11.0kW以下	S-001313	93.3								
							11.0kW超15.0kW以下	S-001314	93.6								
							15.0kW超18.5kW以下	S-001339	94.7								
							18.5kW超22.0kW以下	S-001340	94.7								
							22.0kW超30.0kW以下	S-001341	94.9								
							30.0kW超37.0kW以下	S-001999	95.7								
							37.0kW超	S-002000	96.3								

L2-Tech		区分	設備・機器等の	FF 70 - 44		クラス		L2-Tech	L2-Tech					指標			
リストN₽	部門1	部門2 技術分類	設備・機器等の 名称	原理・しくみ	条件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)	水準表 情報Ng	L2-Tech 水準	単位	定単位 名 称	評価方法 のタイプ	準拠する規格 規格の名称	計算方法 計算式 JIS C 4034-2-1:2011またはJIS C 4213:2014に準	準拠する規格	規格の名称	試験条件 説 明
					60Hz、220V、極数6	容量	0.75kW以下	S-002001	85.3	%	エネルギー 消費効率	による評 価	2-1:2011また はJIS C 4213:2014 車を三組か ご形機の損失 及び効率の 算定が表達。 たは低圧形誘	JIS C 4034-2-12011またはJIS C 4213:2014に準 拠。ただし、負荷を100%とする。	JIS C 4034- 2-1:2011また はJIS C 4213:2014	は ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	JJS C 4034-2-1:2011またはJJS C 4213:2014に準 拠。ただし、負荷を100%とする。
							0.75kW超1.1kW以下	S-002017	-				導電動機一 低圧トップ			導電動機一 低圧トップ	
							1.1kW超1.5kW以下	S-002018	88.9								
							1.5kW超2.2kW以下	S-002019	90.4								
							2.2kW超3.0kW以下	S-002020	-								
							3.0kW超3.7kW以下	S-002021	90.6								
							3.7kW超4.0kW以下	S-002022	-								
							4.0kW超5.5kW以下	S-002031	92.2								
							5.5kW超7.5kW以下	S-002032	92.4								
							7.5kW超11.0kW以下	S-002033	93.2								
							11.0kW超15.0kW以下	S-002034	93.4								
							15.0kW超18.5kW以下	S-002035	93.7								
							18.5kW超22.0kW以下	S-002036	94.3								
							22.0kW超30.0kW以下	S-002037	94.8								
							30.0kW超37.0kW以下	S-002038	94.9								
							37.0kW超	S-002052	95.9								

L2-Tech リスト№		区分		設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス		L2-Tech 水準表 情報№	L2-Tech 水準	测匀	定単位	評価方法	<u> </u>	計算方法	指標	<u> </u>		試験条件
L-000052	部門1 産業・業 務(業種	動力他	技術分類モータ	永久磁石同期	回転子に永久磁石を使用した同期モータのうち、サーボモータを含 まないもの。鉄道車両・自動車・産業機械等、幅広く用いられる。	条件 クラス能力(e 容量	単位) クラス 能力(名称) 0.75kW以下	情報№ S-002053		単位 %	名 称	のタイプ 標準規格	準拠する規格 規格の名称 JISC4034-2- 回転電気機	計算式		JISC4034-2-	規格の名称 回転電気機 械一第2一	説 明 JISC4034-2-1:2011に準拠
	共通)			 4	まないもの。飲退年间・日刻年・佐朱俊慎寺、幅広く用いりれる。						消費効率	価	1部:単一速度三相か			1:2011	1部:単一 速度三相か	
													ご形誘導電 動機の損失 及び効率の				ご形誘導電 動機の損失 及び効率の	
							0.75kW超1.5kW以下	S-002054	90.4				算定方法				算定方法	
							1.5kW超2.2kW以下	S-002055	92.5									
							2.2kW超3.7kW以下	S-002056	92.8									
							3.7kW超5.5kW以下	S-002057	94.1									
							5.5kW超7.5kW以下	S-002058	94.2									
							7.5kW超11kW以下	S-002059	93.7									
							11kW超15kW以下	S-002060	94.3									
							15kW超18.5kW以下	S-002061	94.6									
							18.5kW超22kW以下	S-002062	94.7									
							22kW超30kW以下	S-002063	95.4									
							30kW超37kW以下	S-001910	95.4									
							37kW超45kW以下	S-001911	95.8									
							45kW超55kW以下	S-001912	95.9									
							55kW超75kW以下	S-001913	96.2									
							75kW超90kW以下	S-001914	96.2									
							90kW超110kW以下	S-001915	96.6									
							1											
							110kW超132kW以下	S-001916	97									

L2	-Tech スト№		区分		設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス		L2-Tech 水準表 情報Na	L2-Tech	;no	定単位	評価方法	指標 計算方法		試験条件
92	<1-148	部門1	部門2 技	術分類	石砂		条件 クラス能力(単位)	クラス 能力(名称) 132kW超160kW以下	情報Ng S-001917	水準 97.2	単位	名称	評価方法 のタイプ 準拠する規格 規格の名	3称 計算式	準拠する規格 規格の名称	説 明
								160kW超	S-001918	-						
L-00	7	産業・業 防 (業種 共通)	動力他 変日	E器 浏		電磁誘導を利用し、用途に応じて交流電圧を昇降させる装置。低機 失磁性体材料を使用する低損失構造とする等。損失を低減する工夫 がなされている。クラフト紙・プレスボード等の絶縁物と絶縁油に で構成されている。	油入変圧器、三相、50Hz 定格容量	20kVA以下	S-001939	125	W	全損失	標準規格 JISC4304:20 配電用 6 による評 13 油入変圧	kV JISC4304:2013に準拠 器	JISC4304:20 13 配電用 6 kV 油入変圧器	JISC4304:2013仁準拠
						Chamical Colonia		20kVA超30kVA以下	S-001940	138						
								30kVA超50kVA以下	S-001941	197						
								50kVA超75kVA以下	S-001942	230						
								75kVA超100kVA以下	S-001943	276						
								100kVA超150kVA以下	S-001944	370						
								150kVA超200kVA以下	S-001945	444						
								200kVA超300kVA以下	S-001946	584						
								300kVA超500kVA以下	S-001948	892						
								500kVA超750kVA以下	S-001949	1520						
								750kVA超1000kVA以下	S-001950	1965						
								1000kVA超1500kVA以下	S-001951	2750						
								1500kVA超2000kVA以下	S-001952	3700						
							油入变圧器、三相、60Hz 定格容量	20kVA以下	S-001960	120	w	全損失	標準規格 による評 価 13 配電用 6 油入変圧	kV JISC4304:2013に準拠 器	JISC4304:20 配電用 6 kV 13 油入変圧器	JISC4304:2013 [二準拠
								20kVA超30kVA以下	S-001953	133						
								30kVA超50kVA以下	S-001961	192						
								50kVA超75kVA以下	S-001962	220						

L2-Tech リスト№		区分	設備・機器等の	原理・しくみ	クラス		L2-Tech	L2-Tech	30/4	> W /+-	評価方法計算方	指標			試験条件
リストNΩ	部門1	区分 お門2 技術分類	名称	INCE CON	条件 クラス能力(単位)	クラス 能力(名称) 75kVA超100kVA以下	情報№ S-001963	水準 268	単位	名称	評価方法 のタイプ 準拠する規格 規格の名称	計算式	準拠する規格 麸	見格の名称	説明
						7 SKY ALE TOURY ASK T	3-001303	200							
						100kVA超150kVA以下	S-001964	366							
						150kVA超200kVA以下	S-001965	440							
							0.004050								
						200kVA超300kVA以下	S-001959	549							
						300kVA超500kVA以下	S-001954	820							
						500kVA超750kVA以下	S-001955	1450							
						750kVA超1000kVA以下	S-001956	1890							
						1000kVA超1500kVA以下	S-001957	2600							
						TOURVAGE TOURVAGE P	3-001337	2000							
						1500kVA超2000kVA以下	S-001958	3365							
					油入変圧器、単相、50Hz 定格容量	10kVA以下	S-001919	46	W	全損失	標準規格 による評 13 配電用 6 kV 油入変圧器	13に準拠	JISC4304:20 配 13 油,	電用 6 kV 入変圧器	JISC4304:2013に準拠
											価		15 //4,	八叉工帽	
						10kVA超20kVA以下	S-001920	69							
						20kVA超30kVA以下	S-001921	97							
						30kVA超50kVA以下	S-001922	147							
						50kVA超75kVA以下	S-001923	162							
						75kVA超100kVA以下	C 00400 *	040							
						A 2K A AND I DAW A NC	S-001924	210							
						100kVA超150kVA以下	S-001925	291							
						150kVA超200kVA以下	S-001926	360							
						200kVA超300kVA以下	S-001927	470							
						300kVA超500kVA以下	S-001928	780							
						COOK ANTERONOVANT I.	0-001928	700							
							1								

L2-Tech リストNa		区分 お門2 技術分類	設備・機器等の	原理・しくみ	クラス		L2-Tech 水準表	L2-Tech	310	定単位	1 2 4 4 4 4	:	指標計算方法			試験条件
リストNo	部門1	部門2 技術分類	名称	100 CO	条件 クラス能力(単位)	クラス 能力(名称)	情報№	水準	単位	名 称	のタイプ	準拠する規格 規格の名称	計算式	準拠する規格	路 規格の名称	説 明
					油入変圧器、単相、60Hz 定格容量	10kVA以下	S-001929	51	vv	全損失	標準規格 による評 価	JISC4304:20 13 配電用 6 kV 油入変圧器	3100+304.2013に平敗	13	油入変圧器	JISC4304:2013に準拠
											100					
						10kVA超20kVA以下	S-001930	68								
						20kVA超30kVA以下	S-001931	95								
						30kVA超50kVA以下	S-001932	145								
						50kVA超75kVA以下	S-001933	165								
						75kVA超100kVA以下	S-001934	207								
							2 23.004	207								
						100kVA超150kVA以下	S-001935	286								
						150kVA超200kVA以下	S-001936	354								
						200kVA超300kVA以下	S-001937	466								
						300kVA超500kVA以下	S-001938	775								
L-000054	産業・業 務(業種	動力他 変圧器	モールド変圧器	電磁誘導を利用し、用途に応じて交流電圧を昇降させる装置。低接 失磁性体材料を使用する低損失構造とする等、損失を低減するエ夫	モールド変圧器、三相、定格容量	20kVA以下	S-001986	147	W	全損失	標準規格による評	JISC4306:20 配電用 6 kV 13 モールド変	JISC4306:2013に準拠	JISC4306:20	配電用 6 kV モールド変	JISC4306:2013に準拠
	共通)			へいませいがなった。 がなされている。耐熱絶縁電線でコイルを構成し、エボキシ樹脂で モールドされている。	30112						価	圧器		13	圧器	
				2 701 61060 0.												
						20kVA超30kVA以下	S-001987	181								
						30kVA超50kVA以下	S-001988	291								
						50kVA超75kVA以下	S-001989	249								
						75kVA超100kVA以下	S-001990	309								
						100kVA超150kVA以下	S-001991	411								
							2 23.001									
						150kVA超200kVA以下	S-001992	470								
						200kVA超300kVA以下	S-001993	581								
						2006//4#7500//4#75	0.00400.4	000								
						300kVA超500kVA以下	S-001994	899								
							1								1	l L

L2 Took	RA -	FRID HIS PROTECTION			クラス		L2-Tech	LOTest					指 標			
L2-Tech リストNo	区分部門1 部門2 技術分類	設備・機器等の 名称	原理・しくみ	条 件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)	水準表 情報No	L2-Tech 水準	測定単位 評 単 位 名 称 の	平価方法 のタイプ 36	# tin Z ±8 tig	担接の夕社	計算方法	(# tin -} Z ±0 ±4	規格の名称	試験条件 説 明
用	即 12 技術方規			* 17	ランス 能力(単位)	500kVA超750kVA以下	S-001995	1675	中 世 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		FIRST VALE	が出り合作	自养工	一年処する現代	が日から	ועי אנה
						750kVA超1000kVA以下	S-001996	2094								
						/SUKVAN TUUUKVA以下	2-001996	2094								
						1000kVA超1500kVA以下	S-001997	3300								
						1500kVA超2000kVA以下	S-001998	4088								
				モールド変圧器、三相、 60Hz	定格容量	20kVA以下	S-002002	143	W 全損失 標2	準規格 JI	ISC4306:20	配電用6kV	JISC4306:2013I=準拠	JISC4306:20	配電用 6 kV	JISC4306:2013に準拠
				00112					価	o-ver i		圧器	JISC4306:2013に準拠	13	圧器	JISC4306:2013に準拠
						20kVA超30kVA以下	S-002003	178								
						2014/4 #75014/4 14.7	6 00000	207								
						30kVA超50kVA以下	S-002004	287								
						50kVA超75kVA以下	S-002005	244								
						75kVA超100kVA以下	S-002006	293								
						100kVA超150kVA以下	S-002007	401								
						150kVA超200kVA以下	S-002008	460								
						200kVA超300kVA以下	S-002009	592								
						ZUUKVA胆JUUKVA以下	3-002009	592								
						300kVA超500kVA以下	S-002010	852								
						500kVA超750kVA以下	S-002011	1715								
						7501114 474										
						750kVA超1000kVA以下	S-002012	2028								
						1000kVA超1500kVA以下	S-002013	3200								
						4500k//4#72000k//4 PLT	S 002044	4105								
						1500kVA超2000kVA以下	5-002014	4125								
1 1	1 1	1	I .	T.	1	1	1	1 1	1 1	- 1		l .	ļ	1	1	

L2-Tech		区分	設備・機器等の	STR 1 / 2		クラス		L2-Tech	L2-Tech		- W (L			指標			E146.46 (4.
L2-Tech リスト№	部門1	区分 お門2 技術分類	名称	原理・しくみ	条 件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)	情報№	水準	単位	定単位 名 称	評価方法のタイプ	準拠する規格 規格の名称	計算方法 計算式	準拠する規札	各 規格の名称	試験条件 説 明
					モールド変圧器、単相、 50Hz	定格容量	10kVA以下	S-001966	73	W	全損失	標準規格による評	JISC4306:20 配電用 6 kV	JISC4306:2013に準拠	JISC4306:20	配電用6kVモールド変	JISC4306:2013に準拠
					-							価	13 モールド変 圧器			モールド変 圧器	
							10kVA超20kVA以下	S-001967	115								
							20kVA超30kVA以下	S-001968	160								
							30kVA超50kVA以下	S-001969	155								
							50kVA超75kVA以下	S-001970	181								
							75kVA超100kVA以下	S-001971	223								
								3 00.071	-23								
							400k)/A #7450k)/A N T	0.004070	000								
							100kVA超150kVA以下	S-001972	289								
							4501 V4 470	0.05:									
							150kVA超200kVA以下	S-001973	369								
							200kVA超300kVA以下	S-001974	496								
							300kVA超500kVA以下	S-001975	774								
					モールド変圧器、単相、	定格容量	10kVA以下	S-001976	72	W	全損失	標準規格	JISC4306:20 配電用 6 kV	JISC4306:2013に準拠	JISC4306:20	配電用 6 kV	JISC4306:2013に準拠
					60Hz							による評 価	13 モールド変 圧器		13	モールド変 圧器	
							10kVA超20kVA以下	S-001977	110								
							20kVA超30kVA以下	S-001978	140								
							30kVA超50kVA以下	S-001979	149								
							50kVA超75kVA以下	S-001980	183								
									-								
							75kVA超100kVA以下	S-001981	228								
							. OKT. ME. OUKTAN I	5 551301	220								
							100k)/A #7150k)/A PLT	8 001000	205								
							100kVA超150kVA以下	S-001982	285								
							4501 V4 470	0.05:									
							150kVA超200kVA以下	S-001983	368								
							200kVA超300kVA以下	S-001984	491								
1	1	1 1	I .	T. Control of the Con	1	1	1	1 1			I .	1	1 1	I .	1	1	I

L2-Tech		区分		設備・機器等の	原理・しくみ		クラス		L2-Tech 水準表	L2-Tech		ф ж .г.	-m (m			#1 Ab -1 - 1	指	標			++ # 0 At 14
リスト№	部門1	部門2	技術分類		原理・しくみ	条件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称) 300kVA超500kVA以下	水學表 情報№ S-001985	水準 785	単位	定単位 名 称	評価方法のタイプ	準拠する規格	格 規格の名称	計算方法	計算式		準拠する規札	格 規格の名称	試験条件 説 明
								300KVAJQS00KVAJQ P	5-001985	785											
L-000063	産業・業 務(業種 共通)	動力他	モータ利 用機器 (圧縮 機)	蒸気駆動圧縮機	従来の電動コンプレッサと異なり、動力源として電動モータではな く、スチームモータを搭載する。スチームモータは、蒸気を減圧す る際に発生するエルギーを襲撃がませるたらに プレッサ (圧縮機)と比較し、減圧エネルギーを有効利用できるが めCC2削減に優れる。ボイラ数値、ボイラ、数本装置、絵水タン ク)の高気配管減圧弁に並列して設置し、本商品を減圧弁の代替と エ 知田まる。		容量、消费蒸気量	37kW、79kg/h	S-002015	6.95	5 %	消費蒸気原 単位	標準条件による評価		容積形圧縮機	JISB8341-2008/ では温水入口温度 定することを条件 温水出口温度:5 メーカー指示値	痩と温水出口温 件とする。温水 50℃以上、また	【度を次のとおり記 :入口温度:15℃、 :、消費蒸気量は	殳 2008	容積形圧縮機	JISB8341-2008に準拠。ただし、回収熱量については温水入口温度と温水出口温度を次のとおり数定することを失わさる。温水口温度:15°℃、温水出口温度:50°℃以上、また、消費蒸気量はメーカー指示値(性能表等)を参照する。
								55kW、106kg/h 75kW、178kg/h	S-002016 S-002023												
						高圧蒸気仕様	容量、消費蒸気量	75kW、247kg/h	S-002024	0.6	5 %	消費蒸気原 単位	標準条件による評価	JISB8341- 2008	容積形圧縮機		痩と温水出口温 件とする。温水 50℃以上、また	【度を次のとおり記 :入口温度:15℃、 :、消費蒸気量は	殳 2008	容積形圧縮機	JISB8341-2008に準拠。ただし、回収熱量については温水入口温度と温水出口温度を次のとおり設定することを条件とする。温水入口温度:50°C以上、また、消費蒸気量はメーカー指示値(性能表等)を参照する。
L-000064	産業・業 務 (業種 共通)	動力他	モータ利 用機器 (圧縮 機)	熱回収式ねじ容 積形圧縮機	従来は、廃棄されていた圧縮熱を追水として供給可能なねに容積 圧縮機。コンプレッサの廃熱を選水として回収するために軟が検禁 から新水を通過させ、70°Cの温水をボイラ熱水へ戻すことでボイ ラの燃料消費量が低減可能。また、直接温水利用することも可能。		容量、熱回収量	37kW、25kW	S-002025	0.41	1 %		標準条件による評価	JISB8341- 2008	容積形圧縮機	JISB8341-2008に では温水入口温度 定することを条件 温水出口温度:5	痩と温水出口温 件とする。温水	度を次のとおり記	殳 2008	容積形圧縮機	JISB8341-2008に準拠。ただし、回収熱量については温水入口温度と温水出口温度を次のとおり設定することを条件とする。温水入口温度:15℃、温水出口温度:50℃以上
								75kW、60kW	S-002026	0.88	3										
L-000077	産業・業 務 (業種 共通)	断熱	窓	ス	複層ガラスの中空層側のガラス面にLow+E金属膜をコーティングすることで放射による熱移動量を振沸したガラス。断熱を行うことによって、より少ないエネルギーで空調を行うことができるようになる。		-		S-002027	1.6	6 W/m2F	熱實流率	標準規格による評価	JISR3107:19 98及び JISR3209:19 98	の熱抵抗及	JISR3107:1998J	&びJISR3209:⁴	1998に準拠	98及び	を を を を を を を を を を を き を き を き を き を き	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠
L-000078	産業・業 務 (業種 共通)	断熱	窓	ガラス (LE3+Ar11+FL3	三層で構成される複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E金属膜をコーティングすることで放射による熱移動量を低減したガラス。 財販を行うことによって、より少ないエネルギーで空間を行うこと ができるようになる。		-	-	S-002028	3.0	8 W/m2F	(熱貫流率	標準規格による評価	98及び	る 板が無線を のが建築を がまる が を が を が は る り び は る り が は る り な り ま り る り る り る り る り る り る り る り る り る	JISR3107:1998	♥ ՄJISR3209:′	1998に準拠	98及び	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠
L-000079	產業·業種 務共通)	断熱	窓	ガラス	真空ガラスとLow-Eガラスを組み合わせた復居がラスにすることで、放射による熱移動量を低減したガラス。断熱を行うことによて、より少ないエネルギーで空観を行うことができるようになる。	新遊用			S-002029	0.74	W/m2k	禁實流率	標準規格評価	しスは、ラのす防料者を 真に、スのる止製等基で での複の上製等基で がい層性に損象事判等。 を は、スのる止製等を ので でのました。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまたた。 でのまた。 でのまたた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。	率法ラ層性に関係が で、スカラのを で、スカラので、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で	ガラスについてに	は、複層ガラス 建築材料製造事	の性能の向上に 業者等の判断の	間 1988及び9-たラング 1998及び9-たラング 1998の 209 に 1998 で 19	法、スプライン を受けるのでは、 を受けるのでは、 を受けるのでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	JISR3107-1998及びJISR3209-1998、ただし真空 ガラスについては、複層ガラスの性能の向上に関 する熱操技が建築材料製造車者等の判断の基 準等(平成20年11月28日経済産業省告示第235 号)に準拠
L-000080	産業・業 務(業種 共通)	断熱	窓	付きLow-E複層 ガラス (LE3+Ar6+FL3	報應ガラスの中空階側のガラス面にLow-全無膜をコーティングす ることで飲料による蜂絲動量を構造したガラス、アタッチメント より、ガラス部分のみを既存サッシに取り付けられるため、大がか りな工事を必要としない。断熱を行うことによって、より少ないユ ネルギーで空調を行うことができるようになる。		-	-	S-002030	2	2 W/m2h	熱貫流率	標準規格 による評 価	JISR3107:19	板ガラス類 の熱抵抗及	JISR3107:1998.	及びJISR3209:	1998に準拠	JISR3107:19 98及び	を 板ガラス類 のが が が が が が が が が が が が が が が が が が が	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠
L-000081	産業・業務(業種 共通)	断熱	窓	真空ガラス (LE3+ V0.2+FL3)	2枚のガラスの間に真空層を設けることで、熱移動量を低減したガ ラス。断熱を行うことによって、より少ないエネルギーで空調を行 うことができるようになる。				S-002039	1	W/m2k	(熱貫流率		スはラのす防料者のに、スの自動を建造の生態を変した。大変のより、大変のない、大変を変している。これでは、大変を対している。	の数は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	ガラスについて! する熱損失防止数 準等(平成26年1 号)に準拠	は、複層ガラス 建築材料製造事	の性能の向上に関する	1998及209-だラマガ能関矢材楽 1998、空中にラマガ能関矢材楽 19東スに、次向南を止製等準 19東スに、次向南を止製等準 19東京である止製等を 19東京である止製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である 19東京である上製等を 19東京である上製等を 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京である 19東京でな 19東京である 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京でな 19東京で	のびけ率法ラ層性に損築熱建るの、スガ能関失材抗に貫定層びス向の財料が入向る止製が入りのが対した。	JISR3107-1998及びJISR3209-1998、ただし真空 ガラスについては、接層ガラスの性能の向上に関 する熱操板が直接を材料変通率者等の判断の急 準等(平成26年11月28日経済産業省告示第235 号)に準拠
L-000082	産業・業 務(業種 共通)	断熱	窓	けLow-E複層ガ	既存の窓ガラスの上からLow-Eがラスを貼ることでLow-E模層ガラ スとして放射による部等動量を振識したガラス。断熱を行うことに よって、より少ないエネルギーで空調を行うことができるようにな る。		-	-	S-002040	1.6	6 W/m2h	(熱貫流率	標準規格 による評 価	11月28日経 済産業省告 JISR3107:19	年11月28日 経済産業省 板ガラス類 の熱抵抗及	JISR3107:1998≵	及びJISR3209: ⁻	1998に準拠	11月28日経 済産業省告 JISR3107:19 98及び	年11月28日 経済産業省	JISR3107-1998及びJISR3209-1998に準拠

L2-Tech		区分		設備・機器等の	原理・しくみ		クラス		L2-Tech 水準表	L2-Tech		測定単位	12年七年		指標計算方法			
リスト№		部門2		名称		条件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)	情報№	水準	単位	名 称	のタイプ	準拠する規格 規格の名称	計算式		規格の名称	
L-000083	産業・業務(業種 共通)	對於	窓	ガラス	複形ガラスの中空層側のガラス面にLow-E空風膜をコーティングす ることで放射による熱移動量を振滅したガラス。アタッチメントを 使用せずにガラス部分のみを成件サッジに取り付けることができ る。断熱を行うことによって、より少ないエネルギーで空調を行う ことができるようになる。		•		S-002041	1.	9 W/m2	2K 熱實流率	保学規格による評価	98及び JISR3209:19 98 の熱抵抗及 び建築にお ける熱貫流 率の算定方 法及び復居	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠		の熱抵抗及 び建築無 ける熱策 車の 算定 法及 び複層	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠
L-000084	産業・業 務(業種 共通)	断熱	断熱材	リスチレン	スチレン樹脂・発泡剤・難燃剤等を押出機中で混和・溶融し、大気中に連続的に押し出して発泡させ、成型後、板状製品に裁断加工することで製造する。	-	-	-	S-002042	0.02	2 W/m -	K 熱伝導率	標準規格による評価	ガラス JISA9511:20 06Rまたは JISA9521:20 14 ガナルは建 第用断熱材	JISA9511:2006RまたはJISA9521:2014に準拠	JISA9511:20 06Rまたは JISA9521:20 14		JISA9511:2006RまたはJISA9521:2014に準拠
L-000085	産業・業 務(業種 共通)	断熱	断熱材		原材料を1400°C程度の高温で溶解、スピナーと呼ばれる機権化装置に孔を開けることにより速心力で機権化し、結束剤を添加し続状にすることで製造する。		-	-	S-002044	0.03	4 W/m -	K 熱伝導率	標準規格による評価	JISA9521:20 建築用断熱 材	JISA9521:2014に準拠	JISA9521:20 14	建築用断熱材	JISA9521:2014に準拠
						壁用	-		S-002043	0.03	2 W/m -	K 熱伝導率	標準規格による評価	JISA9521:20 建築用断熱 材	JISA9521:2014に準拠	JISA9521:20 14	建築用断熱材	JISA9521:2014に準拠
L-000086	産業・業務 (業種 共通)	動力他	洗濯機	ンプ式衣類洗濯 乾燥機	洗濯機と乾燥機からなる。乾燥機部に排熱回収ヒートポンプシステムを搭載し、エバボレータにて衣類乾燥をの湿った空気から葉めた 数エネルギーを圧縮機で高温ご今る。高温の空気をガスクーラで 1100 前後の(または「最大115°Cの」)温風熱として放出することで衣類を飲みす。従来のガスカと比較して、次季時に熱回収が一能な排動回収ヒートポンプシステムを採用することで、効率よく乾燥できる。導入先として、福祉施設、病院、等、幅広い施設が学げられる。		乾燥能力(JIMS規格)	9kg以上	S-002045	9.	4 kWh/	回 消費電力量	標準条件による評価	びJIS C 9608 機、回転ド ラム式電気	JIS C 9606及びJIS C 9608に準拠。ただし、処理物、処理条件は以下の通りとする。 <処理物) 被洗濯物:別域規格による標準法理接接登録的 100% ベスタオル <処理条件> 定格電圧 三相収流200 (被洗濯物 あたり水量・50. 以上 被洗液 すすぎ、脱水工程で各り洗濯時間・洗濯、すすぎ、脱水工程で各り添加水の以下回転速度・設定できる最近の設定(洗燥工程はナーカー推奨の回転速度) 乾燥度(洗濯乾燥後):97%以上 試験回数:4回以上	VJIS C 9608	機、回転ド ラム式電気	JIS C 9606及びJIS C 9608に準拠。ただし、処理物、処理条件は以下の通りとする、公理物> 総洗濯物: JMS規格による標準洗濯を練器量の線 100%パスタオル <処理条件 > 定格電圧: 三相交流200 被洗濯物あたり水湿・5.01k以上 被洗濯物あたり洗濯時間: 洗濯、すすぎ、脱水工程で各 0.5min/k以以上 被洗濯物あたり放棄時間: との下間/k以水工程で各 0.5min/k以以上 が洗濯がまりな焼時間: とび性 24以上 が洗濯がまります。 投票できる最速の設定 (洗濯乾燥後): 97%以上 試験回数: 4回以上
L-000090	務(業種	ギーマネ	ギーマネ	サービス・空 調・熱源・中央	オフィスビルにおけるエネルギー管理システム、及び周システムを 用いたサービスのうち、セントラル空調を対象とした制御サービ ス。	空気熱源仕様	-	-	S-002046	別紙「水準1」の通り		% エネルギー 消費効率	具備機能による評価		•	-	-	•
						水熱源仕様	-	-	S-002047	別紙「水準 2」の通り		% エネルギー 消費効率	具備機能による評価	-		-	-	•
L-000096	産業・業 務 (業種 共通)	動力他	その他		ネットワーク上でサービス等を提供する24時間接触することを前 提として設計された電子計算機であって、専らネットワークを介し てアクセスされる。サーバ望電子気製産機に搭載されているCPU は専用CISC、RISC、IA64、IA32の4つに分類され、IA64、IA32と いった汎用CPUはエネルギー消費効率が高い。		-	-	S-002048	0.1	1 W/GTOF	PS エネルギー 消費効率	標準規格による評価	- 省エネルギー法	省エネルギー法で定める試験条件	-	省エネルギー法	省エネルギー法で定める試験条件
						I※区分は省エネルギー法に よる	-	-	S-002049	0.1	3 W/GTOF	PS エネルギー 消費効率	標準規格による評価	- 省エネルギー法	省エネルギー法で定める試験条件	-	省エネルギー法	省エネルギー法で定める試験条件
						J※区分は省エネルギー法 による	-	-	S-002050	0.2	1 W/GTOF	PS エネルギー 消費効率	標準規格による評価	- 省エネルギー法	省エネルギー法で定める試験条件	-	省エネルギー法	省エネルギー法で定める試験条件
						K※区分は省エネルギー法 による	-	-	S-002051	0.5	1 W/GTOF	PS エネルギー 消費効率	標準規格による評価	- 省エネルギー法	省エネルギー法で定める試験条件	-	省エネルギー法	省エネルギー法で定める試験条件
						L※区分は省エネルギー法 による	-	-	S-002064			PS エネルギー 消費効率	による評価	- 省エネルギー法	省エネルギー法で定める試験条件	-	省エネルギー法	省エネルギー法で定める試験条件
L-000111	産業 (業 種固有)	建設	ド特殊自 動車(建 設機械・ 内燃機関		譲設現場で使用される重機の一種。ショベルカーとも呼ばれてお リ、アームの実験に取り付けられたパケットによって振削等の作業 を行う機械、軽減を燃料とするディーゼルエンジンで動力を得るも のが一般的である。低燃費型エンジンの導入や、情報化施工による 効率的な作業の実施により接近素化を図ることで、CO2 排出量の		標準パケット山積容量	0.25 m3以上0.36 m3未満	S-002065	3.	8 kg/標準	作燃費業	標準規格 による評 価		JCMASH020:2014またはJCMASH020:2010に準 拠		エネルギー	
			型)		削減が可能となる。			0.36 m3以上0.47 m3未满	S-002066	6.	2							
								0.47 m3以上0.55 m3未滿	S-002067	6.	6							
								0.55 m3以上0.70 m3未満	S-002068	7.	7							
								0.70 m3以上0.90 m3未満	S-002069	1	0							

		区分		設備・機器等の	原理・しくみ	クラス		L2-Tech 水準表	L2-Tech		測定単位	評価方法	±		指標 計算方法			試験条件
リスト№	部門1	部門2	技術分類	名称	原/達 (しくが)	条件 クラス能力(単位)	クラス 能力(名称) 0.90 m3以上1.05 m3未満	// / / / / / / / / / / / / / / / / / /	水準	単(2 名称	のタイプ	ブ 準拠する規格 規	格の名称	計算式	準拠する規	格規格の名称	
							1.05 m3以上1.30 m3未満	S-002071	13.	.3								
							1.30 m3以上1.70 m3未满	S-002072	17.	5								
-000112	産業 (業 種固有)	建設		ブルドーザ (内 燃機関型)	土砂の照刷、押土、盛土、整地作業等に用いられる機械、軽油を燃料とするディーゼルエンジンで動力を得るものが一般的である。 ディーゼルエンジンの性能向上や、アイドリングの自動停止機能等 の装備の他、情報化施工にも対応しており、低炭素化が可能となっ ている。	- 定格出力	19kW以上75kW未满	S-002073		- g/k	Wh 燃費	標準規格による評価	平 :2010 燃料	工機械一 Ju 料消費量 終方法	CMASH021:2010I=準拠	JCMASH02 :2010	1 土工機械一 燃料消費量 試験方法	JCMASH021:2010仁準拠
							75kW以上170kW未满	S-002074		-								
							170kW以上300kW未满	S-002075										
	産業(業種固有)	建設	オフ特車機機関型)		建設現構で使用される重機の一種。前方に設置されたパケットで土 石をすくしかだ、トラッタ等に構み込む機械、発表を燃料とする ディーゼルエンジンで動力を得るものが一般的である。低級費型の エンジンの導入や、情報化施工による効率的な作業の実施により低 炭素化を図ることで、CO2 排出量の削減が可能となる。	- 定格出力	40kW以上110kW未満、 110kW以上230kW未満、	S-002076		-	g/t 燃費		第 :2015または JCMASH022 :2010	ネルギー 技		:2015または	2 土工機・ 工機・ 工機・ 工力・ 工力・ 大工・ 大工・ 大工・ 大工・ 大工・ 大工・ 大工・ 大工	JCMASH022:2015またはJCMASH022:2010に準 拠
							40kW以上110kW未满、 110kW以上230kW未满、	S-002077										
-000115	産業(業種固有)	建設	ド特殊自	油圧ショベル (ハイブリッド 型)	建設現職で使用される重線の一種。ショベルカーとも呼ばれており、アームの未能に取り付けられたパケットによって照射等の作業を行う機能、軽能を燃料とするディーゼルエンジンで動力を得るものが一般的である。ハイブリッド型は、動力としてエンジンと電気モータを組み合わせた油圧ショベル。旋回滅速時のエネルギーを回収して電気エネルギーとして電気上が一路が開かまれギーとして利用することで、エンジで消費される軽油消費量を低減し、CO2 排出型の削減が可能となる。	- 標準パケット山積容量	0.25 m3以上0.36 m3未満	S-002078		- kg/標4	基作 燃費 業	標準規格による評価	JCMASH020 消费 :2010 方法		CMASH020:2014またはJCMASH020:2010に も		0 土工機械 - 1 エネルギー 0 消費量試験 方法一油圧 ショベル	JCMASH020:2014またはJCMASH020:2010に導 拠
							0.70 m3以上0.90 m3未滿	S-002079		-								
-000118	産業 (業 種固有)	建設	オフロー ド特年 動車(建 設機域・ 電気型)	油圧ショベル (電動型)	建設現場で使用される重機の一種。ショベルカーとも呼ばれており、アームの先端に取り付けられたパケットによって掘削等の作業 を行う機械、整定燃料とするディーセルエンジで動力を得るものが一般的である。電動型は、動力として電気モータを使用する油 圧ショベル、従来型の油圧ショベルで燃料として使用さいまれていた程 油を電力で代替することにより、CO2 排出量の削減が可能とな	- 標準パケット山積容量	0.25 m3以上0.36 m3未滿	S-002080		- kWh/4	標準 電力消費量 作業	標準規格による評価	第 :2014または エギ JCMASH020 消費 :2010 方法	ネルギー 技	CMASH020:2014またはJCMASH020:2010に も	:2014または	0 土工機械 — 1 エネルギー 10 消費量試験 方法—油圧 ショベル	JCMASH020:2014またはJCMASH020:2010に準 拠
					ALL CREATE COLORS OF COLORS OF THE CASE OF		0.70 m3以上0.90 m3未滿	S-002081	50.	.8								
-000119	産業(業種固有)	建設	オフロー ド特殊自 動車(建 設機械・ 電気型)	ブルドーザ(電動型)	土砂の掘削、押土、盛土、整地作業等に用いられる機械、軽油を燃 料とするディーゼルエンジンで動力を得るものが一般的である。電 動型は、ディーゼルエンジンによって飛竜機を駆動させ、電動モー タにより爆動するブルドーザ。電力駆動を探り入れることで低燃費 化を実現している。	- 定格出力	19kW以上75kW未满	S-002082		- g/k	Wh 燃費	標準規格による評価	平 :2010 燃料	工機械一 Ji 料消費量 終方法	CMASH021:2010仁準拠	JCMASH02 :2010	1 土工機械一 燃料消費量 試験方法	JCMASH021:2010に準拠
							75kW以上170kW未满	S-002083	3	-								
							170kW以上300kW未滿	S-002084	1	-								

Tech ∖⊦N₂		区分		設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス		水準表情報No	L2-Tech 水準	測定単位	評価方法	指標計算方法	試験条件
1 5	部門1 産業(業種間有)	部門2 食料品製 造業	技術分類 洗浄乾燥 機	テナ (容器) 洗 浄乾燥機	条件 ・	クラス能力(単位) 処理速度	クラス 能力(名称) 75~150サイクル/h	16章RN9 S-002085		位 名 称 Wh/台 コンテナ 1 台あたりの 電力消費量	標準条件 -	製物の名称 - ペル理物> コンテナ:「食品シレート標準 共有・化ガイドライン」で規定されている食品シレート標準 1型。 または 1型法・実相 人の理条件 > 高温水ヒートボンブ (空気熱源・循環式) (洗浄物) 温水出口温度:65°0以上70°0以下、转球温度:16°0、混萃温度:12°0、温水比入口温度差:5°0、高温水ヒートボンブ (空気熱源・過速式) (リンス側):154406020141年報告 含本年(脱水後):194末湖 (ワーケ質量に対する割合) 汚れ度(洗浄剤洗浄機) APT値、3000RLU以上/	提携 の名称 (処理物) コンテナ: 「食品クレート標準 共 化ガイドライン」で規定されている食品クレー 標準 1型、またに加速法・実用・企理条件> 温水ヒートポンプ (空気熱源・福建式) (決済 (根) 温水田(温度・65°以上70°以下、乾球 度 16°C、湿球温度: 12°C、温水田入口温度 5°C 高温水ヒートポンプ (空気熱源・一週式) (リンス側): JRA4006(2014に発展) 6木座(水後): 1%未満 (ワーク質量に対する動へ 北度 (洗浄剤)洗浄(入 APT値: 3000所以以上
							151~225サイクル/h	S-002086	0.036				
46	産業 (業 種固有)	化学工業	蒸留塔	化蒸留システム	濃縮部(高圧塔)と回収部(低圧塔)が物理的に分かれており、そ 蒸留塔が高圧部(濃縮部)の間に圧縮機が装置されている高留塔。濃縮部の圧力をわずかに上 と低圧部 (回収部) とで物げることで内部温度を上昇させた後に、熱を自然循環によって回収 理的に分離しており一体型部に移動させ高を行う、外部が加により廃棄せるを得なかった。でないもの	•	-	S-002087	別紙「水準4」の通り	% エネルギー 消費効率	具備機能 - による評 価		
47	産業 (業 種固有)	繊維工業	乾燥機	繊細物乾燥機	ネットコンパアー内の熱風ノズルにより熱風を吹付けることによっ て、緩緩物の染色・水洗後の乾燥・防縮・風合加工行う設備・乾燥 横切へ口機線が全板地(充発した水蒸気は排気ファンにより排出さ れ最適な状態に保たれる。熱風の熱源としては、ガス直接燃料によ の加熱方式と、蒸気、または熱媒体油による熱交換器を用いた間接 加熱方式がある。	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW 未満				シミュ レーショ ンによる 評価	- 時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操 - 東状態において、処理術、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。<処理布ン、素材: ポリエステル100%機物、布幅: 1540mmW, 目 付: 200g/m2、<処理条件・処理組度: 140°C、 水分率(入口/出口): 70~7596 / 296以下	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常 業状態において、処理術、処理条件を次のと 設定することを条件とする。人処理市と、業 ポリエステル100%機物、布幅: 1540mm/k/ 付: 200g/m2、人型服条件、処理組度: 1440° 水分率(入口/出口): 70~7596/296以下
							2000mmW以上2300mmW 未滿	S-002089	3.22				
							2300mmW以上2500mmW 以下	S-002090	3.52				
					1室5段	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW 未满	S-002091	3.06	MJ/kg 単位重量当 たりの熱量	シミュ - レーショ ンによる 評価	- 時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な躁 - 業状態において、処理術、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常 業状態において、処理術、処理条件を次のと 設定することを条件とする。 <処理布>、 ポリエステル100%緩勢、布帽: 1540mmW 付: 200gm2、<処理条件>処理温度: 140 水分率(入口出口): 770~7594(296以下
							2000mmW以上2300mmW 未滿	S-002092	3.15				
							2300mmW以上2500mmW 以下	S-002093	3.42				
					2室3段	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW 未满	S-002094	2.85		シミュ レーショ ンによる 評価	- 時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な機 - 業状態において、処理術、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。<0週間かつ、素材: ボリエステル100%間後、布幅: 1540mmV、目 付: 200g/m2、<0週度条件>処理遺産: 140°C、	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定年 業状態において、処理布、処理条件を次のと 設定することを条件とする。く処理布ン、3 ボリエステル100%機物、布備・1540mmW 付: 200g/m2、<処理条件>処理温度:140
							2000mmW以上2300mmW 未满	S-002095	2.91			水分率(入口/出口): 70~75% / 2%以下	水分率(入口/出口):70~7596/296以下
							2300mmW以上2500mmW 以下	S-002096	3.08				
					2室5段	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW 未滿	S-002097	2.81	MJ/kg 単位重量当 たりの熱量	シミュ - レーショ ンによる 評価	- 時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操 業状態において、処理布、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。 < 処理布ン、素材: ポリエステル100%機動、希帽: 1540mmW、目 付: 200g/m2、<処理条件>処理温度: 140°C、	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常 業状態において、処理布、処理条件を次のと 設定することを条件とする。<処理布ン、 ボリエステル100%機物、布帽:1640mmW 付:200g/m2、<処理条件>処理温度:140
							2000mmW以上2300mmW 未滿	S-002098	2.86			水分率(入口/出口): 70~75% / 2%以下	水分率(入口/出口):70~75% / 2%以下
							2300mmW以上2500mmW 以下	S-001899	3.01				

12-Tech		区分	設備・機器等の			クラス		L2-Tech	L2-Tech				指標		
リスト№	部門1	部門2 技術分響		原理・しくみ	冬 件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)	水準表 情報№	水準	単位	定単位 名 称	評価方法 のタイプ 準拠する	計算方法 ・	準拠する規格 規格の名称	試験条件 説 明
					3室2段	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW 未満 2000mmW以上2300mmW 未満			MJ/k	単位重量当 たりの熱量	シミュ -	- 判断当たりの発星の資単にあたっては、定本な総 実施能において、他理術、奥耶操件を次のと対 対定することを条件とする、《処理布》、素材: ボリエステル100%機断、希端:1540mmW、目 付:200gm2、<処理条件>処理温度:140°C、 水分率(入口/出口):70~75% / 2%以下		時間当たりの影量の第世にあたっては、定常な提 実状態において、処理者、処理条件を次のと終 要状態において、処理者、の が表することを条件とする。く処理者・フ、表材: ポリエステル100%維物、希信:1540mmW、目 付:200gm2、く処理条件>処理温度:140°C、 水分率(入口/出口):70~75%/2%以下
							2300mmW以上2500mmW 以下	S-001902	2.99						
					4室2段	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW 未满	S-001903	-	MJ/k	g 単位重量当 たりの熱量	シミュ - レーショ ンによる 評価	- 時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操 業状態において、処理布、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする、く処理不)、素材: ボリエステルの0%機物、有能: 1540mmW、目		時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な検 業状態において、処理布、処理条件を次のとおい 設定することを条件とする。く処理布ン、素材: ポリエステル100%機物、布部:1540mmW、目
							2000mmW以上2300mmW 未满	S-001904	-				付:200g/m2、<処理条件>処理温度:140°C、 水分率(入口/出口):70~75%/2%以下		付: 200g/m2、 《規理条件》 規理温度: 140°C、 水分率(入口/出口): 70~7596 / 296以下
							2300mmW以上2500mmW 以下	S-001905	-						
000148	産業 (業 種固有)	繊維工業 熱処理機	熱回収式工業用織編物熱処理機	機構物の乾燥後に、機構物の形態を整え、寸法を安定化するために 熱固定を行う設備。熱固定を行う際には、熱風ノズルにより機構制 に熱風を吹付ける。緩緩物を加診することによって発生した熱処司 機内のガスは群気ファンにより推止され最高な状態に保たれる。最 風の熱波としては、ガス直接燃焼による加診方式と、熱媒体油によ 合敵交換差を用いた間熱加熱方式がある。		ローラー幅	1800mmW以上2000mmW 未满	S-001906	2.1	MJ/k	g 単位重量当 たりの熱量	シミュ - レーショ ンによる 評価	- 時間当たりの熱量の第出にあたっては、定常な操 実状態において、処理布、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする、く処理布ン案件: ポ リエステルのの機動、布部: 1540mm 19 200gm2、く処理条件ン処理温度: 140°C、水分 年(入口/出口: 700~7586/296以下		時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な 業状態において、処理布、処理条件を次のとお 設定することを条件とする。 < 処理布 > 素材: リエステル10分(織物、布能:1540mm/N、目付 200gm2、< 処理条件> > 処理系件 > 人の地域 ・140°C、水欠 単く (人口出口):70~7596 / 29%以下
				る窓交換者を用いた何接ル際力式がある。			2000mmW以上2300mmW 未满	S-001907	2.12				年(人口/四口): / (1~/) 96 / 296以 ト		華 (人口/出口) : /U~/5% / 2%以下
							2300mmW以上2500mmW 以下	S-001908	2.17						
					4室	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW 未滿	S-001909	2.05	MJ/k	単位重量当 たりの熱量	シミュ - レーショ ンによる 評価	- 時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操 業を隠において、処理布、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。 <処理布 > 素材・ボ リエステル100%織物、布稿: 1540mmW、目付: 200gm2、<処理条件 > 処理温度: 140°C、水分 車 (入口/山口: 70~75% 22% 12% 12% 13% 140°C、水分	-	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な 業状態において、処理布、処理条件を次のとお 設定することを条件とする、心理者へ条は リエステル100%機物、布幅: 1540mmW、目れ 200gm2、〈処理条件〉処理温度: 140°C、水/ 軍(人口出口): 770~7596 / 279k以下
							2000mmW以上2300mmW 未滿	S-001947	2.05				+ (ABILLEY : 10 15/01/2/02)		+ (AUIIII) .10 13/012/02 [
							2300mmW以上2500mmW 以下								
					5室	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW 未満				単位重量当 たりの熱量	シミュ - レーショ ンによる 評価	- 時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操 業状態において、処理布、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。 < 処理布 》素ポ リエステル100%維約、布幅: 1540mmW、目付: 200g/m2、必理条件》処理温度: 140°C、水分 車 (入口/出口): 70~7359 / 296以下		時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な 素化能において、処理布、処理条件を次のとお 設定することを条件とする。 〈処理布〉条は リエステル100%線物、布幅: 1540mmW、目付 200g/m2、〈処理条件〉処理温度: 140°C、水/ 車(入口/出口): 70~7556/29s以下
							2000mmW以上2300mmW 未满								
							2300mmW以上2500mmW 以下	S-001345	2.04						

L2-Tech		区分		設備・機器等の	WWW.1.42		クラス		L2-Tech	L2-Tech					指標	_	
リスト№	部門1	部門2	技術分類	名称	原理・しくみ	条 件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)	水準表 情報№	水準	測定単位 4	. 評価方法 3 称 のタイプ	去 ダ 準拠する規格	規格の名称	計算方法計算式	準拠する規格 お	試験条件 機の名称 脱 明
						6室	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW 未满 2000mmW以上2300mmW 未满		1.98	MJ/kg 単位 たり	重量当 シミュ の熱量 レーショ ンによる 評価	-	-	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常なは 素状態において、処理者、処理条件を次のとお 設定することを条件とする。<処理者か三素材:オ リエステル100条機能、希能:1540mm/N、目付 200g/m2、<処理条件)処理温度:140°C、水分 年(入口/出口):70~75%/2%以下		時間当上りの影量の算出にあたっては、定常な操 業状態において、処理布、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。〈処理布〉案材:ボ リエステル100%維約、荷徳:1540mmW、目付: 200g/m2、〈処理条件〉処理温度:140°C、水分 車(入口/出口):70~75%/2%以下
								2300mmW以上2500mmW 以下	S-001385	2.02							
						7室	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW 未滿	S-001386	1.96	MJ/kg 単位 たり	重量当 シミュ の熱量 レーショ ンによる 評価	-	-	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な批 業状態において、処理布、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。 <処理布ン素材: オ リエステル100%織物、布幅: 1540mmW、目付 200g/m2、<処理条件>処理温度: 140°C、水分	:	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操業状態において、処理布、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする、公理希ト業材:ボ リエステル100%機物、布幅:1540mmW、目付: 200gm2、<処理条件)処理温度:140°C、水分
								2000mmW以上2300mmW 未滿	S-001387	1.96					率 (入口/出口) :70~75% / 2%以下		率(入口/出口):70~75%/2%以下
								2300mmW以上2500mmW 以下	S-001388	1.99							
						8室	ローラー幅	1800mmW以上2000mmW 未满	S-001389	1.95	MJ/kg 単位 たり	重量当 シミュ の熱量 レーショ ンによる 評価	-		時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な財 業状態において、処理布、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。 <処理布ン素材・オ リエステル100%線物、布帽: 1540mmW、目付 200g/m2、&処理条件>処理温度: 140°C、水分	:	時間当たりの熱量の算出にあたっては、定常な操 業状態において、処理布、処理条件を次のとおり 設定することを条件とする。 <処理布>素材:ボ リエステル100%織物、布帽:1540mmW、目付: 200gmz. (処理条件) 処理温度:140°C、水分
								2000mmW以上2300mmW 未满	S-001082	1.95					率(入口/出口):70~75%/2%以下		率(入口/出口):70~75%/2%以下
								2300mmW以上2500mmW 以下	S-001083	1.98							
L-000149	運輸		自動車(内燃機関型)	ガソリン・ ディーゼル車 (乗用車)	((ガソリン車)ガソリンエンジンを搭載した自動車。国内における乗用車の大半がガソリン車である。(ディーゼル車)ディーゼルエンジンを搭載した自動車。	ガソリン車、軽自動車	-	軽自動車	S-001084	-	km/l 燃費	標準規格による評価	05に基づく) 自動車-燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠	05に基づく 消 JC08モード 方	助車・燃料 関車動験 はに基づ (C08モー
						ガソリン車、小型自動車	-	SUV	S-001090	-	km/l 燃費	標準規格による評価	JISD1012:20 05に基づく JC08モード	自動車-燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠	05に基づく 消 JC08モード 方	助事・燃料 関連動験 対に基づ (C08モー
								コンパクトカー	S-001085	-							
								セダン	S-001087	-							
								ミニバン	S-001089	-							
								ワゴン	S-001086	-							

Fech .⊦Ne	区 分 部門1 部門2	技術分類	設備・機器等の 名称	原理・しくみ	条件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)	水準表 情報Ng	L2-Tech 水準	単位	E単位 名称	評価方法 のタイプ	準拠する規格	規格の名称	指標 計算方法 計算式	準拠する規格	規格の名称	試験条件 説 明
					ガソリン車、普通自動車 -		SUV	S-001350	-	km/l		による評	05に基づく JC08モード	消費率試験	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠	05に基づく JC08モード	消費率試験	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠
							スポーツカー	S-001351	_					F			F	
							セダン	S-001348	-									
							ミニバン	S-001349	-									
							ワゴン	S-001347	-									
					ディーゼル車、小型自動車 -		コンパクトカー	S-001352	-	km/l		による評	05に基づく JC08モード	消費率試験 方法に基づ	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠	05に基づく JC08モード	消費率試験 方法に基づ	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠
					ディーゼル車、普通自動車 -		suv	S-001356	-	km/l	燃費	標準規格	JISD1012:20	くJC08モー ド 自動車-燃料	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠	JISD1012:20	くJC08モー ド 自動車-燃料	JISD1012:2005に基づくJC08モー ドに準拠
												価	05に基づく JC08モード	消費半試験 方法に基づ くJC08モー ド		05に基づく JC08モード		
							セダン	S-001354	-									
							ミニバン	S-001355										
							ワゴン	S-001353	-									
50 II	運輸 自動車	45.	- 100 -	(ディーゼル車)ディーゼルエンジンを搭載した自動車。(天然ガス			区分1※区分は省エネル	S-001153		km/l	No alle	標準規格		- 1 - 7 d	国土交通省審査で定める試験条件		50 1 nt 17 da	国土交通省審査で定める試験条件
30)3	1 日初年	(内燃機	然ガス車 (商用 車・重量車)	車)現在、国内で使用されている天然ガス自動車の多くは、ディーゼル車やガソリン車をベースとし、改造することによって天然ガス車として走行している。一方、メーカーにおいては圧縮天然ガス			ギー法による	3-001133		KIIVI		様字成份 による評 価		審査に準ず る(都市内 走行モード	画工文週刊各担でためる記数米 行		審査に準ず る(都市内 走行モード	画工文週刊毎旦でたの句話歌来行
				(CNG)エンジンの開発も進められている。										と都市間走 行モードそ れぞれによ る走行を車 種等によっ			と都市間走 行モードそ れぞれによ る走行を車 種等によっ	
							区分2※区分は省エネル ギー法による	S-001154	-					程等によっ て異なる割 合で合算し			程寺によっ て異なる割 合で合算し	
					貨物自動車、トラクタ以外 -		区分1※区分は省エネル ギー法による	S-001357		km/l		標準規格 による評 価		国土交通省 審査に準ず る(都市内 走行モード	国土交通省審査で定める試験条件		国土交通省 審査に準ず る(都市内 走行モード	国土交通省審査で定める試験条件
														と都市間走 行モードそ れぞれによ る走行を車			と都市間走 行モードそ れぞれによ る走行を車	
							区分2※区分は省エネル	S-001358						種等によっ て異なる割 合で合算し		1	種等によっ て異なる割 合で合算し	
							ギー法による											
							区分3※区分は省エネル ギー法による	S-001390	-									

		= 0 = ====					L2-Tech						指	標			
L2-Tech リストNΩ	An 99 4	区分 部門2 技術分類	設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス 条 件 クラス 能力(単位)	h== 40 ± / 5 %	水準表	L2-Tech 水準	3	剛定単位	評価方法 準拠する	1814 0 7 16	計算方法		200 Da -L 7 10 Lb	規格の名称	試験条件
	ត្សក្បា				宋 针 クラス能力(単位)	クラス 能力(名称) 区分4※区分は省エネル	S-001391		- 単位	省称	マクティン 李拠する	現情 現情の名称	計算式		半拠9 る規格	茂恰の名称	説 明
						ギー法による											
						区分5※区分は省エネル	S-001392		-								
						ギー法による											
						区分6※区分は省エネル	S-001393		-								
						ギー法による											
						区分7※区分は省エネル	S-001394		_								
						ギー法による											
						区分8※区分は省エネル	S-001430		_								
						ギー法による											
						区分9※区分は省エネル	S-001431										
						ギー法による	3-001431										
						E 410% E 41+46 + 7 11	S-001151										
						区分10※区分は省エネル ギー法による	3-001131										
						区分11※区分は省エネル	S-001152										
						ど分11%区分は省エネル ギー法による	5-001152										
										- 100 100							
					乗用自動車、一般バス -	区分1※区分は省エネル ギー法による	S-001395		- km	√!燃費	標準規格 - による評	国土交通省 日審査に準ず	国土交通省番金で定める試験染料	Ŧ	-	国土交通省 審査に準ず	国土交通省審査で定める試験条件
											価	る(都市内 走行モード	国土交通省審査で定める試験条件			国審る走と行れる種等の一般を表しています。	
												と都市間走				と都市間走	
												行モードそ れぞれによ る走行を車				れぞれによ	
												を定行を単 種等によっ て異なる割				を定行を単 種等によっ て異なる割	
												合で合算し				て異なる割 合で合算し た燃費値)	
						区公2次区公计余工之11.	S-001396					た燃費値)				た燃費値)	
						区分2※区分は省エネル ギー法による	3-001390										
						区分3※区分は省エネル ギー法による	S-001397										
						E0.08E0.15											
						区分4※区分は省エネル ギー法による	S-001398		-								
						区分5※区分は省エネル ギー法による	S-001399		-								
						区分6※区分は省エネル ギー法による	S-001432		-								
						区分7※区分は省エネル ギー法による	S-001433		-								
						, AI-6-0											
1	1	1 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1 1	1 1		,	1	1	'

L2-Tech リストNa		区分		設備・機器等の 名称	原理・しくみ		クラス		L2-Tech 水準表	L2-Tech 水準	測定単位	評価方法 四タイプ 準拠する規		指標 計算方法			試験条件
)X(1)(8)	部門1	新門2 	技術分類	- 		条 巻 乗用自動車、路線バス	クラス 龍力(単位) -	<u>今5名 能力(名物)</u> 区分1※区分は省エネル ギー法による	情報No S-001155		km/l 燃費	<u>のタイプ</u> 標準規格 - による評 価	格 規格では、 関格では、 関格では、 をは、 をは、 をは、 をは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	計算式 国土交通省審査で定める試験条件	審る 走と行 れ。 る種 で!	土査(行都モぞ走等異交に都モ市ーボーれ行になる通準市ー間ドにますの形をよる事である。	設 明 国土交通省審査で定める試験条件
								区分2※区分は省エネル ギー法による	S-001156	-			台で台昇した燃費値)		音 t=1	で合算し 燃費値)	
								区分3※区分は省エネル ギー法による	S-001157	-							
								区分4※区分は省エネル ギー法による	S-001158	-							
								区分5※区分は省エネル ギー法による	S-001159	-							
L-000152	運輸		自動車 / (ハイブ ! リッド ゼ)	動車 (乗用車)	動力として内態機関と電気モータを組み合わせた自動車。一時的に エネルギーをパッテリーやキャパシタに貯蔵し、必要に応じ電気 モータを介して動力とする。効率の低いエンジン作動医域にハイフ リット技術を使うことにより高効率連転が可能となる。		-	コンパクトカー	S-001434	-	km/l 燃費	による評 05に基づく	20 自動車・燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠	05に基づく 消 JC08モード 方	費率試験	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠
								セダン	S-001436	-							
								ミニパン	S-001437	-							
						普通自動車		ワゴン	S-001435 S-001441	-	km/l 燃費	標準相故 IISD404040	20 白動東。修到	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠	IISD1012:20 ===	動車。微学	JISD1012:2005に基づくJC08モードに準拠
						B 서 년 웹 부	-	スポーツカー	S-001441	-		による評 05に基づく	20 自動単・燃料 消費率試験 方法に基づ くJC08モー ド	いいと、いいとといいに変 ノくいしいで 下に 学班	05に基づく 消 JC08モード 方	費率試験	いいしい 1と、2000に多 ノ 、 がしのモートに年頭
								セダン	S-001439	-							
								ミニパン	S-001440	-							
								ワゴン	S-001438	-							

L2-Tech		区分		設備・機器等の	原理・しくみ	クラス		L2-Tech 水準表	L2-Tech		剛定単位	報#士 +			指標 計算方法			対験各体
リスト№			技術分類	名称		条件 クラス能力(単位)		情報№	水準	単位	名称	のタイプ	準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	男 規格の名称	
L-000153	連輔	自動車	(ハイブ	動車(商用車・	動力として内感機酸と電気モータを組み合わせた自動車。一時的に エネルギーをバッテリーやキャパシタ上貯蔵し、必要に応じ電気 モータを介して動力とする。効率の低いエンジン特勢区域にハイブ リット技術を使うことにより高効率運転が可能となる。		区分1※区分は省エネル ギー法による	S-001443		- kr	n/l 燃費	標準規格による評価		国審る走と行れる種で工査(行都モボナニを等異文に都モ市一間ドにをよる選準市一間ドにをよるのです。	国土交通省審査で定める試験条件	-	審る走と行れる種でに都モ市一間ドにをよるにないでは、一間ではないでは、できる。	国土交通省審査で定める試験条件
							区分2※区分は省エネル ギー法による	S-001475	1	-				合で合算し			合で合算し	
							区分3※区分は省エネル ギー法による	S-001476	3	-								
							区分4※区分は省エネル ギー法による	S-001477	,	-								
							区分5※区分は省エネル ギー法による	S-001478	1	-								
L-000155	運輸	自動車		電気自動車 (乗用車)	従来の内態機関のかわりに、パッテリーに充電した電力を動力源と してモータで走行する自動車。	軽自動車 -	軽自動車	S-001479	,	- Wh/k	m 交流充電電 力消費量	標準規格 による評 価	JC08モード	電気 自電を 気充離充消方く 大調を で表現で で表現で で表現で で表現で で表現で で表現で である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で	JISD1301:2001に基づくJC08モードに準拠	JISD1301:20 01に基づく JC08モード	電気自動車- 一充離をで 一充離を 一充を で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	JISD1301:2001に基づくJC08モードに準拠
						普通自動車 -	ワゴン	S-001480		- Wh/k	m 交流充電電 力消費量	標準規格による評価	JISD1301:20 01に基づく JC08モード	電気自動車- 一充電走行	JISD1301:2001に基づくJC08モードに準拠	01に基づく		JISD1301:2001に基づくJC08モードに準拠
000163	家庭	給湯	給湯器 (ヒート ポンプ)	家庭用エコキュート	自然冷媒(CO2)を用い、電動ヒートボンブサイクルにより65℃ 以上の高温沸きあげが可能な高効率な給湯システム。ヒートボンブ ユニットと給湯(貯湯)ユニットで構成されている。	一般地仕様、少人数世帯、 保温あり 貯湯容量	185L	S-001501	2.6	3	- 年間給湯保 温効率	標準規格による評価	JISC9220:20 11		JISC9220:2011に準拠	JISC9220:20) 家庭用ヒー トポンプ給 湯機	JISC9220:2011に準拠
						一般地仕様、標準世帯、保 温あり、1 缶	320L以上550L未满	S-001541	,	4	- 年間給湯保 温効率	標準規格 による評 価	11	家庭用ヒー トボンブ給 湯機	JISC9220:2011仁準拠	JISC9220:20) 家庭用ヒー トポンプ給 湯機	JISC9220:2011仁準拠
						一般地仕様、標準世帯、保 温あり、多缶	320L以上550L未满	S-001499	:	3	- 年間給湯保 温効率	標準規格 による評 価	JISC9220:20 11	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:20 11	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠
						一般地仕様、標準世帯、保 温なし、1 缶	320L以上550L未满	S-001500	3.3	3	- 年間給湯効率	標準規格 による評 価	11	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:20 11	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠
						寒冷地仕様、標準世帯、保 温あり、1缶	320L以上550L未满	S-001502	3.3	2	- 寒冷地年間 給湯保温効 率	標準規格 による評 価	JISC9220:20 11	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:20 11	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠
						寒冷地仕様、標準世帯、保 温なし、1 缶	320L以上550L未满	S-001503	2.9	9	- 寒冷地年間 給湯効率	標準規格 による評 価	JISC9220:20 11	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:20 11) 家庭用ヒー トポンプ給 湯機	JISC9220:2011に準拠
-000164	家庭	給湯		多機能ヒートボンプ給湯機	自然冷媒 (CO2) を用い、電動ヒートポンプサイクルにより65°C 以上の高温沸きあげが可能な高効率の終温暖房システム。ヒートポンプユニットと結漏 (炉湯) ユニット、床板局架木で構成される。1億00ヒートポンプによって輸湯、および床暖房が可能であるため、高効率化が可能。	温あり、1缶	320L以上550L未満	S-001504	3.9	9	- 年間給湯保 温効率(床 暖房部分除 く)	による評	11	家庭用ヒートボンプ給湯機	JISC9220:2011仁準拠	JISC9220:20	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220:2011に準拠
						寒冷地仕様、標準世帯、保 温あり、1缶	320L以上550L未满	S-001505	:	3	- 寒冷地年間 給湯保温効 率 (床暖房 部分除く)	による評	11	家庭用ヒー トポンプ給 湯機	JISC9220:2011に準拠	JISC9220:20) 家庭用ヒー トポンプ給 湯機	JISC9220:2011に準拠

L2-Tech		区分		設備・機器等の	原理・しくみ		クラス		L2-Tech 水準表	L2-Tech	測定単位	評価方法			推 計算方法	禄		試験条件
リスト№		部門2	技術分類	名称		条件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)	情報№	水準	単位 名称	のタイプ			計算式	準拠する規格	規格の名称	説 明
L-000165	家庭	給湯	給湯器 (ガス 式)		ガスを燃料としたパーナによって加熱した高温の空気により配管内 の水を温める機器。	鉛湯専用機	-	•	S-001510	95		標準規格による評価	10	家庭用カス 燃焼機器の 試験方法	JISS2093:2010に準拠	10	家庭用カス 燃焼機器の 試験方法	JISS2093:2010仁準拠
						暖房給湯兼用機	-	-	S-001512	93	% エネルギー 消費効率	標準規格による評価	10	"家庭用ガス 燃焼機器の 試験方法	JISS2093:2010に準拠	10	"家庭用ガス 燃焼機器の 試験方法	JISS2093:2010仁準拠
						暖房専用機	-	-	S-001511	87		標準規格による評価	10	家庭用ガス 燃焼機器の 試験方法	JISS2093:2010に準拠	10	家庭用ガス 燃焼機器の 試験方法	JISS2093:2010仁準拠
						風呂給湯兼用機		-	S-001513	95.1		標準規格による評価	10	"家庭用ガス 燃焼機器の 試験方法	JISS2093:2010に準拠	10	"家庭用ガス 燃焼機器の 試験方法	JISS2093:2010仁準拠
L-000166	家庭	給湯	ネレー	(エネファー ム・PEFC)	燃料電池は燃料から直接電気エネルギーを取り出すことができ、化 石燃料を燃焼させる従来の発電システムに比べて、高い発電効率、 優化力理場特性、勝熱利用による高い総合効率、遅定による低コスト ト化の可能性等の特長を持つ、発電の原現は、電解質を挟んだ二つ の電極に確認と大条を供給して悪気と熱を発生させるというもので ある、PEFC(個体高分子形燃料電池)は、電報質に固体高分子を 用い、動作温度は00~100% ロ金が解鍵として傾われており、都 市ガス、LPG(液化石油ガス)を燃料としている。排熱効率が高 く、SS (Daily Start and Stop) が容弱とある。ここでは、こに家庭 用として用いられる製品を取り扱う(銀行販売製品の電気の定格出			•	S-001552	95		標準規格による評価		小形固体高 分電が 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般	JISC8823:20081=準拠	08	小形固体高 分子形形 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般	JISC8823-200815 準拠
					力は1kW 以下)。			-	S-001551	39	% 発電効率	標準規格 による評 価	08	小形固体高 分子形燃料 電池システ ムの安全性 及び性能試 験方法	JISC8823:2008に準拠	08	小形固体高 分子形燃料 電池システ ムの安全性 及び性能試 験方法	JISC8823:2008に準拠
L-000167	家庭	給湯	ネレー	(エネファー ム・SOFC)	SOFC (固体酸化物形燃料電池) は、電解質にセラミックを用い、 動作温度は700~750℃である。発電効率が高く24 時間速転が多 い。ここでは、主に家庭用として用いられる製品を取り扱う (現行 販売製品の電気の定格出力は1kW 以下)。	-	-	-	S-001554	87		標準規格による評価	JISC8841- 3:2011		JISC8841-3:201115準拠	JISC8841- 3:2011	小形固体酸 化物形成ステムー第3 部:性及が 競方法試験 持続対数	JISC8841-3:2011に準拠
								-	S-001553	52	% 発電効率	標準規格による評価	3:2011	小形固体酸 化物形以 電池システ ムー第3 部:性及び 験方法及び	JISC8841-3:2011仁举拠	JISC8841- 3:2011	小形固体酸 化物形成子 電池第3 部:性別 部:性及び	JISC8841-3:2011に準拠
L-000168	家庭	耐房	冷凍冷蔵機器		布護を用いて圧略。凝縮が根本機の冷走サイクルを繰り返すことにより庫内を冷却する冷蔵庫。インパーを制御の高効率コンプレット・自動物の高効率コンプレット・一を軽く乗がから、資金筋制を使用することは、以消貨電力量を削減することが可能である。 (大型や麻原の一部では原理のよいない冷蔵庫の上間では原理のよいないうなが、カンフロン冷蔵庫と呼び、現在出荷されている家庭用の施園をのとなっとファンフロン冷蔵庫と呼び、現在出荷されている家庭用の議場の発達を開くたとはインプラン(冷様)、シウロペンタン・のでは、シウロペンタンは、トロバトレス・フロンや海庫とある。冷蔵庫の冷却方法には直治式と関係とはアルビス・フロールを開きませる。冷蔵庫の冷却方法には直治式と関係するがあり、一般に直治されてきる効率があり、一般に直治されてきる効率があり、一般に直治されてきる効率があり、一般に直治されてきる効率があり、一般に直治されてきる効率があり、一般に直治されてきる効率があり、一般に直治されてきる効率があり、一般に直治されてきる効率があり、		定格内容積	140L以下	S-001555	115		標準規格による評価	JISC9801- 3:2015	環家冷電の試第費び算 ・	JISC9801-3:2015に準拠	JISC9801- 3:2015	環家冷電の試第費 が電の試第費 が電の試第費 が事態電及凍及法:量積 の試第費 の試第費 の試第費 の試第費 の試第費 の試第費 の試第費 の試第費 の試第費 の試第費 の試第費 の試第費 の試第費 の試第費 の対象 の対象 の対象 の対象 の対象 の対象 の対象 の対象	JISC9801-3:2015に準拠
					は湿度が高く、冷却器表面に霧がついて冷却能力が落ちるため、間			140L超200L以下	S-001587	284								
								200L超250L以下	S-001588	319								
								250L超300L以下	S-001589	235								
								300L超350L以下	S-001590	259								
								350L超400L以下	S-001591	360								
								400L超450L以下	S-001592	263								
								450L超500L以下	S-001593	255								

L2-Tech		区分		設備・機器等の	原理・しくみ		クラス		L2-Tech 水準表	L2-Tech	3845	宇単位	評価方法			指標 計算方法			試験条件
リスト№	部門1	部門2	技術分類	- 名称	原・生・しくのた	条件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称) 500L超	情報№ S-001594	水準 269			のタイプ	準拠する規格	規格の名称	計算式	準拠する規格	規格の名称	
								SUULÆ	5-001594	269									
L-000169	家庭	照明	照明器具	LED照明器具 (家庭用)	オードを光源に使用した照明器具が普及している。LED 照明は、 主に面付け(シーリング)カバー付型、ダウンライト型、電球型があ り、他にスポットライト型、ブラケット型などもある。LED 素子 が器具に取り付けられ、ランプ交換は無いものが大半である。光の 広がり(ビールの開き)を広くしたもの、発光を名り替えるもの等	シーリングライト型	適用畳数	~4.5畳	S-001559	-		固有エネル ギー消費効 率	標準規格による評価	3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98	第3部:性 能要求事項 通、照明器 具一第5 部:配光測	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠	3:2011、	第3部:性 能要求照 無一期 無一部: 第5 第5 第3 第3 第4 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠
					が登場している。一般的には、「温白色、電球色」よりも「服光 色、昼白色、白色」の方がエネルギー効率(ImW)は高くなる。			~6畳	S-001560	148.5					定方法及び 照明用語			定方法及び 照明用語	
								~8畳	S-001561	151.3									
								~10畳	S-001562	153.5									
								~12畳	S-001563	154.4									
								~14畳	S-001564	151.7									
						ダウンライト型、温白色、電球色、配光角30°以下			S-001558	-		ギー消費効	標準規格による評価	3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98	第3部:性 能要求事項 通、照明器	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠	JISC8105- 3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98	第3部:性 能要求事項 通、照明器	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠
						ダウンライト型、温白色、 電球色、配光角30°超60°リ 下	।	-	S-001557	93.3		固有エネル ギー消費効 率		JISC8105- 3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98	照明器具一 第3部:性 能要求事項 通、照明器	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠	JISC8105- 3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98	照明器具一 第3部:性 能要求事項 通、照明器	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠
						ダウンライト型、温白色、電球色、配光角60°超	-	-	S-001556	100		固有エネル ギー消費効 率	標準規格による評価	JISC8105- 3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98	照明器具一 第3部:性 能要求事項 通、照明器	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠	3:2011、	照明器具一 第3部:性 能要求事項 通、照明器	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠
						ダウンライト型、昼光色、 昼白色、白色、配光角30° 以下		-	S-001598	94.7		-	による評価	JISC8105- 3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98	照明器具一 第3部:性 能要求事項 通、照明器	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠	3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98	照明第3年 第3年 第3年 第3年 第3年 第5年 第5年 第5年 第5年 第5年 第5年 第5年 第5年 第5年 第5	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠
						ダウンライト型、昼光色、 昼白色、白色、配光角30° 超60°以下		-	S-001597	111.8			による評価	JISC8105- 3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98	照第器具一 第3要票 第3要票 第3要票 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5	JISZ8113:1998仁準拠	JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98	照明器具一 第3部末 事 第3部末 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5 第5	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠
						ダウンライト型、昼光色、 昼白色、白色、配光角60 ⁰ 超	-	-	S-001595	105		固有エネル ギー消費効 率		JISC8105- 3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98	照明器具一 第3部:性 能要求事項 通、照明器	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠		照明器具一 第3部:性 能要求事項 通、照明器	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠

L2-Tech リストNs		区分		設備・機器等の 名称	原理・しくみ		クラス		L2-Tech 水準表	L2-Tech 水準	測算	官単位	評価方法		指標 計算方法			試験条件
77/148	部門1	部門2	技術分類	-2.50		条 件 ペンダントライト型	クラス 能力(単位) 適用畳数	クラス 能力(名称) ~4.5畳	情報№ S-001565	87.1	lm/W	名 称 固有エネル ギー溶集が	標準規格	JISC8105- 照明器具	- JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、	JISC8105-	規格の名称 照明器具一 第3部:性	説明 JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠
								~6畳	S-001599	96.7		半一消費効率	価	3.2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98 部:配分 セナスト	項器	JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98	能要求事項 通、照明器	JISZ-0113-1990に平地
								~8畳	S-001600	124.8								
								~10畳	S-001601	100								
								~12畳	S-001602	130.9								
								~14畳	S-001603	-		m+-+	100 Mt 400 40	W00000 W00000		1000105	man se s	
						電球形LEDランブ組込型、 温白色、電球色、電球形 LEDランブ2灯以上	-	-	S-001605	93.4		固有エネル ギー消費効 率			項器	3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98	第3部:性 3部求事 3部求事 第5 第5 第5 第5 第5 第7 第7 第7 第7 第7 第7 第7 第7 第7 第7 第7 第7 第7	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠
						電球形LEDランブ組込型、 昼白色、昼光色、白色、電 球形LEDランプ2灯以上	-		S-001604	84.4		固有エネル ギー消費効 率		JISC8105- 照明器具	- JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準施 選	3:2011、 JISC8105- 5:2011及び JISZ8113:19 98	照明器具一 第3部:性 能要求事項 通、照明器	JISC8105-3:2011、JISC8105-5:2011及び、 JISZ8113:1998に準拠
L-000170	家庭	空調	窓	ス (LE3+A12+FL3)	複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E空間膜をコーティングす ることで放射による熱移動量を低減したガラス。断熱を行うことに よって、より少ないエネルギーで空調を行うことができるようにな る。主に住宅等に導入されている。		-		S-001650	1.6	W/m2K		標準規格による評価	JISR3107:19 板ガラス	類 JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠 及 お お	JISR3107:19 98及び JISR3209:19 98	板ガラス類 の熱抵抗及	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠
L-000171	家庭	空調		ガラス (LE3+Ar11+FL3	三層で構成される複類ガラスの中空層側のガラス面にLow+全風膜をコーティングすることで放射による熱移動量を推進したガラス。 断熱を行うことによって、より少ないエネルギーで空間を行うことができるようになる。主に住宅等に導入されている。	新築用	-		S-001651	0.8	W/m2K		標準規格による評価	JISR3107:19 板ガラス	及 お 流 方	JISR3107:19 98及び JISR3209:19 98	板ガラス類 の熱抵抗及	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠
L-000172		空調		ガラス (LE3+Ar9+FL3+ V0.2+LE3) (家 庭用)	真空ガラスとLoweがカラスを組み合わせた機層ガラスにすることで、放射による熱移動量を低減したガラス。断熱を行うことによって、太が少ないエネルギーで屋間を行うことができるようになる。 主に住宅寺に導入されている。			-	S-001607		W/m2K		標準規格による	JISR3107- 1998及近 JISR3209- 1998、ただ し真空ガラ 人について は、複層が ラスの性能能 管性部の ラスの性能 管性部の ラスの性能 管性部の ラスの サ を 野球 大手 大手 大手 大手 大手 大手 大手 大手 大手 大手 大手 大手 大手	及 ガラスについては、機層ガラスの性能の向上に吸 する影解失防止整数料料製造事業等の明記を 第 年 (平成26年11月28日経済産業省告示第235	1998及び JISR3209- 1998、空つを 1998、空つを 1998、空つを 1998、空つを 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998、空の 1998 での 1998 で 1998 での 1998 での 1998 での 1998 での 1998 で 1998 で 1998 で 1998 で 1998	板のびけ率法ラ層性に損築事判等年終対熱建るの、スプ能関失材業断(11分手の事防料者の平月産業の表別のの政策をは、11分割を開発を対して、11分割を対して、11分割を対して、11分割を対して、11分割を 11分割を	JSR3107-1998及びJISR3208-1998、ただし真空 ガラスについては、複節ガラスの性能の向上に関 する熱損失助止建築材料製造事業者等の判断の基 準等(平成26年11月26日経済産業省告示第235 号)に準拠
L-000173	家庭	空調		付きLow-E複層 ガラス (LE3+Ar6+FL3	機器がラスの中空層側のガラス面にLow-全角膜をセーティングす ることで設計による熱移動量を振起したガラス。アッチメントに より、ガラス部分のみを既存サッシに取り付けられるため、大がか りな工事を必要としない。断終を行うことによって、より少ないエ ネルギーで空調を行うことができるようになる。主に住宅等に導入 されている。		-	-	S-001608	2	W/m2K			JISR3107:19 板ガラス 98及び の熱抵打 JISR3209:19 けで建築に 日本の第5 本の第5 法及びが ガラス	及 お 流 方	JISR3209:19 98	の熱抵抗及	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠
L-000174	家庭	空調	窓	(LE3+	2枚のガラスの間に真空層を設けることで、熱移動量を低減したガ ラス。簡節を行うことによって、より少ないエネルギーで空間を行 うことができるようになる。主に住宅等に導入されている。	リフォーム用		-	S-001609	1	W/m2K		標準規格評価	1998及び の熱抵抗 JISR3209- び建築に	ガ 権の 上 熱 建 造 の 単 達 造 の 単 準 26 日	1998及び JISR3209- 1998、ただ	のびけ率法ラ層性に損簽事判等年1 概違るの、スプ前間サ大材業所(平月 抵策熱算複及のすり所料者の平月 のよりでは、1 のよりでは、1 の上 数等基度 2 の上 数 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	ガラスについては、複層ガラスの性能の向上に関する熱損失防止建築材料製造事業者等の判断の基準等(平成26年11月28日経済産業省告示第235

L2-Tech	区分	設備・機器等の			クラス		L2-Tech	L2-Tech					指標		
リスト№ 部門1	部門2	技術分類 名称	原理・しくみ	条件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)	水準表 情報Na		測定単位 名					準拠する規格 規格の名称	
L-000175 家庭	空調	窓 現場施工型後付 けLow-E複層ガ ラス (FL6+A12+LE5) (家庭用)	既存の窓ガラスの上からLow-Eガラスを貼ることで放射による熱移 動量を低減したガラス。 断熱を行うことによって、より少ないエネ ルギーで空間を行うことができるようになる。	リフォーム用		-	S-001610	1.6 V	//m2K 熱貫流:	率 標準規格 による評価	98及び JISR3209:19 98	の熱抵抗及	JISR3107:1998及びJISR3209:1998に準拠	JISR3107:19 98及び JISR3209:19 98 (建築に 対ける は は い 建築に は は の と は い は い は に れ る が は る き れ り に る れ う は う は う は う は う は う は う は う 、 る り を り を り を り を り を り を り を り を り を り	JISR3107:1998及びJISR3209:1998仁準拠
L-000176 家庭	空調	ガラス	接限ガラスの中空階側のガラス面にLove-全角膜をコーティングす ることで放射による熱移動量を減点したガラス。アタッチメントを 使用せずにガス配がのみを成サケッシに取り付けることができ る。断熱を行うことによって、より少ないエネルギーで空間を行う ことができるようになる。主に住宅等に導入されている。		•	-	S-001611	1.9 V	I/m2K 熱貫流		F 98及び JISR3209:19 98	の熱抵抗及	JISR3107-1998及びJISR3209-1998に準拠	JISR3107:19 98及び JISR3209:19 98 近建築にお ける熱質流 法及び複層 ガラス	JISR3107:1998及びJISR3209:19981二準拠
L-000177 家庭	空調	窓 Low-E複層ガラス・樹脂サッシ	複層ガラスの中空層側のガラス面にLowE金属機をコーティングすることで放射による熱等動量を極減したガラスと、樹脂製のサッシを組み合わせた窓。	FIX		-	S-001107	1.3 V	//m2K 熱實流	率 標準規格 による評価	F 15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	性試験方 法、窓及び	JISA4710-2015、JISA2102-1-2015及びJISA2102-22011(再路。国立時期発法人建築研究所未一人ベージ内(柱宅・建築物の金オネルギー基準の 近低炭素整常物の認定基準に関する技術情報)に 基づく代表試験やサイズによる配証を行う、代表 試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズ において認証を適用する。	15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- は 能一熱貫流	JISA4710-2015、JISA2102-1-2015及びJISA2102- 2-2011に年間、国立労助保法人建築等所所・ ムページ内「住宅・建築物の名工・ルギー基準及 び形成素建築物の認定基準に関する技術情報」に 基づく代表技能やサイズにる認証を行う。代表 試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズ において認証を適用する。
				引き違い			S-001652	1.46 V	//m2K 熱實流	率 標準規格 による評価	F 15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	建具の断熱	JBSA4710-2015、JJSA2102-1-2015及でJJISA2102- 22011に華郎。国立研究開発法人建築研究所ホー ムページ房(性宅・建築物の総工系ルギー基準及 び低炭素建築物の設定基準に関する技術情報」に 基づく代表試験やサイズによる配差で行っ、代表 試験体サイズに支配を行っ、代表 において認証を適用する。	JISA4710:20 15、 建具の断熱 性試験方 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 能一熱貫流	JISA470:2015、JISA2102-12015及びJISA2102- 22011に半期。面立研究開発法人建築研究所ホー ムページ内(住宅・建築物の名エネルギー基準及 び修設条建築物の認定基準に関する技施行策)。 基づく代表技能検サイズにき基準に関する技施行う。代表 試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズ において認証を適用する。
				縦すべり出し			S-001653	1.3 V	//m2K 熱實流:	率 標準規格 による評価	JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	建具の断熱 性試験方 法、窓及び	JSSA470.2015、JSSA2102-12015及でJJSSA2102- 22011に率線、直旋中祭門最上、整備等所十 ムページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及 び低炭素建築物の窓及基準に関する技術情報」に 基づく代表波線やサイズによる配置を行っ、代表 試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズ において認証を適用する。	JISA4710:20 15、 建具の断熱 性試験方 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 能一熱貫流	2:2011に準拠。国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及 び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に 基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表
L-000178 家庭	空調	窓 Low-E機器ガラ ス・アルミ樹脂 複合サッシ	報度ガラスの中空階側のガラス面にLow-6金属様をコーティングすることで放射による発移動量を破壊したガラスと、アルミ樹脂強合サッシを組み合わせた窓。アルモ樹脂複合サッシは、アルミ製 (水香) と樹脂製(室作香) のサッシを室内側の結路の発生の軽減ぐ断断が性の向上を目的に一体化したものである。				S-001110		//m2K 熱實流:	による評価	F 15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	建性法ド能率第般び性流ーフ具試、アーの1及下ーの1及所の熱質算:窓の熱計部びアーの2一所の2一級計部ムアーの2円の熱計部ム数に対して、対して、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	JSA4710-2015、JSA2102-12015及びJISA2102- 22011に書地、国立有労削免法、基础研究所十 ムページ内「住宅・建築物の電エネルギー基準及 び低炭素建築物の設定基準に関する技術行会、社会 基づく代表試験やサイズによる技術行会、社会 試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズ において認証を適用する。	JISA4710.20 対5. JISA2102- 1.2015及び JISA2102- 2.2011 第一部第1第一 報1都である びドアの熱性 年の計算一 第1都である びドアの熱性 作一熱質 連和計算一 第1都である びドアの熱性 作・熱質 -第2都・ フレームの	22011に準拠。国立研究開発法人建築研究所ホームページ内(任き・建築物の選本ホルギー基準及 び低度素建築物の認定基準に関する技術情報」に 基づく代表技術をサイズにる設証を行う。代表 試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズ において認証を適用する。
				引き違い			S-001108	1.7 V	//m2K 熱實流·	率を標準規格には、	JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能一熱貫流	JJSA4710-2015、JJSA2102-1-2015及びJJSA2102-2-2011に準線、原始等原件・大學研究所・七年・接線物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の窓定基準に関する技術情報」に基づく代表試験体サイズによる疑証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。	15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- は試験方 法、窓及び ドアの熱性 能一熱貫流	2:2011に準拠。国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及 び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に 基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表
				縦すべり出し			S-001109	1.52 V	//m2K 熱實流:	率 標準規格 による評価	F 15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	建具の断熱 性試験方 法、窓及び	JISA470.2015、JISA2102-12015及びJISA2102- 2-2011に率線、直位有架開発は、建設研究所十二人 上2-2011に平線、直位有限開発は、上陸研究所十二人 は一度では、上陸がある。 は低炭素素酸の砂密医基準に関する技術情報・に 基づく代表試験体サイズによる野塩を行う。代表 試験体サイズで適用する。	15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- は 性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能一熱貫流	2:2011に準拠。国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及 び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に

Tech ∖⊦N∞		区分	設備·機器 名称			クラス		L2-Tech 水準表	2-Tech 水準	測定単位	評価方法			指標計算方法			試験条件
	部門1	部門2	技術分類 窓 三層Low-E- ガラス・樹	複層 三層で構成される複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E金属/ 網 をコーティングすることで放射による熱移動量を低減したガラス		クラス 能力(単位) -	クラス 能力(名称) -	情報№ S-001178		単位名称 W/m2K 熱貫流率	のタイプ 標準規格 による評	15、	建具の断熱 性試験方	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102- 2:2011に準拠。国立研究開発法人 建築研究所ホー	15、	建具の断熱 性試験方	説明 JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2 2:2011に準拠。国立研究開発法人 建築研究所
			サッシ	と、楊脂製のサッシを組み合わせた窓。							価	1:2015及び JISA2102- 2:2011	法ド能率第般び性流ー 窓の熱計部びアーの1及ド能率第 の熱責算:窓の熱計部 び性流ー一及熱責算:	ムページ内 [住宅・建築物の金エネルギー基準及 低低炭素建築物の設定基準に関する技術情報]に 基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表 試験体サイズにはる認証を行う。代表 において認証を連用する。	JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	法ド能率第般び性流ー、アーの1及ド能率第級の熱計部びアーの1及ド能率第の熱計部がアーの2の熱計部の熱計部の数計部の数計がある。	ムページ内 (住宅・建築物の省エネルギー基 位低炭素建築物の設定基準に関する技術情報 基づく代表試験体サイズによる認証を行う。 試験体サイズに影話を14番合は、全でのサ において認証を適用する。
					引き違い		-	S-001111	1.06	W/m2K 熱實流率	標準規格による評価	JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	性法ド能率第般び性流ー 方及熱貫算:窓の熱計部びアーの2 が性流ーー及熱貫算:	JISA4710-2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-220111年期。国立研究開発法、建築研究所未一人ページ内(任き・建築物の金田・加・大・一本年及び低炭素建築物の設定基準に関する技術情報」に基づく代表試験サイズによる設定を行う、代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。	15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	性法ド能率第般び性流ー 財験窓の熱計部びアーの1 及熱貫算:窓の熱計部 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する。 が関係を表する が が が が の が が が が が が が が が が が が が が	JISA4710-2015、JISA2102-1-2015及びJIS/ 2-2011に年期、国立研究開発法人登録研究 人ページ内 1代を・登録物の書本ルギーラ び低炭素整弦物の認定基準に関する技術情報 基づく代表技験やサイズによる認定を行う 試験体サイズで認証された場合は、全ての4 において認証を適用する。
					縦すべり出し		-	S-001177	0.79	W/m2K 熱實流率	標準規格による評価	15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能一熱貫流 率の計算一	JISA4710-2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-22011(年期。国立研究開発法人建築研究所未一人不一之所(社主・建築物の金本ルドー基準の なべ一之所(社主・建築物の金本ルドー基準の び低炭素建築物の設定基準に関する技術情報」に 基づく代表試験やサイズによる設定を行う。代表 試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズ において認証を適用する。	JISA4710:20 15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能一熱貫流 率の計算一	JISA4710-2015、JISA2102-1-2015及びJIS 2-2011に年際。国立研究開発法人建築研究 ルベージ内 七年・建築物の名ボルギー び低炭素建築物の認定選挙に関する技術情 基づく代表技験株サイズによる設証を行う 試験体サイズで認証された場合は、全ての において認証を適用する。
80 %	尿庭	空調	ガラス・ア	接層 三層で構成される複層ガラスの中空層側のガラス面にLow-E金属ルミ をコーティングすることで放射による熱移動量を低減したガラスシ と、アル場間接合サンシを アルミ製 (室外側)と樹脂製 (室内側)のサッシを室内側結構の発生の軽減や断熱性の向上を目的に一体化したものである	_ອ ທ			S-001209	1.03	W/m2K 熱貴流率	標準規格による評価	JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	建性法ド能率第般び性流ー具試、アーの1及ド能率第の計がアーの2及所能率第一個の計算・窓の熱計部がアーの2の計がアーの2の製計部機ができません。	JJSA4710-2015、JJSA2*120:1-2015及びJJSA2*10-2-2011に年拠。国立研究開発法人建築研究所ホームペーン内(柱宅・建築物の金本・川中、基本の び低炭素建築物の設定基準に関する技術情報」に 基づく代表試験やサイズにより設定を行う。代表 試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズ において認証を適用する。	15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	建性法ド能率第般び性流ー與試、アーの1を下能率第一個計画がアーの1を下の1を下れる。 びんしょう はんしょう はんしょく はんしょ	JISA4710-2015、JISA2102-12015及びJI 22011に年際、国立研究開発法人建築研 はベージ内・恒率・建築物の認定基準に関する技術 が低炭素建築物の認定基準に関する技術 基づく代表技術サイズにる認証を行 試験体サイズで認証された場合は、全ての において認証を適用する。
					引き違い	-	-	S-001179	1.22	W/m2K 熱實流率	標準規格による評価	15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102-	性法ド能率第般び性流ー大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大人の大	JISA4710-2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-22011(年期、国立研究開発法人建築研究所未一人本一少年、仕本・建築物の金本ルドー基準の なべ一次時代生・建築物の金字基単に関する技術情報」に 基づく代表技能サイズによる認証を行う。代表 試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズ において認証を適用する。	15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	性法ド能率第般び性流ー 財験窓の熱計部びアーの2 大及熱貴算:窓の熱計部 大及熱貴算:窓の熱計部 が性流ー一及熱貴算:	JISA4710-2015、JISA2102-1:2015及びJ 2:2011に辛助、国立研究開発法、建築研 太ベージ内 任宅・建築物の建定基準に関する技術 基づく代表就株サイズによる連転を付 が低度素建築物の建定基準に関する技術 基づく代表就株サイズで認証された場合は、全て において認証を適用する。
					縦すべり出し		-	S-001208	1.03	W/m2K 熱貴流率	標準規格による評価	15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	性法ド能率第般び性流ー 財際窓の熱計部びアーの1 及熱貫算:窓の熱計部 びアーの2 の熱計部 が関係を表する が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、する。 が、 が、 が、 が、も、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、	JJSA4710-2015、JJSA2102-1-2015及びJJSA2102- 2-20111年期。国立研究開発法人建築研究所ホームペーン序(主任・建築物の金本ルイー基準の な「他反演建築物の設定基準に関する技術情報」に 基づく代表試験やサイズによび起き行う。代表 試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズ において認証を適用する。	JISA4710:20 15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	性法ド能率第般び性流ー方及熱貫算:窓の熱計部方及熱貫算:窓の熱計部がアーの名が下一の名が下の名が、大きない。	JISA4710-2015、JISA2102-1-2015及びJ 2-2011に年期、国立所究開発法人差別の ムベージ内「住宅・建築物の第二本ルギ び低炭素建築物の認定基準に関する技術 基づく代表就後サイズにお診証を行 試験体サイズで認証された場合は、全で において認証を適用する。
81 3	R 庭	空調	窓 五層Low-E ガラス・樹 サッシ	模層 機能(塩化ビニル等)等の熱伝導率が低いフレームと、多層の密 地空層をもったガラスからなる。中空層には熱熱ガス(アルゴン ス、クリプトンガス等)を光現することがラスの熱伝導率の高 を補う構造。現在日本国内では、機能フレームを用いた原口部に 断熱性能が低いものから臓に、4枚のガラスを用いたもの、2枚の ガラス (一つの密閉中空層)を用いたもの、3枚のガラス (二つ) 密閉中空層)を用いたもの、5枚のガラス (回つの密閉中空層) 用いたものが使用されており、2枚のガラスを用いたものが最大 (立進)している。会社はマエネ基率線形体等が予定されている。 から、さらなるガラスの多層化が予想される。従来品と比較して い断熱性能を持つことから、特に素冷地の戸理性をへの採用に相 しい。	ガささは	-	-	S-001212	0.55	W/m2K 熱費流率	標準規格 に 価	15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	性法ド能率第般び性流ー財法ド能率第般での熱計部びアーの1及ド能率第で、大変を対象を変が、対象が、対象が、対象が、対象が、対象を対象が、対象を対象が、対象を対象が、対象を対象が、対象を対象が、対象を対象が、対象を対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	JISA4710-2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-22011(年期。国立研究開発法人建築研究所ホームペーシ戸(日本・建築物の金本ルイー基準の なんペン方(日本・建築物の金本ルイー基準の び低炭素建築物の設定基準に関する技術情報」に 基づく代表試験やサイズによる設定を行う。代表 試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズ において認証を適用する。	JISA4710:20 15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	性法ド能率第般び性流ー方及熱貫算:窓の熱計部方及熱貫算:窓の熱計部がアーの2の熱計部がアーの2の熱計部が増加が、	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJJ 2:2011に年期、国立研究開発法人建築ポ ムベージ内 任宅・建築物の名でネルギ び低炭素建築物の認定基準に関する技術 基づく代表式総株サイズにる経証を行 試験体サイズで認証された場合は、全ての において認証を適用する。
					引き違い	-	-	S-001210	-	W/m2K 熱實流率	標準規格による評価	15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能一熱貫流 率の計算一	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-22011(年戦。国立研究開発法人建築研究所ホームページ時(任き・建築物の金本ルギー基準及び低炭素建築物の設定基準に関する技術情報」に基づく代表試験がサイズによる経証を行う。代表試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズにおいて認証を適用する。	15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	性試験方 法、窓及び ドアの熱性 能一熱質流 率の計算一	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJJ 2:2011に年期、国立研究開発法人建築研 なページ内 任宅・建築物の名ではネルキー び低度素建築物の怨定基準に関する技術 基づく代表就後サイズにも終証を行 試験体サイズで認証された場合は、全ての において認証を適用する。

L2-Tech		区分		設備・機器等の	原理・しくみ		クラス		L2-Tech 水准表	L2-Tech	測定	単位	郭 佛士计			指標 計算方法			計談各件
リスト№	部門1	部門2	技術分類	名称	原理: しくの2	条件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)	情報№	水準	単位	名称		準拠する規格		計算式	準拠する規格		
						縦すべり出し -			S-001211	0.55	W/m2K		様学規格 による評価	15, JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	性法ド能率第般び性流ー大及熱質算:窓の熱計部びアーの2及計部の外計部がアーの2数計部のの熱計部のの熱計部のの熱計部のの熱計ののの、	JISA4710:2015、JISA2102-12015及びJISA2102 22011に平線、腹立研究開発は、建築研究所十二基本及 び低炭素維維的認定基準に関する技術情報」 基づく代表試験体サイズによる認証を行う、代表 試験体サイズによる認証を行う、代表 において認証を加まれ、場合は、全てのサイズ において認証を適用する。	- 15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	性法ド能率第般び性流ー方及熱質算:窓の熱計部びアーの1及ド能率第一個計部がアーの2とでは一個では、アーの1をできる。	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2011に平線、国立研究開発法人 建築研究所十二本一人ベージ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及 佐炭素建築物の8定基準に関する技術情報」に 基づく代表試験体サイズによる認証を行う。代表 試験体サイズによる認証を行う。代表 試験体サイズに登証された場合は、全でのサイズ において認証を適用する。
L-000182	家庭	空調	窓	真空ガラス・樹脂サッシ	2枚のガラスの間に真空層を設けることで、熱移動量を低減したガラスと樹脂サッシを組み合わせた窓。	FIX※右記の水準は、一般 社団法人リビングアメニ ティ協会が提供する。窓の 断熱性能プログラム 「WindEye」を用いて第出			S-001685	1.09	W/m2K]		標準規格による評価	JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	フ建性法ド能率第級び性流ーフレ具試、アーの物をの熱計部びアーの2人断方及熱貫算:窓の熱計部の熱計部がアーの2人の熱力を表換がある。	2:2011に準拠。国立研究開発法人 建築研究所ホー	15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102-	フ建性法ド能率第般び性流ーフレーの験窓の熱計部びアーの1及ド能率第2一の1分を発賞第二窓の熱計部のアーの2一の製造の製造の製造の製造の製造の製造の製造の製造の製造の製造の製造の製造の製造の	JISA4710-2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠。 園立研究開発法人 建築研究所ホーベージ内 住宅・建築物の名でネルギー基準及 び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に 基づく代表技能やサイズにる診証を行う、住意試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズ において認証を適用する。
						引き連い※左配の水率は、一般社団法人リピングアメ 一般社団法人リピングアメ 一子イ協会が提供する、窓 の断熱性能プログラム 「WindEye」を用いて算出			S-001683	1.38	W/m2K	熱貫流率	標準規格による評価	15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	建性法ド能率第般び性流ーの験窓の熱計部びアーの1及ド能率の1別で下地率の1別に非率の1別には上の1別には上の1別には上の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の	2:2011に準拠。国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及 び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に	15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102-	建性法ド能率第般び性流ーの験窓の熱計部びアーの1及ド能率第分である熱質等:窓の熱計部のアールを開発を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及だJISA2102- 2:2011に半郷。画立研究開発法人 建築研究所ホー ムベージ内 住宅・建築物の衛エネルギー基準及 び低炭素建築物の設定基準に関する技術情報に 基づく代表試験やサイズによる設証を行う。代表 試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズ において認証を適用する。
						縦すべり出し※右記の水準 は、一般社団法人リピング アメニティ (協会が提集す る、窓の断熱性能プログラ ム 「WindEye」を用いて算 出			S-001684	1.19	W/m2K]		標準規格による評価	15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	性法ド能率第般び性流ー財法ド能率第級での熱計部びアーの1及ド能率第一の2条計部の発計部がアーの2を対しませた。	JISA4710-2015、JISA2102-1-2015及びJISA2102 2-2011に華恩、国立時間発法人、建築研究所示・ 人ベージ内「住宅・建築物の名本ルギー基準と び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に 基づく代表波域をサイズによる認証を行う、代表 対域体サイズで認証された場合は、全てのサイズ において認証を適用する。	15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102-	性法ド能率第般び性流ー方及熱質算:窓の熱計部びアーの1及ド能率第一個計部での1及びをである。 が性流ー一及熱質算:窓の熱計部が下の2分割ができます。	JISA4710-2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102- 2:2011に準拠。 国立研究開発法人建築研究所未一 人ベージ内 「住宅・建築物の設定基準に関する技術情報)に 基づく代表規能サイズにも診証を行う、代表 基づく代表規能サイズにも診証を行う、代表 試験体サイズに認証された場合は、全てのサイズ において認証を適用する。
L-000183	家庭	空調	窓	真空ガラス・ア ルミ樹脂複合 サッシ	2枚のガラスの間に真空層を設けることで、熱移動量を低減したガ ラスとアルミ樹脂接合サッシを組み合わせた窓。アルミ樹脂接合 サッシは、アルミ製 (室外側) と組脂製 (室内側) のサッシを変成 側の結脳の発生の軽減や断熱性の向上を目的に一体化したものであ る。	社団法人リビングアメニ ティ協会が提供する、窓の			S-001688	1.32	W/m2K]	熱實流率	標準規格による評価	JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	性法ド能率第般び性流ー財法ド能率第級で性流ーの1及ド能率第一の2を計部びアーの2を計部の発計部の発計部ができた。	び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に	15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102-	性法ド能率第般び性流ー方及熱質算:窓の熱計部びアーの1及ド能率第一個計部である。 が性流ー一及熱質算:窓の熱計部がある。 が性流ーー及熱質算:	JISA4710-2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠、国立研究開発法、建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の名記主導に関する技術情報」に基づく代表課建築物の認定基準に関する技術情報」に基づく代表就軟件サイズに多起至行う、大き記録を行う、大き記録を行う、において認証を適用する。
						引き違い※右記の水準は、一般社団法人リビングアメ 二ティ協会が提供する。窓 の断熱性能プログラム 「WindEye」を用いて算出			S-001686	1.66	W/m2K		標準規格による評価	JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	性法ド能率第般び性流ー方及熱貫算:窓の熱計部びアーの1までドーの2数計部の2対部がでの2数計部がある熱貫算:	2:2011に準拠。国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「住宅・建築物の省エネルギー基準及 び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に	15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102-	性法ド能率第般び性流ー方及熱質算:窓の熱計部びアーの1及ド能率第分で能率の発計部ができた。	JISA4710:2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102-2:2011に準拠。国立研究開発法人建築研究所未止人ベージ内(任宅・建築物の登定基準に関する技術情報)に基づく代表技能やサイズにも設証を行う、体設証を行う、体設証を行う、性が、はいて認証を行うに、ないて認証を行うに、ないて認証を行っている。
						縦すべり出し※右記の水準 は、一般社団法人リピング アメニティ 協会が提集す る、恋の断熱性能プログラム 「WindEye」を用いて算 出			S-001687	1.59	W/m2K]		による評価	JISA2102- 1:2015及び JISA2102- 2:2011	性法ド能率第般び性流ー財法、アーの1及ド能率の表計部びアーの2及所に率の2別での表計部のの表計部のの表計部のの表別がある。	22011に準則、国立研究開発法人・建設研究所ホームベージ内 1任を・建築物の省エネルギー基準及 ルベージ内 1任を・建築物の名正本に関する技術情報)に 基づく代表波線をサイズによる認証を行う、代表 試験体サイズで認証された場合は、全てのサイズ において認証を適用する。	15、 JISA2102- 1:2015及び JISA2102-	性法ド能率第般び性流馬方及熱質算:窓の熱計部びアーの1及ド能率第十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	JISA4710-2015、JISA2102-1:2015及びJISA2102- 2:2011に準拠、国立研究開発法、建築研究所ホームベージ内(往宅・建築物の部定基準に関する技術情報)に 基づく代表技能やサイズによる認証を行う、社会設証を行う、社会設証を行う、社会 は、全てのサイズ において認証を適用する。
L-000184	家庭	断熱	断熱材	押出法ポリスチ	スチレン樹脂・発泡剤・難燃剤等を押出機中で混和・溶融し、大気中に連続的に押し出して発泡させ、成型後、板状製品に裁断加工することで製造する。	-	•	•	S-001689	0.022	W/m·K	熱伝導率	標準規格による評価	JISA9511:20 06Rまたは JISA9521:20 14	アツソ休温	JISA9511:2006RまたはJISA9521:2014に準拠	JISA9511:20 06Rまたは JISA9521:20 14	チック保温	JISA9511:2006RまたはJISA9521:2014に準拠

2-Tech ストNo		区分		設備・機器等の 名称	原理・しくみ		クラス		水準表 情報№	L2-Tech 水準	3	定単位	評価方法			指標計算方法			試験条件
0185	部門1 家庭	部門2 断熱	技術分類 断熱材	断熱材(家庭用·	原材料を1400°C程度の高温で溶解、スピナーと呼ばれる繊維化装	条 件 天井用	クラス 能力(単位) -	クラス 能力(名称) -	情報№ S-001691		単位 4 W/m・	名 称 K 熱伝導率	標準規格	JISA9521:20	建築用断熱	計算式 JISA9521:2014に準拠	<u>準拠する規格</u> JISA9521:20	建築用断熱	説 明 JISA9521:2014に準拠
				グラスウール)	置に孔を開けることにより遠心力で繊維化し、結束剤を添加し綿状にすることで製造する。								による評価	14	材		14	材	
						壁用	-	-	S-001690	0.03	2 W/m •	K 熱伝導率	による評		建築用断熱材	JISA9521:2014に準拠	JISA9521:20 14	建築用断熱材	JISA9521:2014に準拠
													価						
0186	家庭	断熱	断熱材	真空断熱材	家庭用冷蔵庫に使用されている、真空断熱材を使用した断熱材。従 来の断熱材と比較して薄いため、天井や壁、床等への部分断熱等の リフォーム(内貼断熱工法)に向く。	-	•	-	S-001692	0.00	12 W/m -	K 熱伝導率	標準規格による評価	JISA1412:19 99	熱絶縁材の 熱抵抗及び 熱伝導率の 測定方法	JISA1412:1999に準拠	99	熱絶縁材の 熱抵抗及び 熱伝導率の 測定方法	JISA1412:1999に準拠
0187	家庭	動力他	洗濯機		洗濯乾燥機とは、洗濯機と広間乾燥機が一体化した機器である。 ヒートポンプシステム(ユニット)が触交換した熱で衣顔を乾燥し、 乾燥剤に発生する水蒸気もヒーポンプシステム(ユニット)により 冷却して除湿している。乾燥時の温度は約70℃前後である。	-	-	-	S-001648	0.5	8 kWh/[到 消費電力量	標準規格による評価		人日本電機 工業会・自 主基準「洗 濯性能評価 方法」「乾	一般社団法人日本電機工業会・自主基準「洗濯性 能評価方法」「乾燥性能評価方法」で定める試験 条件		人日本電機 工業を 主基準 「洗 選性能評価 方法」「乾	一般社団法人日本電機工業会・自主基準「洗 能評価方法」「乾燥性能評価方法」で定める 条件
0191	家庭	ギーマネ ジメント	ギーマネ	供サービス・家	一般家庭等での省エネ効果を高めるエネルギー管理システム、及び 同システムを用いたサービスのうち、家庭全体のエネルギー消費状 況の把握や省エネ・節電を目的とした情報提供サービス。	-	-	-	S-001693	別紙「水準3」の通り	£ 9	% エネルギー 消費効率	具備機能による評価	-	操性能評価	•	-	燥性能評価 -	-
0193	家庭	空調	空調機 (ヒート ポンプ)	ルームエアコン	冷媒による圧縮-凝縮-膨張-蒸発のヒートポンプサイクルを繰り返す ことにより、室内を冷房あるいは暖房する空気調和機。		冷房能力	2.2kW	S-001481	7.	.6	- 通年エネル ギー消費効 率 (APF)	標準規格 による評 価	JISC9612:20 05	ルームエア コンディ ショナ	JISC9612:2005に準拠	05	ルームエア コンディ ショナ	JISC9612:2005に準拠
								2.5kW	S-001482	7.	.6								
								2.8kW	S-001483	7.	.5								
								3.6kW	S-001484	7.	.4								
								4.0kW	S-001485	7.	.6								
								4.5kW	S-001486	6.	.5								
								5.0kW	S-001487	5.	7								
								5.6kW	S-001444	6.	.8								
								6.3kW	S-001445	6.	6								
								7.1kW	S-001446	6.	.3								
								8.0kW	S-001447	5.	.8								
								9.0kW	S-001448	5.	2								

L2-Tech		区分		砂帯・地界等の			クラス		L2-Tech	L2 Took				指 標		
リストNo	部門1	部門2	技術分類	設備・機器等の 名称	原理・しくみ	条 件	クラス 能力(単位)	クラス 能力(名称)	水準表 情報№	L2-Tech 水準	単位	定単位 名 称	評価方法 のタイプ 準拠する規	計算方法 格 規格の名称 計算式	準拠する規格 規格の名称	試験条件 説 明
L-000194	家庭	空調	空調機	ヒートポンプ冷 温水システム	空気熱源を利用するヒートボンブ式の冷温水冷暖房機、暖房時はコ ンブレッサで圧幅した気相冷接を凝縮が延縮させるにより温 感を、汚房時は圧極-凝縮-影塔後の液相冷緩を適発器で高速させる ことにより冷熱を得る。ヒートボンブ方式を採用しているため、冷 温熱を高効率に得ることができる、従来は対温を微させ暖房する ため、一般的なポイラーの効率が80%であるのに対し、ヒードボン ブ方式を用いることで高い効率となる。導入先生法で麻倒けたも	- 加熱	能力	4.0kW以下	S-001449	-		成績係数	標準条件 による評価	- 成績係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(人 水温度)、柱き水温(出湯温度)、乾珠温度、湿珠温 度を次のとおり数をすることを発作さずる。戻り 水温(入水温度): 25°C、柱き水温(出湯温度): 40°C、乾球温度: 7°C、湿球温度: 6°C	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(入 水温度)、柱き水温(出湯温度)、乾珠温度、湿珠温 度を次のとおり数定することを保作さる。戻り 水温(入水温度): 25°C、柱き水温(出湯温度): 40°C、乾球温度: 7°C、湿球温度: 6°C
					プクスを用いることであい効率となる。 等人元は主に参照刊) とな			4.0kW超6.0kW以下	S-001450	-						
								6.0kW超7.0kW以下	S-001451	-						
								7kW超12kW以下	S-001452	-						
								12.0kW超	S-001453							
						往き水温(出湯温度)15℃ 冷却	能力	4.0kW以下	S-001491	-		成績係数 (COP)	標準条件 - による評 価	- 成績係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(人 水温度)、往き水温(出湯温度)、乾味温度、湿味温 度を以下のとおり設定することを供やする せき水温(出湯温度):15°0 乾味温度:35°C 湿味温 度:24°C流程:64L/min		成績係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(入 水温度)、往き水温(出湯温度)、乾球温度、湿球温 度を以下のとおり数定することを条件とする。往 き水温(出湯温度):15°C 乾球温度:35°C 湿球温 度:24°C 流量:6.4L/mil
								4.0kW超5.6kW以下	S-001492							
								5.6kW超7.2kW以下	S-001493							
								7.2kW超	S-001494	-						
						往き水温(出湯温度)7℃ 冷却	能力	4.0kW以下	S-001454	3		· 成績係数 (COP)	標準条件 - による評 価	- 成婚係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(入 水温度)、往き水温(出温温度)、 非球温度をはつ たおり設定することを条件とする。 戻り水温(入 水温度):12°C 往き水温(出湯温度):7°C 乾球 温度:35°C		成績係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(7 水温度)、往き水温(出湯温度)、乾球温度を以下の とおり設定することを条件とする。戻り水温(7 水温度):12℃往き水温(出湯温度):7℃乾耳 温度:35℃
								4.0kW超5.6kW以下	S-001488	2.84						
								5.6kW超7.2kW以下 7.2kW超	S-001489 S-001490	3						
L-000195	家庭	空調	空間場	ヒートボンブオ	空気熱源ヒートポンプ式の温水暖房機。コンプレッサーで圧縮した	- 加勢	i st h	5kW以下	S-001495	4.5		成績係数	標準条件 -	- 成績係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(入		成績係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(<i>i</i>
F-000195	冰脏	- 正嗣	空調機 (ヒート ポンプ)	温水床暖房	至気的線ビードホンスの温水吸防機。コンノレッサービ作機した 気相冷臓を冷臓/水熱交換機の液線位せるとにより温熱を る。四方弁の切り替えにより冷熱を供給するタイプも存在する。 ヒートポンプ方式を採用しているため、温熱を高効率に得ることが できる。		REJ	5kW以下	S-001495	4.5		(COP)	様学条件 による評 価	- 地面情報(UP/の身出にのたっては、戻り水温(人 水温度)、柱水温(用湯温度)、乾球温度、乾球温度、産液のとおり放定することを終わとする。戻り 水温(入湯温度) と20、住き水温(用湯温度): 40℃、乾球温度: 7℃、湿球温度: 6℃		放頼條数(CUP)の身由にあたっては、戻り不温(へ) 水温度、往き水温(出湯温度)、乾球温度、湿球温度を次のとおり設定することを条件とする。戻り 水温(入水温度):25℃、往き水温(出湯温度): 40℃、乾球温度:7℃、湿球温度:6℃
								7kW超10kW以下	S-001497	4.01						
								10kW超	S-001498	4.3						
										4.0						

L2-Tech		区分		設備・機器等の	W. 1. 1.	クラス		L2-Tech	L2-Tech					指標			
リスト№ L-000196	部門1	部門2	技術分類	名称	原理・しくみ	条件 クラス能力(単位)	クラス 能力(名称)	水準表 情報№ S-001532	L2-Tech 水準	測定単位 単位 名称 - 成績係数	評価方法 のタイプ 標準条件	生 準拠する規格	規格の名称			ト 規格の名称	
L-000196	家庭	空調	空調機 (ヒート ポンプ)	付温水床暖房	空気熟選ビートボングに温水球駅房ユニットとルームエアコンディ ショナが付加された機器。暖房時は採暖房とエアコンの組み合わせ 運転を主に行う。負荷の大きなむち上がり時にはエアコンで急速度 房を行い、床球房の高温送水による効率の低下を抑制、安定時には 床暖房の送水温度を下げるとともに、エアコンも省エネ運転とする などの制御により高効率化を図る。冷房時はエアコンの単発運形と		5.0kW	5-001532	4.5	- 成績係数 (COP)	標準条件による評価	-	-	成績係数(COP)の第出にあたっては、戻り水温(A 水温度)、往き水温(出湯温度)、乾球温度、湿球 度を次のとおり設定することを条件とする。戻り 水温(入水温度):30℃、往き水温(出湯温度): 35℃、乾球温度:7℃、湿球温度:6℃		-	成糖係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(人 水温度)、往き水温(出湯温度)、乾球温度、湿球温 度を次のとおり設定することを条件とする。戻り 水温(人水温度):30°C、往き水温(出湯温度): 35°C、乾球温度:7°C、湿球温度:6°C
					<i>t</i> ×		6.7kW	S-001533	4.32								
						床堰房单独連転 加熱能力	8.7kW	S-001534	4.01	- 成績係数 (COP)	標準条件による評価	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(人 水温度)、往き水温(出湯温度)、乾球温度、湿珠温 度を以下のとおり設定することを条件とする。 り水温(人水温度): 25℃ 往を水温(出湯温度): 40℃ 乾球温度: 25℃ 往本温(出湯温度):		-	版線係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(人 水温度)、往き水温(出湯温度)、乾球温度、湿球温 度を以下のとおり設定することを条件とする。戻 り水温(水温度): 25℃ 往き水温(出湯温度): 40℃ 乾球温度: 27℃ 温球温度: 6℃
L-000197	家庭	空調	空調機(ヒートボンブ)	マルチタイプ温水床暖房	複数の部屋に設置された温水床暗房ユニットやルームエアコンディ ショナ等と空気熱源ヒートポンプを組み合わせて使用する機器。1 台の空気熱源ヒートポンプが複数の部屋の空調機器に接続できるため、高効率化が可能。	- 1室運転時加熱能力	5.0kW	S-001535	3.9	- 成績係数 (COP)	標準条件による評価	-	-	成績係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(人 水温度)、往き水温(出温温度)、乾球温度、湿球温 度を次のとおり設定することを条件とする。戻り 水温(水温度):25°C、往き水温(出温温度): 40°C、乾球温度:7°C、湿球温度:6°C		-	焼鯖係数(COP)の算出にあたっては、戻り水温(人 水温度)、往き水温(出湯温度)、乾球温度、湿球温 度を次のとおり設定することを条件とする。戻り 水温(入水温度):25℃、往き水温(川湯温度): 40℃、乾球温度:7℃、湿球温度:6℃
							7.0kW	S-001536	3.91								
L-000198	家庭	空調	空調機(ヒートボンプ・地中熱利用)	地中熱ルームエアコン	地中熱を利用し、冷煤による圧縮-凝縮-膨落-蒸発のヒートボンプサイクルを繰り返すことにより、室内を冷勝あるいは堤房する空気部 和機。冬年は外気温度より高い温度の熱源を、夏季は外気温度より 低い温度の熱源を利用することで年間を通じて高効率な遅転が可能。		4.0kW	S-001537	4	- 成績係数 (COP)	標準条件による評価	JISC9612:20) ルームエア コンディ ショナ	JISC9612:2005に準拠。ただし、地中戻り温度(摂 熱温度)については20°Cとする。	JISC9612:20) ルームエア コンディ ショナ	JISC9612:2005に準拠。ただし、地中戻り温度(採 熱温度)については20°0とする。
L-000199	家庭	空調	(ヒート	ンプ冷温水シス テム (ハイブ	空気熱源と地中熱源の2種類の熱源の切り替えが可能なヒートボン ブ式の冷温水冷暖房機、圧縮、凝縮・膨張素をのヒートボンブサイク ルを利用して、冷暖房するシステム、暖房時はコンプレッサで圧倒し した。気相均線を凝縮能でか線、/水熱交換器材で凝縮させることでに より温熱を、光時別は圧縮、凝縮を後後の液相がを高分離に 冷媒を冷球、/水熱交換器内で蒸締をせることでにより冷熱を得る。 ヒートボンプカスを採用しているため、冷温熱を高の単に得ることが ができる。従来型は対准を燃焼し暖房するため、一般的なボイラー の効率的が必ずるあのに対し、ヒートボンプカスを用いることで		8.0kW	S-001538	4.3	- 成績係数 (COP)	標準条件による評価	-	-	成積係数(COP)の算出にあたっては、地中展り水 選(人水温度)、柱き水温(出湯温度)、乾球温度、 非温度を次のよわり設定することを発化する。 地中展り温度(採熱温度):15°C、往き水温(出 温度):40°C、乾球温度:7°C、温球温度:6°C	2	-	成橋係数(COP)の算出にあたっては、地中戻り水 温(人水温度)、柱き水温(出湯温度)、乾球温度、 建温度を変のとおり設定することを発作する。 地中戻り温度(探熱温度): 15°C、往き水温(出湯 温度): 40°C、乾球温度: 7°C、湿球温度: 6°C
					い効率となる。導入先は主に家庭向けとなる。		11.0kW	S-001539	4.15								
L-000200	家庭	空調	空調機 (ペレッ トストー ブ)	密閉式ペレットストーブ	本質ベレットを燃料とする燃焼機器。木質ベレットを燃焼させた製 を熱交換器により室内の空気に応え、送風ファンにより部屋の隅へ まで温服を行き返せむを一般が多せた空気は煙がから換気させるため、空内の空気と交ることはなく、清潔な環境を保っことができ る。木質ベレットは、カーボンニュートラルであるため、CO2の 排出削減が可能。		•	S-001540	77	% 熱効率	標準条件による評価	JHIAN- 5601:2004	マス燃焼機	JHIAN-5601:2004に単拠、、試験実施にあたって は、ISO17025に準拠した試験機関による性能評価を行うこととする。	JHIAN- 5601:2004	マス燃焼機	JHIAN-5601:2004に準拠、、試験実施にあたって は、ISO17025に準拠した試験機関による性能評 価を行うこととする。
-000201	家庭	給湯	給湯器 (ヒート ボンブ・ 太陽熱利 用)	太陽熱集熱器対応型エコキュート	自然冷謀 (CO2) を用い、電動ヒートボンプサイクルにより65°C 以上の高温沸きあげが可能な高効率の給急システムに太陽熱無熱熱 を組み合わせたシステム。ヒートボジブニットと総湯(貯油) ニット、無熱器で構成されている。日中は、太陽熱を利用するため、高効率化が可能。	温あり、1缶	320L以上550L未满	S-001508	3.3		による評		家庭用ヒートポンプ給湯機	JRA4050:2007RIC準拠	JRA4050:20 07R	家庭用ヒートポンプ給湯機	JRA4050:2007R仁準拠
							320L以上550L未満	S-001509				JIS C 9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	以ISC9220-2011に準備 ただし、以下のとおり設定することを条件とする。 ・ 着弱病高温条件は、外 気温 (乾珠温度/ 湿珠温度) アピノ11で、元 表示 選モード条件は、外気温 (乾球温度/ 湿珠温度) アピノ11で、元 金 選モード条件は、外気温 (乾球温度/ 湿珠温度) ・ ・ 着弱熱胎湯保温モード条件は、外気温 (乾球温度 度(多球温度) アピノ11で、光きと11電圧の、滑きと11電 度(多でとする。 ・ 夜間消費電力量比率は、80%	9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	別SC9220-2011に準拠ただし、以下のとおり設定 することを条件とする。 ・着霧陽高温条件は、外 気温 (乾珠遠度/ 涅珠温度) 2でノ1で、水温 5℃、沸き上代温度90℃とする。 ・美期給温度 温モード条件は、外気温 (乾珠遠度/ 涅珠温度) 7℃ん6℃、水温90℃、沸き上代温度80℃する。 ・着霜陽胎湯保温モード条件は、外気温 (乾球温 度80℃とする。 ・夜間消費電力量比率は、80% とする。 ・夜間消費電力量比率は、80%
						一般地仕様、標準世帯、保 温あり、多缶	320L以上550L未満	S-001506	3		による評) 家庭用ヒー トポンプ給 湯機	とする。 JISC9220:2011に準拠	JISC9220:20	家庭用ヒートポンプ給湯機	とする。 JISC9220:2011に準拠
							320L以上550L未満	S-001507	-			JIS C 9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC92202011に単純 ただし、以下のとおり設定することを条件とする。 着電解高温条件は、	9220:2011	家庭用ヒートポンプ給湯機	JISC9220-2011に単胞 ただし、以下のとおり設定することを条件とする。 ・着霧期高温条件は、外 気温 伐軟温度/ 温味温度/ 20~11で、水温 5°C、沸き上げ温度90°Cとする。 ・冬期給湯年 温モード条件は、外気温 伐鉄温度/ 湿料温度/ 7°C~6°C、水温9°C、沸き上げ温度88°Cとする。 ・養霜期給湯程温モード条件は、外気温 伐乾拌温 度/ 温味温度)2°C~1°C、水温5°C、沸き上げ温 度88°Cとする。 ・夜間消費電力量比率は、80% とする。

L2-Tech		区分		設備・機器等の	原理・しくみ		クラス		L2-Tech 水準表	L2-Tech	:00	2単位	評価方法			指標 計算方法			試験条件
UZFN® L-000202	部門1 家庭	部門2 給湯	技術分類 給湯器 (ヒート ポンプ・ ガス式)	名称 ハイブリッド給 湯機(家庭用)	ヒートボンブ給湯機とガス給湯器に貯湯タンクを組み合わせた変面 用給湯システム。ヒートボンブ総湯機が配線・学習した湯の使用 駅に基づいて、ヒートボンブ機器を登も成功率となる湧き上げ電 度で稼働させ、湯の使用状況に応じてガス能器器がバックアップす る。これによって過剰貯湯や飲め口スを従業し、CO学出削減を 実現できる。風呂給湯来用機、給湯暖房兼用機等がある。	(ボンプ、ガス)	クラス 能力(単位) -	クラス 能力(名称) -	情報No S-001514	水準 -	単位	名 称 年間給湯効	のタイプ 標準規格	A705-2016	電気ヒート	計算式 JGKAS A705-2016に年期	準拠する規格 JGKAS A705-2016		
						給湯暖房兼用機(給湯、暖 房:ヒートポンプ、ガス)	-	-	S-001544	-	-	年間給湯効率	標準規格による評価	JGKAS A705-2016	給定 電ボス用(リッド を を を を を を が は で が は が は が は が は が は が は が は が り に が り に が り に が り に が り に り に が り に り に	JGKAS A705-2016に準拠	JGKAS A705-2016	給湯効法 電ボス用型をインでは を対して で で で の で で の で が に が に が に が に が に が に が に が に が に が	JGKAS A705-2016に準拠
						給湯暖房兼用機(給湯: ヒートポンプ、ガス、暖 房: ガス)	-	-	S-001543	141	-	年間給湯効率	標準規格による評価	JGKAS A705-2016	機)の年間 給湯効率測 定方法 電気ヒート	JGKAS A705-2016に準拠	JGKAS A705-2016	機)の年間 給湯効率測 定方法 電気ヒート	JGKAS A705-2016に準拠
						風呂給湯兼用機(給湯: ヒートポンプ、ガス)	-		S-001542	141	-	年間給湯効率		JGKAS A705-2016	リッド給湯 機)の年間 給湯効率測 定方法 電気ヒート	JGKAS A705-2016に準拠	JGKAS A705-2016	リッド給湯機)の年間 給湯効率測 定方法 電気ヒート	JGKAS A705-2016に準拠
L-000203	家庭	給湯	給湯器	石油湿水構発	石油温水機器は灯油を燃料としたパーナによって加熱した高温の空	・ 絵漫田の4.の/簡早絵漫会			S-001545	95	%	エネルギー	煙准相格		用型給湯機 (ハイブ リッド給湯 機) 機 湯効率測 定方法	JISS3031:2009に準拠	JISS3031-20	用型給湯機 (ハッドの 場別 (リッツの 場別 (ロッツの の の の の の の の の の の の の の の の り の り の	JISS3031:2009に準拠
2-000203	<i>**</i>	et1 /00	(石油式)	(エコフィール)	では、	□ (1)□ (1)<!--</td--><td></td><td></td><td>3-001343</td><td>33</td><td>70</td><td>消費効率</td><td>による評価</td><td>09</td><td>器の試験方法通則</td><td>3000001:2000124:pg</td><td>09</td><td>器の試験方法通則</td><td>500001.10091.4-pg</td>			3-001343	33	70	消費効率	による評価	09	器の試験方法通則	3000001:2000124:pg	09	器の試験方法通則	500001.10091.4-pg
						暖房用のもの	-	-	S-001546	93			標準規格 による評 価	09	石油燃焼機 器の試験方 法通則	JISS3031:2009に準拠	JISS3031:20 09	石油燃焼機 器の試験方 法通則	JISS3031:2009に準拠
L-000205		給湯	(太陽熱 利用)	(強制循環型太陽熱給湯器用) (家庭用)	本間の光エネルギーを絵エネルギーに変え、水などの晩録に伝える 役割の装置。真空管形は集熱部が真空間を有する二重ガラスで構成 され、真空間が延気対流による熱機大を防ぐことができる。 外気温 との温度差が大きい場合でも集めた熱が外へ逃げにくく、高い効率 を維持できる。		-	-	S-001547			あたりの集 熱量	による評 価	11		JISA4112:2011に準拠	11		JISA4112:2011に準拠
L-000206	家庭	給湯	(太陽熱 利用)	(強制循環型太陽熱給湯器用) (家庭用)	太陽の光エネルギーを終エネルギーに変え、水などの熱媒に伝えを 役割の装置。平板形は集熱面が平板状になっており、表面は透明な 強化ガラス板で覆われている。下部には熱が逃げないよう、断熱材 が施されている。 - 一部機能は、集熱器で集められた熱を熱交換してお湯を書える装置。		-	-	S-001548			あたりの集 熱量	による評 価	11		JISA4112:2011に準拠	11		JISA4112:2011に準拠
L-000207	水庭	en ve	陽熱利用)	會然信(強制組環型太陽熱給湯器用)(家庭用)	部が相は、未飲養で集めりれた際を飲火残しくお湯を含える最高。				S-001550	1.54			による評価	13		JISA4113:2013に準拠	13		JISA4113:2013に準拠
								-	S-001549	96.9	%	有効出湯効率	による評	TS002	槽、優良住	JISA4113:2013、BLT SO:2015、またはSS- TS002に半拠		槽、優良住	JISA4113:2013、BLT SO 2015、またはSS-TS002に準拠
L-000208	家庭	動力他	テレビ	液晶テレビ	液晶テレビとは表示装置に液晶を用いた薄型のテレビ受信機をい う。従来はパックライトにCCFL(Cold CathodeFluorescent Lamp)冷 熱極管を用いていたが、近年は発光効率の良いLED(発光ダイオー ド)が主渡となっている。	-	サイズ	液晶 18V、19V 型 液晶 22V 型	S-001606 S-001636	22		年間消費電 力量	標準規格による評価		省エネル ギー法	省エネルギー法で定める試験条件	-	省エネルギー法	省エネルギー法で定める試験条件
								液晶 23V、24V 型	S-001637	30									
								液晶 23V、24V 型	S-001637	30									

					液晶 26V 型 液晶 29V 型 液晶 32V 型 液晶 39V、40V 型 液晶 46V 型 液晶 46V 型 液晶 50V、52V 型 液晶 55V 型	S-001639 S-001640 S-001641 S-001642 S-001644 S-001645 S-001646 S-001646	37 34 48 60 83 73 60								
					液晶 32V 型 液晶 39V、40V 型 液晶 42V 型 液晶 46V 型 液晶 47V 型 液晶 55V、52V 型	S-001640 S-001641 S-001642 S-001643 S-001644 S-001645	34 48 60 83 73 60								
					液晶 32V 型 液晶 39V、40V 型 液晶 42V 型 液晶 46V 型 液晶 47V 型 液晶 55V、52V 型	S-001640 S-001641 S-001642 S-001643 S-001644 S-001645	34 48 60 83 73 60								
					液晶 39V、40V型 液晶 42V型 液晶 46V型 液晶 47V型 液晶 50V、52V型 液晶 55V 型	S-001641 S-001642 S-001643 S-001644 S-001646	48 60 83 73 60								
					液晶 39V、40V型 液晶 42V型 液晶 46V型 液晶 47V型 液晶 50V、52V型 液晶 55V 型	S-001641 S-001642 S-001643 S-001644 S-001646	48 60 83 73 60								
					液晶 42V 型 液晶 46V 型 液晶 47V 型 液晶 50V、52V 型 液晶 55V 型	S-001642 S-001643 S-001644 S-001645	83 73 60								
					液晶 42V 型 液晶 46V 型 液晶 47V 型 液晶 50V、52V 型 液晶 55V 型	S-001642 S-001643 S-001644 S-001645	83 73 60								
					液晶 46V 型 液晶 47V 型 液晶 50V、52V 型 液晶 55V 型	S-001643 S-001644 S-001645	83 73 60								
					液晶 46V 型 液晶 47V 型 液晶 50V、52V 型 液晶 55V 型	S-001643 S-001644 S-001645	83 73 60								
					液晶 47V 型 液晶 50V、52V 型 液晶 55V 型	S-001644 S-001645 S-001646	73 60 81								
					液晶 47V 型 液晶 50V、52V 型 液晶 55V 型	S-001644 S-001645 S-001646	73 60 81								
					液晶 50V、52V 型 液晶 55V 型	S-001645 S-001646	60								
					液晶 50V、52V 型 液晶 55V 型	S-001645 S-001646	60								
					液晶 55V 型	S-001646	81								
					液晶 55V 型	S-001646	81								
					液晶 55V 型	S-001646	81								
					液晶 58V 型以上	S-001647									
					液晶 58V 型以上	5-001647									
					1		98								
to the later of		Later Diff of				96555		And the beauties of	18.26.15.16		do = ± ·	do I a la standa de la compansa de l		do = t ·	
力他 電気	気便座 電		電気便座は内蔵された電気ヒータにより座面を加温する機能等を持一つ便座であり、主に暖房用の便座のみを有する暖房便座と暖房便座 に温水洗浄装置を組み込んだ温水洗浄便座がある。さらに、温水洗	-		S-001649	58	Wh/年 年間消費電 力量	標準規格 による評 価		省エネル ギー法	省エネルギー法で定める試験条件		省エネルギー法	省エネルギー法で定める試験条件
		1	浄便座の洗浄に使う温水については貯湯タンクをもつ貯湯式と貯湯 タンクのない瞬間式※がある。※使用時に瞬間的に温水をつくる方												
			る。また、便座の暖房機能(保温)については学習機能やタイマーに よる低炭素技術が導入されており、さらにセンサーが人の動きを感												
掌用拳 燃料	以雷池 田	(のもある。	出力	200kW以下	S-001694	66.7	% 発雷効率	標准冬件	JISC8841-	小形固体融	.IISC8841-3:2011及7长IISC8842:2013I=準準	JISC8841»	小形固体酸	JISC8841-3:2011及びJISC8842:2013に準
(再工	料	l電池 (SOFC) 設備	させる。燃料極、空気極という2枚の電極が、電解質を挟んでいる ものをセルといい、セル単体を積み重ねたものをセルスタックとい			5 301034	30.7	70 70 TE XVI F	による評 :	3:2011及び イ JISC8842:20 ¶	化物形燃料 電池システ		3:2011及び JISC8842:20	化物形燃料 電池システ	
			っ。セルを直列に接続することで、高い電圧と大きな電力が得られる。 る。							l t	性能試験方			性能試験方	
										i i	試験方法及 び固体酸化			試験方法及 び固体酸化	
										7	池単セル及 びスタック			池単セル及 びスタック	
											の発電性能			の発電性能	
					200kW超250kW以下	S-001695	65.4								
(再工 電		系・単結晶)	である。太陽電池内部に入射した光のエネルギーは、電子によって	-	-	S-001697	22.46	% セル実効変 換効率	による評	05	電池モジュー	JISC8914:2005に準拠	2005	電池モ	JISC8914:2005に準拠
(-)		ž	導かれ、電力として太陽電池の外部へ出力される。単結晶系は、高 純度の単結晶のシリコン基板を使用した太陽電池。実用化されてい						価		ルロリ測定 方法			ジュール出 力測定方法	
		1	る太陽電池の中で最も変換効率が高く、耐久性・信頼性にも優れて			S-00160e	21.2	% ∓ ♡¬=="	煙准料故	IISC8960-20	大陽米泰雷	.IISC8960·2012に準拠	JISC8014:20	結品 조士陽	USC8914 · 2005(- 2005)
						5 301030	21.2	変換効率	による評価	12	用語		05	電池モ ジュール出	
														力測定方法	
業用発 太陽	場光発 太	陽電池(シリコ :	太陽電池は、光の持つエネルギーを、直接的に電力に変換する装置・	-	-	S-001654	16.4					JISC8914:2005に準拠			JISC8914:2005に準拠
(再工 電	ا	Ī	直接的に吸収され、PN接合の界面にあらかじめ設けられた電界に 導かれ、電力として太陽電池の外部へ出力される。結晶の粒径が数					変換効率	による評 価		ジュール出			ジュール出	
		ŗ	mm程度の多結晶シリコンを利用した太陽電池。変換効率の面では 単結晶と比較して低いが、単結晶より製造工程が簡便であるため、												
((((((((((((((写工 用発 太電 太電 大電	再工	用発 燃料電池 固体酸化物形燃料電池 (SOFC) 設備 1 大陽光発 太陽電池(シリコン系・単結晶) 2 東京工 電 太陽電池(シリコン系・多結晶)	浄便便の洗浄に使う温水については貯浄シンクをもつ貯湯式と貯温 タンクのない側断式※がある、発便用時に開防に温水をつくる方式、貯湯式のようにお湯を発温しないので消費電力量を削減できる。また、便西の暖房機能使発(温)については宇衛能やタイーによる低炭素技断が導入されており、さらにセンサーが人の動きを密加し、開間のに煙を温める、側間暖房便産を継が付随しているものもある。 電解質を挟んだ二つの電極に酸素と大素を供給して電気と熱を発生ささせる。燃料板・室気板という2枚の電板が、電解質を挟んでいるものをもかしい、セル単体を積み重かましめをセルスタックという。セルを直列に接続することで、高い電圧と大きな電力が得られる。 ***********************************	海療産の洗浄に使う温水がある。発用時に関節に温水さつくる方式。所温式の片が高が成りにあたっても方式。所温式のようにお添き保温しないので消費電力量を削減できる。また、便乗の服用験に保護に関連とゆうイマーによる低炭素技術が導入されており、さらにセンサーが人の動きを勝知し、瞬間的に便産を進める。開酵服保療産業が付減しているものもある。 電料質を挟んだ二つの電極に酸素と水素を供給して電気と熱を発生させる。燃料様と、空気をしいう2枚の電板が、電解質を挟んでいるものもある。	浄極度の洗浄に使う選水については貯着タンクをもつ貯湯式と貯着 タンクのない場間が成がある。 光度を混しないので消費を力量を削減できる。また、使産の破壊を使うイマーに よる低度無限が導入されており、さらにセンサーが人の動きを感 別・動間的に受験を温める、調明の原理を認めているでは一度を受けると称される。 製電影 (SOFC) 砂機 (SOFC) 砂機 (SOFC) 砂機 (SOFC) 砂機 大陽電池(シリコ ン系・単格高) 本の生かしたいい、セル単体を積み重ねたものをセルスタックという。 ものをセルといい、セル単体を積み重ねたものをセルスタックという。 ものをセルといい、セル単体を積み重ねたものをセルスタックという。 ものをセルといい、セル単体を積み重ねたものをセルスタックという。 ものをセルといい、セル単体を積み重ねたものを対した要素が、 重新的に吸収され、PV時合の呼吸にあらかしの設計を対した電影、 素質の単極温のフェンー基を使用した水陰密、素料化されている る方隔電池の中で最も変換効率が高く、耐久性・信頼性にも優れて いえ 大陽電池(シリコ ン系・多結晶) 本版電池(シリコ ン系・多結晶) 本版電池の中で最も変換効率が高く、耐久性・信頼性にも優れて いえ 大陽電池の中で最も変換効率が高く、耐久性・信頼性にも優れて である。太陽電池内部に入材した光のエネルギーは、電子によって 直接的に吸収され、PV時合の貯止に入れている 方が開電池の中で最も変換効率が高く、耐久性・信頼性にも優れて いえ 大陽電池(シリコ ン系・多結晶) 本版電池の中で最も変換が多が高く、耐久性・信頼性にも優れて いえ 大陽電池の中で最も変換効率が高く、耐久性・信頼性にも優れて いることによって 直接的に吸収され、PV時合の貯止に入れて発音のが発 である。大陽電池内部に入材した光のエネルギーは、電子によって 直接的に吸収され、PV時合の貯止に入れて電子によって 直接的に吸収され、PV時合の貯止に入れて表が表が 中心によるによれては、 本版を表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が表が	神像座の美術に使う選水については貯蔵を入ってもの開発は上野海 カンクのない場所が取出を10名。	浄極優の洗れに合う選末については耐溶シンクをもの溶素にか溶 ターンのない関節がある。※使用の影響の含しては容響機能やできる。また、使用の関係に選及を目標できる。また、使用の関係に関係を選加しているでも関係を がし、関係的に使用を認めたこつの管制に関係と構造を対象を使用しているものもある。 一型	浄化産の大売)化・2016年 (大田大売)	予度優の非常に与り当然については可葉がある。 米型用時に関係的に当まをくる方式 とうます。 学生のは関係を必要な、米型用性に関係に当まるとくる方式 とうます。 伊藤の原理権を対すないでは写真権を対すないでは「大き機能を対する」と、また。 日本の原理権を対すないでは「大き機能を対する」と、また。 日本の原理権を対すないである。 日本の原理権を対すないである。 日本の原理権を対すないである。 日本の原理権を対すないである。 日本の原理権を対すないである。 日本の原理権を対すないである。 日本の原理権を対すないである。 日本の原理を提供が得るしているもの。 日本の原理を対象を対しているものでは、 国際のでは、 自然を定し、 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	神経原元原子 (大田大内) 大阪 (大田大内) 大阪 (大田)	神理部の表示に使う温水については対象シンをもつが構成とが高く タンクのない機能が出来さる。 は、機能制に関係を認め、機能制度が異なるがある。	### A 新華地	中華の公外性に含う選及については対象シッともの事業と対理	中部性の必要が出ていることでは対象を対していては対象を対しているというでは、対象を対しているというでは、対象を対しているというでは、対象を対しているというでは、対象を対しているというでは、対象を対しているというでは、対象を対しているというでは、対象を対象を対しているというでは、対象を対象を対しているというでは、対象を対象を対しているというでは、対象を対象を対しているというでは、対象を対象を対しているというでは、対象を対象を対しているというでは、対象を対象を対しているというでは、対象を対象を対しているというでは、対象を対象を対しているというでは、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対

ストNR	部門1	部門2	技術分類	設備・機器等 名称	原理・しくみ	条 件	クラス 能力(単位)	クラス能力(名称)	水準表 情報Na		測定単位 名 称	評価方法のタイプ	準拠する規格	規格の名称	計算方法	準拠する規格	規格の名称	試験条件 説 明
218	エネル		太陽光発	太陽電池(化合系)	物、太陽電池は、光の持つエネルギーを、直接的に電力に変換する装置 である。大場電池内部に入場した例エネルギーは、電子によって 直接的に郵収され、PNI券の外面にあらかじめ設けられた電料に 海かれ、電力として大幅電池の外部へ出力さる。本項目では、主 成分に類(Cu)、インジウム(In)、ガリウム(Ca)、セレン(Sa)を用い た化合物であるCIGS系について記載する。海東で全材料などの長		-	-	S-001655		% モジュール		JISC8960:20		JISC8960·2012仁举拠	JISC8939:20		JISC8939:2013仁準拠
19	エネルギー転換	事業用発電 (再エネ)	太陽光発電	太陽電池(薄シリコン)	所をもち、わずか2〜3µmの厚まであっても光を十分吸収するため、 地域大陽電池としては高い変換効率が得られる。 夏 太陽電池は、光の持つエネルギーを、直接的に置かに変換する装置 である。太陽電池内部に入射した光のエネルギーは、電子によって 直接的に吸収され、PN接をの発面にあかした設けられた電料に 導かれ、電力として太陽電池の外部へ出力される。薄膜系は、ガラ ス、金度筋、フィルムなどの上に2〜3ミクロンの太陽電池の居を 形成させるものである。		-	-	S-001656	10.5	% モジュール 変換効率	標準規格 による評 価	JISC8960:20 12	太陽光発電用語	JISC8960-2012に準拠	05	アモルファス太陽電池モジュール出力測定方法	JISC8935:2005に準拠
0 =	エネルギー転換	事業用発 電 (再エ ネ)	太陽光発電	式パワーコン	方 大陽光発電用パワーコンディショナは、直流電力を調整するコン パータ 直流電力を支流電力に実施するインパータ、非独特等に系 軟を促進する系統連高促進速で構成される、トランスレスライ は、パワーコンディショナ内の国流電圧調整をコンパータのみで行 う方式であり、高限速度圧動を表す式に比較し、高効果となるもの の電力会社系統との選系には、別途を変圧器が必要となる。		出力	10kW未満	S-001657	98	% 定格負荷効率	標準規格による評価	08	太陽光発電 用パワーコ ンディショ ナの効率測 定方法	JISC8961:2008に準拠		太陽光発電 用パワーコ ンディショ ナの効率測 定方法	JISC8961:2008仁準拠
								10kW以上	S-001658	98.4								
		事業用発 電 (再エ ネ)		縁方式パワー	・ 大陽光発電用パワーコンディショナは、直流電力を交流電力に変換 するインバータ、事故時等に系統を保護する系統連系保護装置で構成される。 直流電力を交流電力に変換する際に損失が生じることから、変換効率(定格負荷効率)の高いパワーコンディショナの選流を重視を立る。高周波度圧器維持方式は、パワーコンディショナの直流を圧調整をコンパータと変圧器の組み合わせで行う方式であり、トランスクス方式に比較し、電力変換効率は低下するが、ワーコンディショナから出力された電力はそのまま電力会社系統と連系可能となった。		-	-	S-001659	96.5	% 定格負荷効率	標準規格による評価	08	太陽光発電用パワーコンテの効率測定方法	JISC8961:2008に準拠	08	太陽光発電 用パワーコ ンディショ ナの効率測 定方法	JISC8961:2008に準拠
		事業用発電(再エ ネ)	水力発電	プロペラ水車 (小水力発電 用)	水を取り込むケーシングから案内羽根を経て下向きの水流に変化さ		出力	200kW未満	S-001660	84.5	% 水車効率	標準規格による評価	92	水車および ボンブ水車 の効率試験 方法	JEC4002:1992仁準斃	92	水車および ポンプ水車 の効率試験 方法	JEC4002:1992/二準拠
)]	エネルギー転換	事業用発電(再エネ)	水力発電	フランシス水 (小水力発電 用)	車 水を取り込むケーシングの中に羽根車(ランナー)を設置し、そこを流れる水の圧力により回転させる水車である。最も一般的な水車で、数10m~数110mの落差に広く使われている。		出力	200kW未満	S-001661	92.2	% 水車効率	標準規格による評価	92	水車および ポンプ水車 の効率試験 方法	JEC4002:1992仁华拠	92	水車および ボンブ水車 の効率試験 方法	JEC4002:1992に準拠
	エネル ギー転換		地熱発電	温水熱源小型イナリー発電備	(バイナリー頻電は、水よりも沸点の低い二次媒体を使うため、より 設 低温の熱熱液体での参電に適しており、地熱液体で温められた二次 媒体の高気でタービンを回して発電する。生産并から地熱液体を取 リ出し、地熱液体で二次媒体を温め、蒸気化し、二次媒体の過 リ出し、地流域で二次媒体を温か、造の性し、二次媒体の過 ラービンを回転させ歩電する。二次媒体を温かた彼の地熱液体は、 還元井から地下に戻し、発電、総令カセニア級体は、凝緩器で成 に戻し、循環ポンプで再度、蒸発器に送る。熱源として温水を利用 する。		出力	3.0kW似下 3.0kW超6.5kW以下	S-001662 S-001663	-	% 送電端発電効率	による評	環境省により独自に設定された方法		透電域発電効率の算出にあたっては、温水入口温度 度、冷却水入口温度を欠めとおり設定することを 条件とする。温水入口温度:95°C、冷却水入口温度:20°C以上	り独自に設		透電磁発電効率の算出におたっては、温水 度、冷却水入口温度を吹のとおり設定する。 条件とする。温水入口温度:95℃、冷却水 度:20℃以上
								6.5kW超45.0kW以下	S-001664	6								
								45.0kW超200kW以下	S-001665	6.2								
	エネルギー転換		地熱発電		「バイナリー発電は、水よりも沸点の低い二次媒体を使うため、より 酸 低温の始熱液体での発電に適しており、地熱液体で温められた二次 媒体の蒸気でタービンを回して発電する。生産并から地熱液体を取 り出し、地熱液体で二次媒体を温め、蒸気化し、二次線体の蒸気で タービンを回転させ発電する。二次媒体を温めた例の熱熱液体は、 返元井から地下に戻し、発電し終わった二次媒体は、凝細器で液体 に戻し、循環ポンプで再度、高免器に送る。熱源として蒸気を利用 する。		出力	200kW未满	S-001666	8.6	% 送電端発電効率		環境省により独自に設定された方法		送電域発電効率の算出にあたっては、蒸気温度、 蒸気流量、冷却水温度、冷却水量、入口蒸気温度、入口蒸気温度、入口蒸気エンタルビ、出口ドレン温度、出口 ドレンエンタルビを必入とおり設定するとを条 代とする。蒸気温度 130°C、蒸気流量: 1.80mh、冷却水温度: 20°C、冷却水量: 1.80mh、冷却水温度: 20°C、冷却水量: クルビ、2,720kJkg、出口ドレン温度: 40°C、出 ロドレンエンタルビ: 168kJkg	り独自に設 定された方 法		送電端発電効率の算出にあたっては、蒸気 蒸気流量、冷却水温度、冷却水量、入口蒸 度、入口蒸気エンタル化、出口ドレン温度 ドレンエンタルビを次のとおり設定する ドレンエンタルビを次のとおり設定する ドレンエンタルビを次のとおり設定する 1.88cm/、冷却水温度: 20°C、海水電 1.00cm/、入口高大型、100cm/、入口高 タルビ: 2,720kJkg、出ロドレン温度: 40° ロドレンエンタルビ: 168kJkJkg
				電設備(メタ	発 バイオメタンガスを燃料にシリンゲー内部で燃料の爆発 (膨張)を 発生させ、その圧力でピストンを往復動させ、その往復動を回転エ ネルギーに変える発電装置。ストイキオメトリ燃焼 (間触を受り定 会したガスが完全燃料する方式)、リーンパーンと呼ばれる希薄燃 横の二つの方式があり、最近では予混合圧縮自着火燃焼といわれる 高圧縮による自然着化でシリンダー内全体をメラメラと燃える点火 ブラグを用いないものが環境面や高効率化で注目を集めている。		出力	100kW未満	S-001667	84	% 総合効率	標準規格による評価	9		JIS8122:2009に準拠、メタン濃度は60%を試験象	9		JIS8122:2009に準拠、メタン濃度は60%を
		1						100kW以上1000kW未滿										

L2-Tech		区分		設備・機器等の	(T)	クラス		L2-Tech	L2-Tec	:h							指標			
	部門1	部門2	技術分類	ク社	原理・しくみ	条件 クラス能力(単位)	クラス 能力(名称)	水準表 情報№	水準	 #	測定単位 単位 名:		評価方法のタイプ	準拠する規格	規格の名称	計算方法計算字	:	準拠する規料	規格の名称	試験条件 説 明
							100kW未満 100kW以上1000kW未満	S-001669 S-001670		1.8	% 発電効率		こよる評	9	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法		濃度は60%を試験条	JIS8122:200 9	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方 法	JUS8122.2009に準拠 メタン濃度は60%を試験条件とする。
						60Hz 出力	100kW未満	S-001671		84	% 総合効果		こよる評	9	レーション ユニットの 性能試験方	JIS8122:2009に準拠、メタ 件とする。	ン濃度は60%を試験タ	l JIS8122:200 9	コージェネ レーション ユニットの 性能試験方	JIS8122:2009に準拠、メタン濃度は60%を試験条件とする。
							100kW以上1000kW未满	S-001672		-					法				法	
							100kW未満 100kW以上1000kW未満	S-001673 S-001674		32	% 発電効果		こよる評	9	コージェネレーションユニットの性能試験方法		ン濃度は60%を試験系	§ JIS8122:200 9	コージェネレーションユニットの性能試験方法	JIS8122-2009に準拠、メタン濃度は60%を試験条件とする。
L-000238	エネルギー転換	地域熱供給	熱輸送	潜熱蓄熱輸送設 備	潜熱蓄熱材(PCM:Phase Change Material)をコンテナに充填し、 PCMの脱解熱として高度に熱エネルギーを蓄えて、車輌により 広範囲に熱を供給する技術。	- 蓄熱容量、排熱源温度	蓄熱容量850kWh以上、排 熱源温度130℃以上	S-001678	3 11	1.2	[Eq] エネル ² 効率		こよる評	環境省により独自に設定された方	-	エネルギー効率の算出にあ 車両燃費、供給温度を次の。 条件とする。供給距離:10k	とおり設定することを m、車両燃費:蓄熱?	り独自に設 家 定された方	-	エネルギー効率の算出にあたっては、供給距離、 車両燃費、供給温度を次のとおり設定することを 条件とする。供給距離、100m、車両燃費・高とを
							蓄熱容量850kWh以上、排 熱源温度130℃未満	S-001677	r 8	8.8				法		量850kWh以上 2.5km/l、音 4.0km/l	s熱容量850kWh未滿	法		型850kWh以上 2.5km/l、蓄熱容量850kWh未滿 4.0km/l
							蓄熱容量850kWh未滿、排 熱源温度130℃以上			6.8										
-000260	廃棄物処	リサイクル	レリン回収設	リン回収設備	りん酸を含む汚水の生物処理水に対して、晶析槽においてカルシウ		蓄熱容量850kWh未滿、排 熱源温度130℃未滿	S-001675		80	% PO4-PR				リン回収・	処理量の内訳 し尿:浄化料	曹汚泥=4:6、し尿	環境省大臣		処理量の内訳 し尿:浄化槽汚泥=4:6、し
-000261	理・リサイクル			浄化槽汚泥用)	ム材を添加し、の + 間整することにより HAP(ヒドロキシアパタイト、(Ca10(PO4)6(OH)2)の結晶を折出させる方法。 回収したリンは 制度 りん酸肥料として再利用可能。 りん酸肥料として再利用可能。 りん酸を含む汚水に対して、晶析槽においてマグネシウム材を添加			S-001680		75	率 % PO4-PR	征	15	官房廃棄物・リカックを表現の対象を表現の対象を表現している。	引き	T-P濃度: 270mg/L、し尿P(浄化槽汚泥T-P濃度: 150mg 濃度: 60mg/L、混合T-P濃度 PO4-P濃度: 112mg/L 処理量の内訳 し尿: 浄化材	yL、浄化槽汚泥PO4- ξ:198mg/L、混合	P 物・リサイ クル対策部 廃棄物対策 課	引き	T-Page: 270mg/L, し尿PO4-Page: 189mg/L, 浄化槽汚恶T-Pag度: 150mg/L, 浄化槽汚恶PO4 濃度: 60mg/L, 混合T-溶度: 198mg/L, 混合 PO4-Pag度: 112mg/L 処理量の内訳 し尿: 浄化槽汚泥=4: 6、し見
	理・リサイクル	'	備	MAP法(し尿・ 浄化槽汚泥用)	し、pH調整することによりMAP(リン酸マグネシウムアンモニウ 人、(MgNH4PO4)の結晶を折出させる方法。回収したリンは化成 肥料として再利用可能。						率	征	こよる評	官房廃棄物・リサイクル対策を表する。	利活用の手引き	T-P濃度: 270mg/L、し尿P(浄化槽汚泥T-P濃度: 150mg 濃度: 60mg/L、混合T-P濃原 PO4-P濃度: 112mg/L	04-P濃度:189mg/L、 y/L、浄化槽汚泥PO4- ξ:198mg/L、混合	官房廃棄 P 物・リサイ クル対策部 廃棄物対策 課	利活用の手引き	T-P濃度: 270mg/L、し尿PO4-P濃度: 189mg/L 浄化槽污泥:T-P濃度: 150mg/L、浄化槽污泥PO4 濃度: 60mg/L、混合T-P濃度: 198mg/L、混合 PO4-P濃度: 112mg/L
-000262	廃棄物・リサイクル	JL.	設備	MAP法(下水汚泥用)	股水の液からリン回収する従来事例に対し、よりリン含有量の高い 下水汚走からMAP(リン酸マグネックムアンモーウム)として回 収する「MAP法」が呼吸2425年度国交名B-DASH採択事業で開発 された。回収したリンは配合肥料(化成肥料)として再利用可能。	おこなかれていること、汚 混は消化機能がおこなわれ ていること	-	S-001681		90	% PO4-P₿ 率	位	こよる評価	国土技術政 策総合研究 所	B-DASHプロ		k度:200mg/L	国土技術政 策総合研究 所	B-DASHプロ	挿化汚泥遺度 (TS): 1.7%。消化汚泥T-P遺度: 600mg/L、消化汚泥PO4-P濃度: 200mg/L
-000264	廃棄物・ リサイク ル	リサイクル	選別機	近赤外線樹脂選 別機	プラスチックに近条外線を照射すると材質により吸収される選択が 異なることを利用し、特定の特質の選別を行う。コンペア先端のエ アノズルで吹き落とし選別する。PVC,PVDC除去(サーマルリサ イクル)やPP,PS,ABS選別(マテリアルリサイクル)に使用され る。			S-001682		3	種類 選別樹朋類数	指種 横に 価	標準条件 こよる評 面	環境省によ り独自に設 定	-	選別純度:99%、(ベルト: りの樹脂の投入量が50kg/hl	コンベア幅100mmあた 以内の場合)	: 環境省によ り独自に設 定	-	選別純度:99%、(ベルトコンベア幅100mmあが りの樹脂の投入量が50kg/h以内の場合)

別紙

No.	 │ │ │ 設備・機器等	クラス	L2-Tech水準	備考				
		条件 能力						
水準1	BEMS(制御 サービス・空 調・熱源・中央 方式)	空気熱源仕様 -	下記の①~⑤の条件を満たすBEMSサービスであること。 ①冷水負荷熱量、冷水出口温度、外気温度、熱源機エネルギー消費量、冷水ポンプエネルギー消費量を計測できる機能を保有 ②上記①の計測粒度が1分単位以内であること ③冷水負荷熱量、冷水出口温度、外気温度、を説明変数として、合計のエネルギー消費量(熱源機エネルギー消費量、冷水ポンプエネルギー消費量の合計)が最小となるような冷水出口温度を(過去の実績データに基づいて)自動で算出できる機能を保有 ④上記の算出結果に基づいて冷水出口温度を自動制御できる機能を保有 ⑤導入可能な施設が、限定されない	事例調査の結果、BEMSサービスには、情報提供サービス及び制御サービスが存在するが、中でも提供件数の最も多い中央方式の空調機を対象とした制御サービスを認証対象として設定した。				
水準2	BEMS(制御 サービス・空 調・熱源・中央 方式)	水熱源仕様 -	下記の①~⑤の条件を満たすBEMSサービスであること。 ①冷水負荷熱量、冷水出口温度、冷却水入口温度、外気温度、熱源機エネルギー消費量、熱源補機エネルギー消費量、冷水ポンプエネルギー消費量、冷却水ポンプエネルギー消費量を計測できる機能を保有 ②上記①の計測粒度が1分単位以内であること ③冷水負荷熱量、冷水出口温度、冷却水入口温度、外気温度を説明変数として、合計のエネルギー消費量(熱源機エネルギー消費量、熱源補機エネルギー消費量、冷水ポンプエネルギー消費量、冷却水ポンプエネルギー消費量の合計)が最小となるような冷水出口温度を(過去の実績データに基づいて)自動で算出できる機能を保有 ④上記③の算出結果に基づいて冷水出口温度を自動制御できる機能を保有 ⑤導入可能な施設が、限定されない	事例調査の結果、BEMSサービスには、情報提供サービス及び制御サービスが存在するが、中でも提供件数の最も多い中央方式の空調機を対象とした制御サービスを認証対象として設定した。 文献調査及び企業・有識者へのヒアリングに基づき、サービスにおいて求められる機能要件				
水準3	HEMS(情報提 供サービス・家 電全般)		下記の①~⑤の条件を満たすHEMSサービスであること。 ①対象住宅全体の電力消費量を、30分単位以内で計測できる機能を保有 ②上記①において計測したエネルギー消費量と、他住宅で計測したエネルギー消費量を比較し、対象住宅全体のエネルギー消費量のランキング情報を表示できる機能を保有 ③上記②のランキング情報を、対象住宅におけるユーザー属性別※に表示できる機能を保有 ※地域別、間取別、家族構成別の3種いずれも ④導入可能な住宅が、単一の住宅メーカーが供給する住宅に限定されない ⑤導入の際にインターネット接続サービスへの加入が必要な場合、集合住宅向け全戸一括契約型へのサービス加入を前提としない	でも提供件数の最も多い家電全般を対象とした情報提供サービスを認証対象として設定した。 文献調査及び企業・有識者へのヒアリングに基づき、サービスにおいて求められる機能要件 は、下記のいずれかとし、本リストでは「要件0」および「要件3」を対象とし水準を設定して いる。				

別紙

No.	設備・機器等	クラス		L2-Tech水準	備考				
		条件	能力						
水準4	内部熱交換最適	蒸留塔が高圧部 -		下記の①および②の条件を満たす蒸留システムであること。	本設備・機器等は、個別受注設計生産されるため標準条件(試験条件、計算方法)を設定し、				
	化蒸留システム	(濃縮部)と低			定量評価する方法はそぐわないと判断し、審査・認証の実現可能性の観点から「具備機能によ				
		圧部(回収部)		①高圧部と低圧部とで熱交換できる機能を保有	る評価」を行うこととした。				
		とで物理的に分		②蒸留塔内部の熱分布を調整し熱交換率を最適化できる機能を保有	文献調査及び企業・有識者へのヒアリングに基づき、本設備・機器等として求められる機能要				
		離しており一体			件をL2-Tech水準とした。				
		型でないもの							